

平成30年度
病院年報



出かける医療・近づく医療

日野病院組合 日野病院

平成 30 年度日野病院組合日野病院事業年報発刊によせて

病院長 孝田雅彦

平成 30 年度の年報を発刊します。この一年を振り返ると竹茂幸人先生に来ていただき小児科が復活、総合診療科による入院患者の診療も軌道に乗りました。内科も佐々木修一先生が 4 月に、12 月に韓国人で日本の医師免許と取得された李英伊先生が加わってくれました。このようにスタッフが増え、診療も充実してきたと自負しています。31 年度には新人看護師が 10 名加わります。新人職員を育成しながら今後も日野郡の医療を支えていきたいと思っています。また、鳥取大学医学部医学科 5 年生の学生が全員日野病院にクリニカルクラークシップ実習に来るようになりました。地域医療教育の拠点としても日野病院を更に発展させていきたいと考えています。最後に地域の皆様のご協力と職員一同の頑張りに感謝いたします。

日野病院の基本理念

平成8年3月策定

- 1 地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す

- 2 自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

目 次

発刊によせて		-1-
1、概要		-5-
主な出来事		-6-
組織図	日野病院組合組織図	-9-
	日野病院組織図	-10-
施設の状況	施設規模等・主な医療機器	-12-
	施設基準	-13-
日野病院組合議会開催状況		-15-
職員の状況	部署別職員数	-18-
	年度別職員数推移	-19-
	職員表彰	
経営状況（平成30年度日野病院組合事業会計決算）		
	事業別内訳	-21-
	決算概況	-22-
施設・設備等整備状況		-39-
委員会活動状況	日野病院委員会（ワーキング）構成表	-43-
	各委員会開催状況	-44-
	院内研修会開催状況	-79-
2、統計		-80-
患者統計	患者統計（外来・入院）	-81-
入院患者疾病統計	疾病別（大分類）・診療科別統計	-85-
	疾病別・診療科・男女別統計	-87-

	疾病別・年令階層別・男女別統計	-107-
	疾病別・在院期間別・男女別統計	-115-
	上位疾病別統計	-127-
部門別統計	手術件数・内視鏡検査・超音波診断検査 薬局状況・人工透析状況・放射線室状況 検診実施状況	-129-
	栄養管理室状況・検査室状況・理学療法状況 作業療法状況・言語聴覚療法状況 訪問看護状況・訪問リハビリ状況 居宅支援(介護・予防)状況 メディカルソーシャルワーカー活動状況	-130- -131-
3、業績		-132-
	論文誌上発表	-133-
	学会等発表	-137-
4、新聞記事等		
	ご近所のお医者さん（毎日新聞鳥取県版）	-146-
	日野病院長コラム（広報ひの）	-155-
	その他の新聞記事	-167-
5、広報誌 せせらぎ		-169-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第 62 号（平成 30 年 5 月発行）	-170-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第 63 号（平成 30 年 9 月発行）	-180-
	日野病院組合だよりせせらぎ 第 64 号（平成 31 年 1 月発行）	-192-
編集後記		-202-

1、概 要

主な出来事

平成 30 年

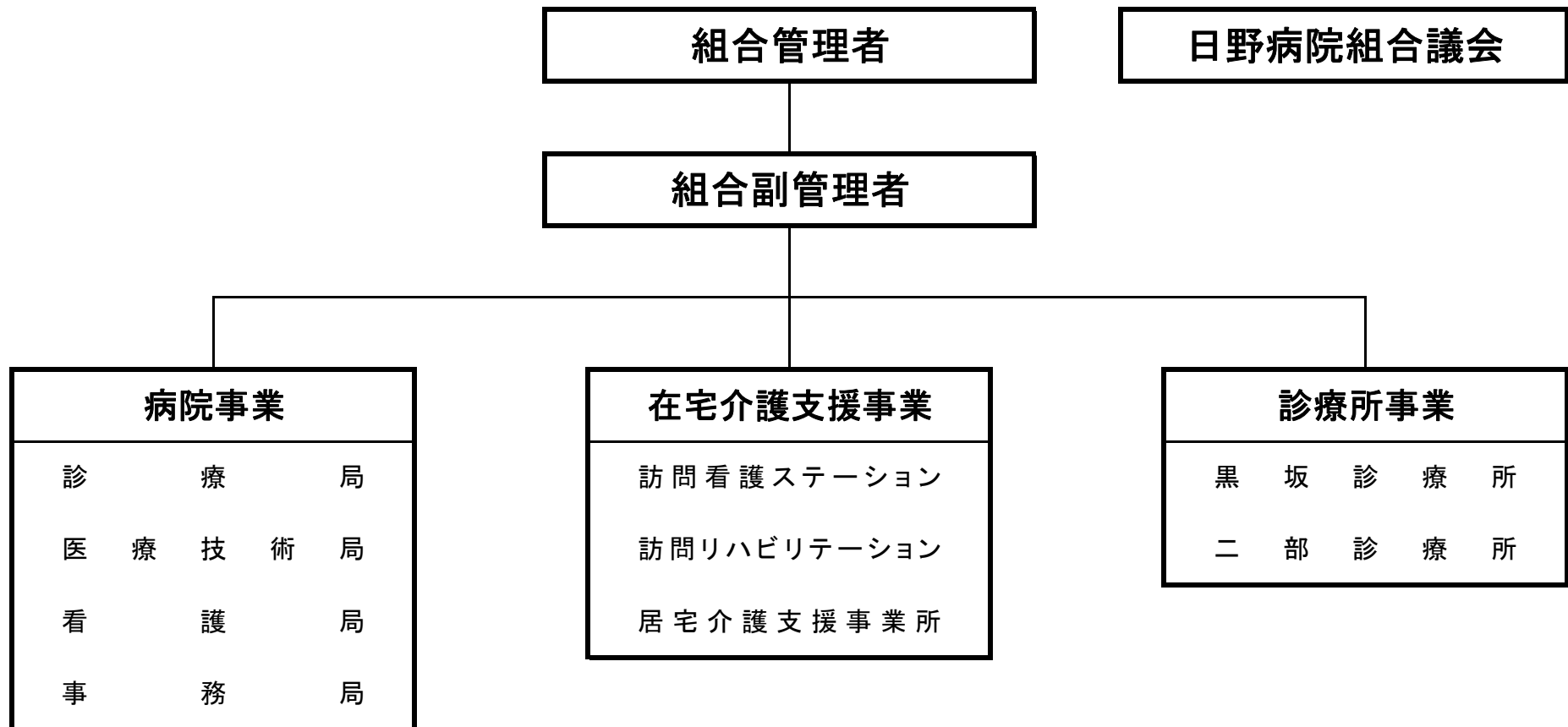
- 4 月 2 日 新規採用職員オリエンテーション
- 4 月 12 日 熊野健太郎診療局長、山本直子副医療技術局長が日野病院職員表彰（院長表彰）を受賞
大塚健一主任理学療法士、長尾加奈子主任看護師、安達節子看護師、矢田貝亮一係長が日野病院職員表彰（局長表彰）を受賞
- 4 月 コミュニティチャンネルひの番組出演開始（毎月）
- 5 月 12 日 看護の日イベント
- 7 月 6 日 病院機能評価認定（3 回目）
- 7 月 21 日 ねう祭りに参加
- 7 月 13 日 夕涼み会の開催
- 8 月 31 日 平成 29 年度日野病院組合事業会計決算認定
収益的収支で 131,793 千円の黒字、資金収支で 90,846 千円の黒字
- 12 月 14 日 クリスマスイベント
- 12 月 28 日 仕事納め

平成 31 年

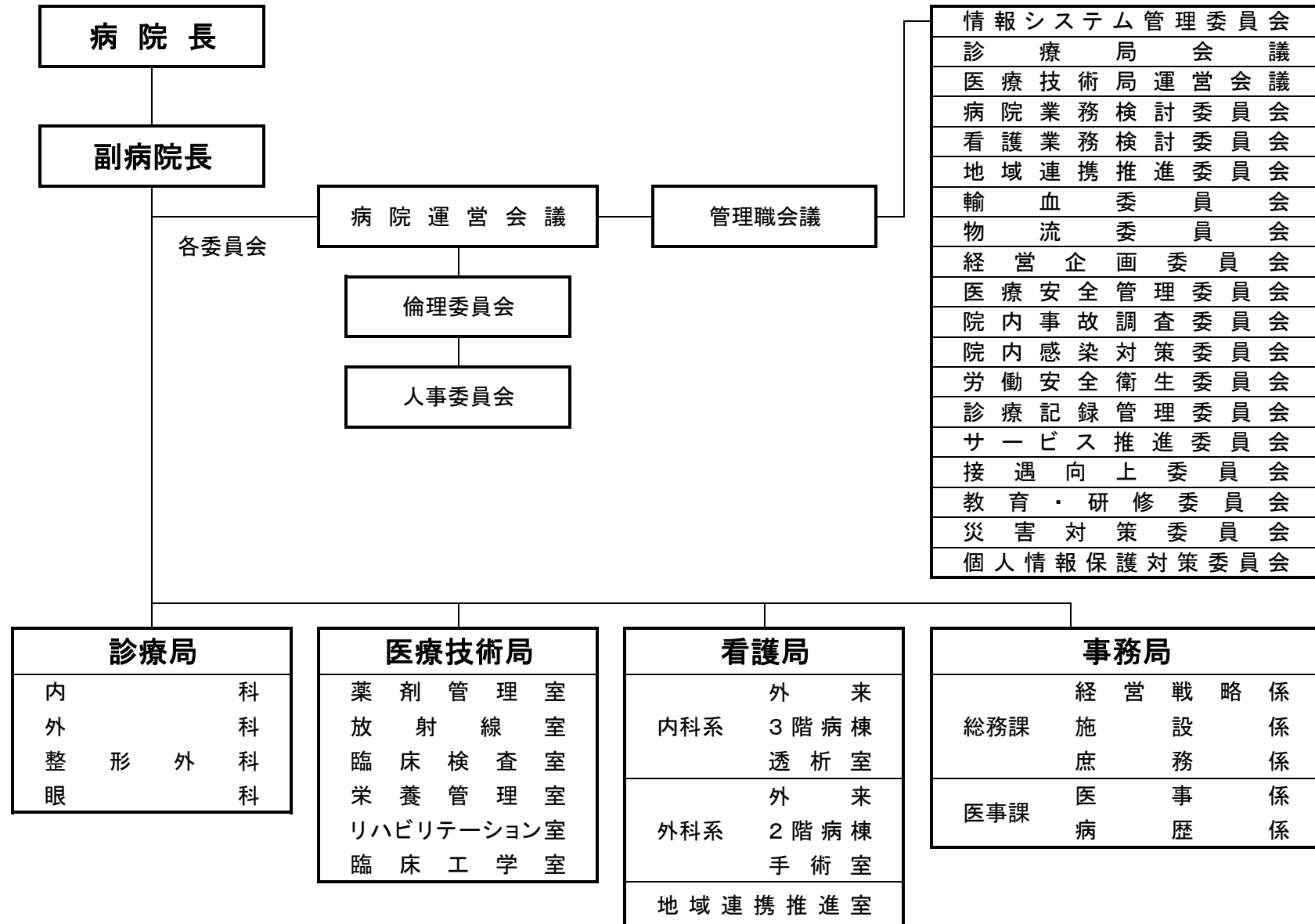
- 1 月 4 日 仕事始め

組織図

日野病院組合組織図(平成31年3月現在)



日野病院組織図(平成31年3月現在)



施設の状況

施設規模等

- (1) 病 床 数 99床 (一般 74床・亜急性期 25床)
(2) 病 室 数 51部屋 (1人部屋35、4人部屋16)
(3) 敷 地 面 積 11,045.27㎡
(4) 延べ床面積 8,247.16㎡
(5) 建 設 費 31億1,209万9千円

＜主な内訳＞	建築費	23億6,250万円
	用地費及び補償費	1億8,254万7千円
	医療機器及び備品購入費	4億2,195万6千円
＜財源内訳＞	補助金	5億2,791万1千円
	病院事業債	25億6,610万円
	一般財源	1,808万8千円

主な医療機器

気管支ファイバースコープ	十二指腸ファイバースコープ
大腸ファイバースコープ	フルデジタルカラー超音波装置
MR I 装置 (1.5テスラ)	マルチスライスCTシステム
レーザーメス	手術用顕微鏡
長時間心電図分析装置	生化学自動分析装置
血液ガス測定装置	脳波計
人工腎臓装置	人工呼吸器
マンモグラフィー装置	上部消化管ファイバースコープ
骨塩定量測定装置	X線骨密度測定装置
生体情報モニター	手術室ビデオシステム
手動式除細動器	超音波骨折治療器
上部消化管汎用ビデオスコープ	血圧脈波検査装置
多目的自動血球分析装置	睡眠時無呼吸検査機器
超音波白内障手術装置	特殊入浴装置
高周波手術装置	角膜内皮細胞撮影装置
超音波診断装置	

施設基準

一般病棟入院基本料急性期一般入院料 4（99 床）
入院時食事療養費 1
薬剤管理指導料
一般病棟療養環境加算
ペースメーカー移植術・ペースメーカー交換術（電池交換を含む）
検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅱ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管リハビリテーション料（Ⅱ）
機能強化加算
急性期看護補助体制加算
小児科外来診療料
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
診療録管理体制加算
無菌製剤処理料
救急医療管理加算
重症者等療養環境特別加算
ニコチン依存管理料
在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料特定施設入居時等医学管理料
在宅末期医療総合診療料
退院支援加算（加算 1）
感染防止対策加算 2
夜間休日救急搬送医学管理料
がん治療連携指導料
データ提出加算
認知症ケア加算（加算 2）
総合評価加算
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
C T 撮影及びMR 撮影（16 列以上のマルチスライス C T）

C T 撮影及びMR 撮影（1.5 テスラ以上 3.0 テスラ未満）

地域包括ケア入院医療管理料 1

地域包括ケア入院医療管理料病床の看護職員配置加算に係る届出

地域包括ケア入院医療管理料病床の救急・在宅支援病床初期加算に係る届出

様式 10 の 6・90 日を超えて入院する患者の算定：有

指定等

生活保護法指定医療機関

労災保険指定医療機関

救急告示病院

結核指定医療機関

原爆被爆者一般疾病医療機関

病院群輪番制病院

身体障害者福祉法指定医療機関

へき地医療拠点病院

初期被ばく医療機関

日野病院組合議会開催状況

平成30年度日野病院組合議会開催状況

会議名	開催年月日	議案	容
定例会	H30.8.31	第10号	平成29年度 日野病院組合事業会計決算の認定について 閉会中の継続調査の申し出 ・ 電子カルテシステム購入に伴う構成町からの負担金について ・ 病院機能評価の結果について
定例会	H30.11.26	第11号 第12号 第13号	鳥取県町村総合事務組合への加入について 平成30年度 日野病院組合病院事業会計補正予算(第1号) 平成30年度 日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第1号) 閉会中の継続調査の申し出 ・ 鳥取大学地域医療学講座に対する負担金について(H31～33年度) ・ 直近の経営状況について(9月末)
定例会	H31.2.26	第1号 第2号 第3号 第4号 第5号 第6号 第7号 第8号	日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について 日野病院組合職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について 平成30年度 日野病院組合病院事業会計補正予算(第2号) 平成30年度 日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算(第2号) 平成30年度 日野病院組合診療所事業会計補正予算(第1号) 平成31年度 日野病院組合病院事業会計予算 平成31年度 日野病院組合在宅介護支援事業会計予算 平成31年度 日野病院組合診療所事業会計予算 閉会中の継続調査の申し出 ・ 平成30年度日野病院組合病院事業等の決算見込みについて ・ 平成31年度日野病院組合病院事業等の概況について (資料)病院事業等決算及び年度別経営試算表 ・ 日野病院組合職員の異動及び採用について

職員の状況

部署別職員数（平成31年3月31日現在）

（１） 病院事業

- ・診療局 常勤医師9名（うち嘱託医師3名）
（内科4名、外科2名、整形外科1名、眼科1名、小児科1名）

・看護局 77名 (人)

区 分	看護 師			准看護師			看護助手			合 計			ク ラ ス ク
	正 職	嘱 託	臨 時	正 職	嘱 託	臨 時	正 職	嘱 託	臨 時	正 職	嘱 託	臨 時	
看護局長	1									1			
外 来	3		1		1	2				3	1	3	4
2階病棟	19	1		2	1	1	3	2	1	24	4	2	1
3階病棟	18	1	2	2	1			4		20	6	2	1
手 術 室				2						2			
透 析 室	2									2			
地域連携室	1									1			
合 計	44	2	3	6	3	3	3	6	1	53	11	7	6

- ・医療技術局 25名
臨床検査室 3名（臨床検査技師 3名）
薬剤管理室 3名（薬剤師 2名、嘱託事務 1名）
放射線室 4名（診療放射線技師 4名）
リハビリテーション室 13名
（理学療法士 8名、作業療法士 2名、言語聴覚士 2名、マッサージ師 1名）
栄養管理室 2名（管理栄養士 2名）
臨床工学室 1名（臨床工学技士 1名）

- ・事務局 16名
副病院長 1名
事務局長 1名
総 務 課 6名（うち嘱託職員 4名）
医 事 課 8名（うち MSW 1名、嘱託職員 2名）

（２） 在宅介護支援事業所

- ・所長 1名（病院と兼務）
- ・看護師 6名（うち1名は病院と兼務）
- ・理学療法士 3名

- ・言語聴覚士 1名（病院と兼務）
- ・作業療法士 1名（病院と兼務）
- ・介護支援専門員 4名（うち1名は看護師と兼務）
- ・事務職員 2名（うち1名は病院と兼務、嘱託職員1名）

（３）診療所事業

- ・医師 3名（病院と兼務）
- ・看護師 1名（病院と兼務）
- ・事務職員 1名（病院と兼務）

年度別職員数推移（平成31年3月31日現在）

病院事業

（人）

区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
診療局		8	8	8	7	6	9
看護局		76	77	77	77	78	77
医療技術局	薬剤	4	3	3	3	3	3
	栄養	3	2	2	3	3	2
	検査	3	3	3	3	3	3
	放射線	3	3	3	3	3	4
	リハビリ	11	12	12	15	13	13
	臨床工学	1	1	1	1	1	1
事務局		14	14	14	13	13	16
合 計		123	123	123	125	123	128

在宅介護支援事業所

（人）

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
医師（病院と兼務）	1	1	1	1	1	1
看護職（病院と兼務含）	4	5	6	5	7	6
リハビリ（病院と兼務含）	3	3	3	3	5	5
事務職（病院と兼務含）	4	4	4	7	7	6
合 計	12	13	14	16	20	18

職員の表彰等

受賞年月日	職員名	職名等	表 彰 名
平成31年4月18日	竹永 真由美	看護師長	平成30年度職員表彰
平成31年4月18日	田中 武志	主任理学療法士	平成30年度職員表彰
平成31年4月18日	河本 亮介	病歴係長	平成30年度職員表彰

経営状況

平成30年度日野病院組合決算(事業別内訳)

〈収益の収支〉

(単位:千円)

区 分		病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所事業			(イ)+(ロ)+(ハ)	29年度決算額	増減
				計(ハ)	黒坂	二部			
医業収益	入院収益	878,379		0			878,379	921,689	△ 43,310
	外来収益	341,622		2,601	2,265	336	344,223	358,358	△ 14,135
	室料差額収益	29,811		0			29,811	33,009	△ 3,198
	保健予防活動収益	28,607		330	322	8	28,937	26,185	2,752
	その他医業収益	15,151		0			15,151	16,278	△ 1,127
	事業間負担金(在宅/診療所)	22,387		0			22,387	21,410	977
	計	1,315,957		2,931	2,587	344	1,318,888	1,376,929	△ 58,041
介護サービス収益	介護サービス収益		72,007	0			72,007	70,001	2,006
	その他介護サービス収益		72	0			72	284	△ 212
	計	0	72,079	0	0	0	72,079	70,285	1,794
医業外収益	預金利息	172		0			172	232	△ 60
	国県等補助金	31,750	64	0			31,814	35,636	△ 3,822
	負担金交付金	307,774	21,170	17,040	9,951	7,089	345,984	340,730	5,254
	負担金交付金(本部費)	421		0			421	421	0
	長期前受金戻入(現金を伴わない)(A)	33,021	209	0			33,230	32,016	1,214
	その他医業外収益	6,119	6	0			6,125	6,495	△ 370
	計	379,257	21,449	17,040	9,951	7,089	417,746	415,530	2,216
	収益合計	1,695,214	93,528	19,971	12,538	7,433	1,808,713	1,862,744	△ 54,031
医業費用	給与費	874,475	61,928	0			936,403	901,375	35,028
	退職給付引当金(通常)	49,944		0			49,944	48,810	1,134
	退職給付引当金(現金を伴わない)(B)	19,094		0			19,094	19,094	0
	賞与引当金繰入額	51,267	5,587	0			56,854	54,745	2,109
	材料費	251,380	22	129	124	5	251,531	274,869	△ 23,338
	経費	92,859	2,955	746	540	206	96,560	96,428	132
	委託費	149,944	265	200	189	11	150,409	142,149	8,260
	減価償却費(C)	121,373	862	305	191	114	122,540	123,243	△ 703
	資産減耗費			0			0	0	0
	資産減耗費(現金を伴わない)(D)	5,268		0			5,268	2,037	3,231
	研究研修費	5,389	401	0			5,790	6,127	△ 337
	本部費	421		0			421	421	0
	事業間負担金		11,212	11,175	7,425	3,750	22,387	21,410	977
	派遣職員人件費負担金		3,336				3,336	2,835	501
	計	1,621,414	86,568	12,555	8,469	4,086	1,720,537	1,693,543	26,994
医業外費用	企業償還金(利子)・支払利息	22,916		8	8		22,924	24,743	△ 1,819
	その他医業外費用	12,244		0			12,244	12,665	△ 421
	その他医業外費用(不納欠損分)(E)			0			0	0	0
	事業間負担金(調整分)			0			0	0	0
	計	35,160	0	8	8	0	35,168	37,408	△ 2,240
特別損失	特別損失			0			0	0	0
費用合計		1,656,574	86,568	12,563	8,477	4,086	1,755,705	1,730,951	24,754
収益の収支(決算額)		38,640	6,960	7,408	4,061	3,347	53,008	131,793	△ 78,785
年度末累積剰余金・累積欠損金		243,447	110,434	117,165			471,046	418,038	53,008

〈資本的収支〉

区 分		病院事業(イ)	在宅介護支援事業(ロ)	診療所事業			(イ)+(ロ)+(ハ)	29年度決算額	増減
				計(ハ)	黒坂	二部			
企業債	企業債	178,200		0			178,200	38,500	139,700
負担金	負担金	97,600		0			97,600	0	97,600
補助金	補助金			0			0	22,053	△ 22,053
固定資産売却代金	固定資産売却代金			0			0	0	0
借入金	借入金			0			0	0	0
貸付金償還	貸付金償還	2,100		0			2,100	1,500	600
資本的収入計		277,900	0	0	0	0	277,900	62,053	215,847
建設改良費	固定資産購入費	278,413		0			278,413	63,224	215,189
企業償還金	企業償還金(元金)	128,659		250	250		128,909	148,734	△ 19,825
貸付金	奨学金貸付金	4,750		0			4,750	3,400	1,350
借入金償還	借入金償還			0			0	0	0
資本的支出計		411,822	0	250	250	0	412,072	215,358	196,714
資本的収支		△ 133,922	0	△ 250	△ 250	0	△ 134,172	△ 153,305	19,133

(単年度資金収支)

現金を伴わない収益(A)	33,021	209	0	0	0	33,230	32,016	1,214
現金を伴わない費用(B)+(C)+(D)	145,735	862	305	191	114	146,902	144,374	2,528
単年度資金収支	17,432	7,613	7,463	4,002	3,461	32,508	90,846	△ 58,338

資金不足負担金発生までの額	現金預金等残高(引当金除)(A)	未払金等残高(B)		資金不足負担金発生までの額((A)-(B))		
	724,910	80,473		644,437	618,974	25,463

退職給付引当金残高	前年度引当金残高	退職給付引当金	退職給付金	引当金残高			
	303,365	69,038	12人 96,600	総残高	増減	(内現金分)	(内現金分増減)
				275,803	△ 27,562	180,333	△ 46,656

平成30年度病院事業等の決算について

1、総括的事項

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT(平成22年度更新)・MRI(平成25年度更新)などの診療機器や、無菌手術の可能な手術室を備え、一般病床99床(内地域包括ケア病床25床)の入院業務と21診療科の外来診療に加え訪問診察を行った。また、在宅介護支援事業及び診療所事業を行い「出かける医療・近づく医療」の推進を図った。

なお、平成30年度の主な事業として電子カルテシステムの更新を行った。

2、「出かける医療・近づく医療」

構成3町の交通手段は限られ、高齢者の通院を阻む要素になっている。

通院の利便性を図るため、公共交通機関のない地域に患者送迎車(ワゴン車)を走らせ、自宅から日野病院や診療所の間で運行させた。

また、訪問診察(週3日)に加え、在宅支援事業(訪問看護と訪問リハビリ)と診療所事業の充実を図り、可能な限り在宅での生活(療養)を支援している。(訪問診察と在宅支援事業は構成3町だけでなく県境を越え岡山県にも出かけている。)

(ア) 訪問診察

訪問診察の延べ患者数は、平成30年度で623人(平成29年度は580人)となり、在宅での生活(療養)を推進している。

平成16年度に購入した携帯型のレントゲン撮影装置、超音波断層装置及び心電計の導入により、訪問診療の充実を図っている。

(イ) 在宅介護支援事業

訪問看護、訪問リハビリ(理学療法士3名、作業療法士1名、言語聴覚士1名)を行った。

平成30年度で訪問した延べ患者数は、訪問看護 1,760名(160名減)、訪問リハビリ 4,354名(280名増)、居宅支援件数 1,730件(46件増)となっている。

(ウ) 診療所事業

無医地区の黒坂(日野町)と二部(伯耆町)に診療所を開所し診療を行った。

黒坂診療所は毎週火・木曜日、二部診療所は毎週水曜日に開所した。平成30年度延べ患者数は504名となった。(平成29年度延べ患者数は499名)

病院事業等は、在宅での療養の推進を図りながら現在の病院機能を維持していくことが必要と考えている。平成28年度に策定した新日野病院改革プランと中長期計画(H29～H33)により、周辺医療機関との機能分担や経営形態について検討し、人口の減少による患者数の減少に対応していく必要がある。

平成30年度病院事業等の決算概況資料

日野病院組合が行っている、病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業の決算概要について説明します。

1、医業収支・各種統計について

平成30年度の決算の中から、収入については構成町からの負担金・補助金等、支出については起債償還額等を除いた医業収支については…

医業収支…診療報酬等を収入とし、医業にかかる給与費・経費等を支出とした収支

病院事業の医業収益は、前年度と比べ入院患者数、外来患者数とも減少、また、1人当たりの診療単価も減少したため減収となった。
在宅事業の介護サービス収益は、訪問看護の利用者は減少したが、訪問リハビリの利用者や居宅支援件数が増えたことにより増収となった。
診療所事業は、患者数は増加したものの、診療単価の減により減収となった。
全体では57,224千円の減収となった。

医業費用は、患者数の減少により材料費は減少したが、給与費・委託費等が増加したため、前年度と比べ26,017千円の増となった。

以上から、平成29年度と比較し83,241千円医業収支は減となった。

(医業収入)

病院事業について、外来収益は患者数が34,867人となり、平成29年度と比較し1,052人減少した。一人あたりの診療単価は9,798円となり、106円減少したため、14,119千円の減収となった。
入院収益は、患者数が28,863人で平成29年度と比較し669人減少した。一人あたりの診療単価は30,433円となり、777円減少したため、43,310千円の減収となった。

在宅介護支援事業については、平成29年度と比較し、訪問看護事業は、延べ利用者数の減により、845千円の減収、訪問リハビリ事業は、延べ利用者数の増により、603千円の増収、また、居宅支援事業は、2,248千円の増となり、全体では2,006千円の増収となった。

診療所事業については、平成29年度と比較し、患者数は黒坂診療所が16人の減少、二部診療所は21人の増加となったが、1人当たりの診療単価の減により、16千円の減収となった。

その他の医業（介護サービス）収益については、室料差額が入院患者の減により、3,198千円の減収、保健予防活動収益は小児に係る予防接種の増により、2,752千円の増収となった。その他医業収益は、入院患者数の減による使用材料の減により、1,339千円の減となった。

(医業費用)

職員給与費については、職員数の増により給料・手当が増加、また、嘱託職員の増により賃金が増加したため、38,271千円の増となった。

また、透析浸透水处理装置メンテナンス部品、電子カルテ更新に係るシステム保守料の増等により委託費が8,260千円増加した。

一方、材料費は患者数の減に伴い、23,338千円減少した。

2、単年度資金収支について

平成30年度の単年度資金収支（現金）は、32,508千円増加した。この額が運転資金（留保資金）として増額されることになる。

3、負担金（追加分）発生の状況について

平成20年度に構成町の負担金（追加分）について発生の条件を、単年度資金収支の減による補てん（赤字補てん）から、運転資金（留保資金）不足の補てんへ変更した。このことにより、留保資金が病院の運営をしていく上での運転資金を下回った（資金不足を生じた）場合に限り、その額を負担金（追加分）として受けることになった。

平成30年度末時点で、資金不足発生までの額は644,437千円となり、当分の間負担金（追加分）は発生することはない状況となっている。

4、退職手当引当金の実施について

平成19年度から実施している退職給与引当てについて、給料総額の140/1000とし、引当てを49,944千円実施した。

また、平成26年度から地方公営企業法の改正により、経過措置として毎年19,094千円の引当てを実施している。（今年度5年目で15年間実施）

平成30年度は、12名の退職者（医師1名・看護師7名・医療技術員3名・事務員1名）に対し総額96,600千円の退職給与金の支払いを行い、引当金残高は275,803千円となり、前年度と比べ、27,562千円減少した。

5、病院事業等に対する地方交付税措置について

普通交付税について、1床あたりに対する措置額が前年度より5千円減少したが、前年度は対象期間における実稼働病床数の減算があったことから、278千円増となった。一方、起債償還に対する措置額が3,973千円減少し、全体では190,529千円の措置額となり、3,561千円の減となった。

特別交付税については、平成19年度から不採算地区病院の対象となっているが、平成28年度からは稼働病床数に対する措置（平成27年度までは許可病床数）となった。加えて実繰出金の80%との比較（どちらか少ない額）による措置となった。

また、平成20年度からはへき地医療に対する措置も対象となっているが、平成24年度決算において累積剰余金が発生したため、基礎年金拠出金に対する措置はなくなった。

特別交付税全体では、不採算地区に対する措置額や訪問看護事業に対す

る措置額等が増加したため、措置額は8, 500千円増加し167, 442千円となった。

交付税措置額は全体で357, 971千円となり、4, 939千円の増となった。(内345, 984千円を負担金として収入)

6、累積剰余金の処分について

平成18年度に約6億円あった累積欠損金が、平成19年度以降の黒字決算の継続により、平成24年度決算終了時点で累積剰余金に転じている。

累積剰余金は、平成30年度決算終了時点で471, 046千円となった。

剰余金の処分方法については、条例の定めによるか議会の議決を要することとされているが、平成30年度決算において発生した累積剰余金については、未処分利益剰余金として扱う。

平成30年度決算 医業収支(病院・在宅・診療所事業)年度比較表

(収益)

(単位:千円)

内訳	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
外来収益	病 院	308,719	328,039	327,934	322,007	324,083	332,844	355,741	341,622	△ 14,119 年間外来患者数 34, 867人(1人あたり 9, 798円)
	在 宅	51,221	56,579	57,758	61,762	63,077	72,323	70,001	72,007	2,006 訪問看護 18, 383千円・訪問リハビリ30, 919千円・居宅介護22, 705千円
	診 療 所	4,685	4,504	3,025	2,672	2,390	2,204	2,617	2,601	△ 16 黒坂(2, 265千円)・二部(336千円)
入院収益		795,516	755,900	761,575	751,512	768,553	889,380	921,689	878,379	△ 43,310 年間入院患者数 28, 863人(1人あたり 30, 433円)
室料差額		25,643	24,878	24,068	21,849	21,468	29,399	33,009	29,811	△ 3,198 稼働率(特別室22.2%・個室A76.0%・個室B87.4%)
保健予防		23,926	23,754	22,432	23,471	25,157	25,365	26,185	28,937	2,752 ドック・各種検診
そ の 他		18,269	17,805	14,777	15,490	23,258	23,081	16,562	15,223	△ 1,339 文書料等
計(A)		1,227,979	1,211,459	1,211,569	1,198,763	1,227,986	1,374,596	1,425,804	1,368,580	△ 57,224

(費用)

内訳	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
給 与 費		845,625	868,956	870,328	885,780	920,572	945,348	956,120	993,257	37,137 給与(356,741)・手当(199,721)・賃金(252,189)・法定福利費(127,752)・賞与引当(56,854)
退職給与金等		55,900	106,607	54,627	47,754	83,896	70,201	67,904	69,038	1,134 通常分49, 944千円(給与費×140/1000)・経過措置分(5年目)19, 094千円
材 料 費		232,206	218,570	239,860	221,120	240,095	245,827	274,869	251,531	△ 23,338 医薬品費・薬品費・診療材料費等
経 費		83,386	91,180	92,598	89,507	90,927	98,113	96,428	96,560	132 消耗品・光熱水費・修繕費 等
委 託 費		115,214	123,093	116,711	128,682	134,514	139,895	142,149	150,409	8,260 給食・寝具・検査委託・医療機器保守料 等
減価償却費等		109,899	112,702	123,498	136,281	135,644	139,525	125,280	127,808	2,528 減価償却費(122, 540千円)・資産減耗費(5, 268千円)
そ の 他		6,590	5,934	5,900	5,564	4,820	5,420	9,383	9,547	164 研究研修費(5, 790千円)・本部費(421千円)・派遣職員負担金(3, 336千円)
計(B)		1,448,820	1,527,042	1,503,522	1,514,688	1,610,468	1,644,329	1,672,133	1,698,150	26,017

(収支)

内訳	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
計(A)―(B)	△ 220,841	△ 315,583	△ 291,953	△ 315,925	△ 382,482	△ 269,733	△ 246,329	△ 329,570	△ 83,241	医業収益計(A)―医業費用計(B)
(前年度との比較)	19,467	△ 94,742	23,630	△ 23,972	△ 66,557	112,749	23,404	△ 83,241		

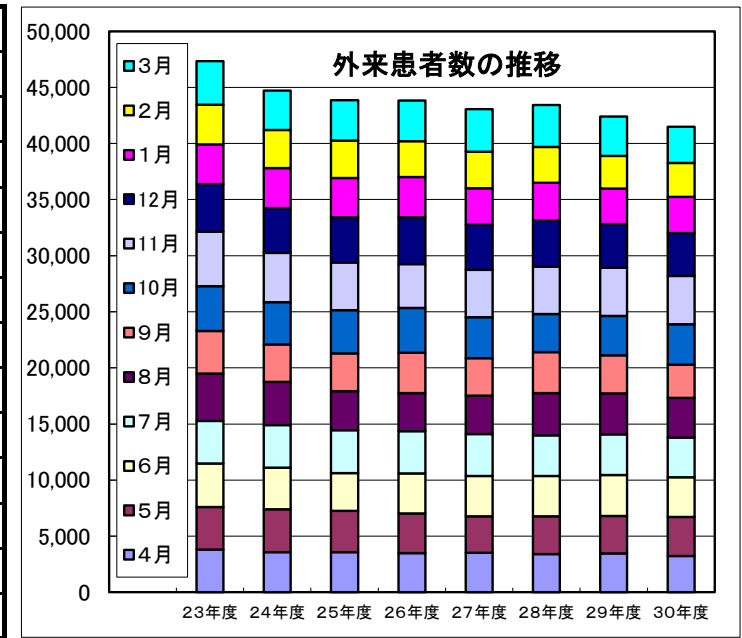
* 医業収支以外の主なもの

(収入)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
負 担 金	344,362	344,922	326,036	328,130	328,546	332,006	340,730	345,984	5,254	交付税措置額(不採算地区病院・へき地医療 含む)
補 助 金	38,234	38,083	37,770	36,948	36,164	34,570	35,636	31,814	△ 3,822	建設費にかかる支払利子の1/2・輪番制補助金・地域医療人材確保補助金 等
(支出)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
起債償還等	163,786	176,691	200,240	170,865	182,109	175,389	173,477	151,833	△ 21,644	元金 128, 909千円・利子22, 924千円

(外来患者数の推移)

(単位:人)

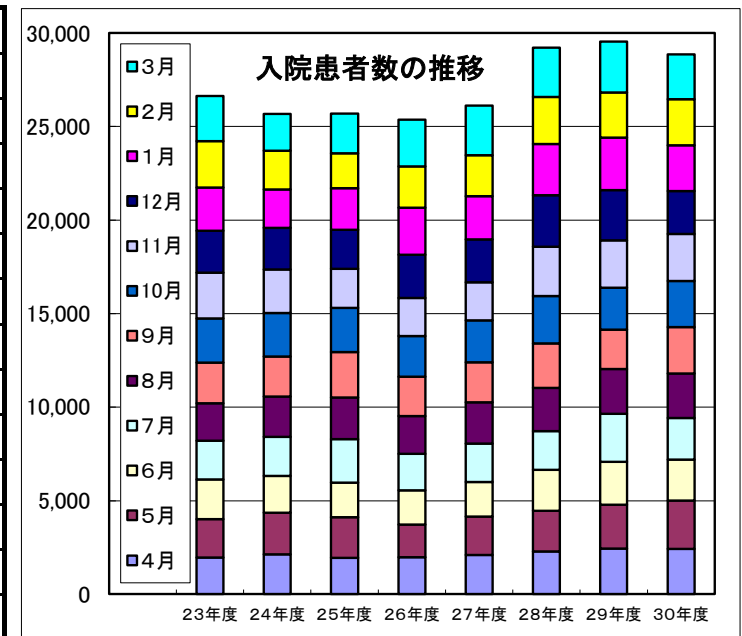
患者数	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
4月	3,806	3,582	3,569	3,503	3,515	3,401	3,458	3,238	△ 220
5月	3,780	3,815	3,697	3,531	3,268	3,374	3,355	3,477	122
6月	3,889	3,717	3,367	3,556	3,579	3,589	3,640	3,531	△ 109
7月	3,807	3,789	3,818	3,759	3,735	3,611	3,634	3,537	△ 97
8月	4,214	3,861	3,461	3,418	3,425	3,787	3,627	3,539	△ 88
9月	3,792	3,324	3,376	3,587	3,339	3,639	3,406	2,978	△ 428
10月	3,984	3,761	3,842	3,998	3,641	3,385	3,513	3,583	70
11月	4,850	4,388	4,261	3,893	4,230	4,238	4,303	4,300	△ 3
12月	4,252	4,011	4,021	4,158	4,019	4,099	3,889	3,821	△ 68
1月	3,542	3,565	3,500	3,616	3,262	3,383	3,162	3,234	72
2月	3,540	3,375	3,339	3,177	3,258	3,188	2,915	3,034	119
3月	3,870	3,535	3,616	3,619	3,784	3,733	3,510	3,213	△ 297
計	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	41,485	△ 927



(入院患者数の推移)

(単位:人)

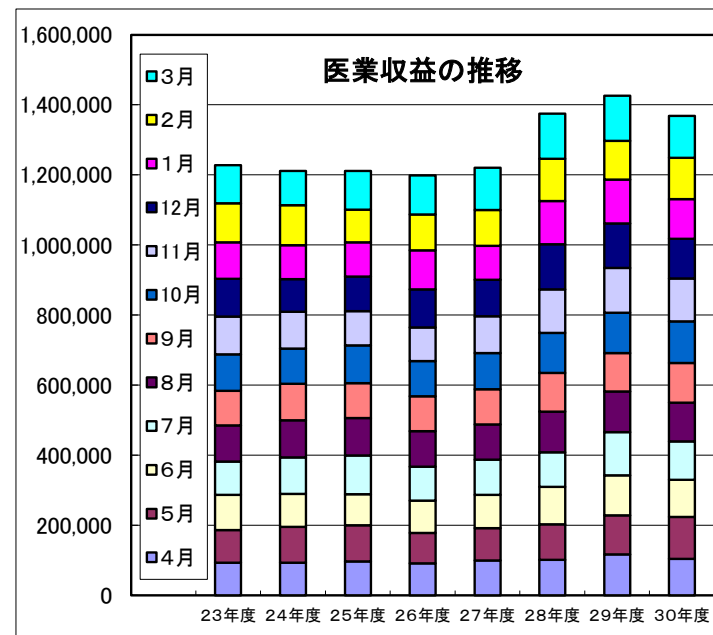
患者数	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
4月	1,960	2,131	1,953	1,975	2,106	2,283	2,438	2,423	△ 15
5月	2,056	2,225	2,158	1,743	2,045	2,173	2,344	2,583	239
6月	2,129	1,977	1,856	1,843	1,848	2,190	2,295	2,197	△ 98
7月	2,062	2,085	2,318	1,943	2,052	2,079	2,572	2,223	△ 349
8月	2,006	2,153	2,234	2,016	2,211	2,302	2,384	2,369	△ 15
9月	2,172	2,140	2,425	2,108	2,128	2,374	2,110	2,479	369
10月	2,363	2,323	2,362	2,179	2,246	2,534	2,236	2,476	240
11月	2,436	2,323	2,093	2,024	2,037	2,638	2,536	2,500	△ 36
12月	2,246	2,220	2,079	2,312	2,290	2,751	2,684	2,305	△ 379
1月	2,304	2,057	2,220	2,517	2,310	2,736	2,805	2,445	△ 360
2月	2,487	2,070	1,864	2,207	2,198	2,521	2,420	2,460	40
3月	2,410	1,964	2,127	2,506	2,651	2,641	2,708	2,403	△ 305
計	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	△ 669



(収益の推移)

(単位: 千円)

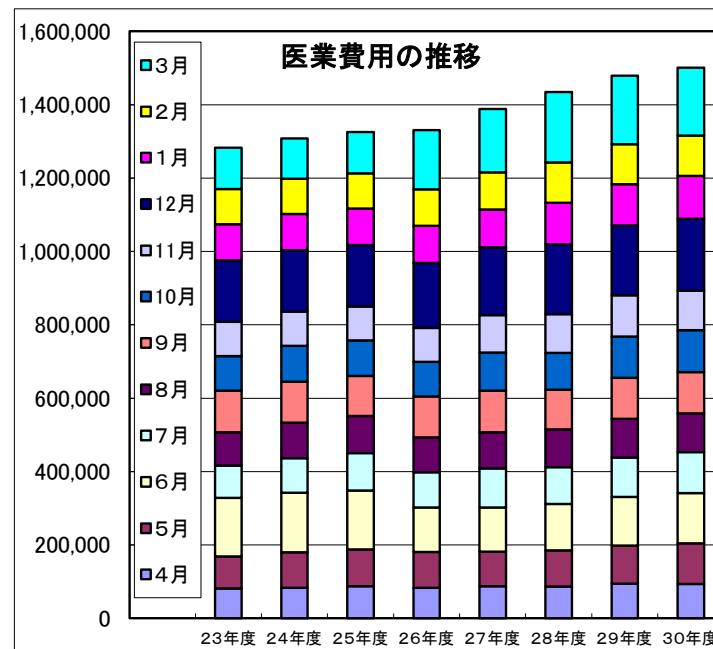
収益	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
4月	93,129	93,388	96,962	91,271	99,776	100,843	116,639	104,247	△ 12,392
5月	93,323	101,644	103,053	86,802	91,863	101,567	111,271	119,669	8,398
6月	99,813	94,693	88,846	92,220	94,782	107,412	114,588	105,343	△ 9,245
7月	95,533	103,445	109,755	96,417	100,636	98,586	123,042	109,785	△ 13,257
8月	103,533	106,746	107,556	101,608	100,678	115,825	115,885	111,070	△ 4,815
9月	98,115	103,541	99,282	99,268	100,243	110,947	109,947	112,628	2,681
10月	104,143	101,154	107,655	101,007	102,983	113,851	114,932	119,486	4,554
11月	108,031	104,203	97,611	95,528	105,504	124,226	127,888	122,183	△ 5,705
12月	107,397	93,570	98,976	108,759	104,295	129,163	127,351	112,886	△ 14,465
1月	104,209	96,464	98,197	111,663	96,994	123,340	124,661	113,306	△ 11,355
2月	112,044	114,722	93,144	102,095	102,418	120,084	110,451	118,068	7,617
3月	108,709	97,889	110,532	112,125	120,162	128,752	129,149	119,909	△ 9,240
計	1,227,979	1,211,459	1,211,569	1,198,763	1,220,334	1,374,596	1,425,804	1,368,580	△ 57,224



(費用の推移)

(単位: 千円)

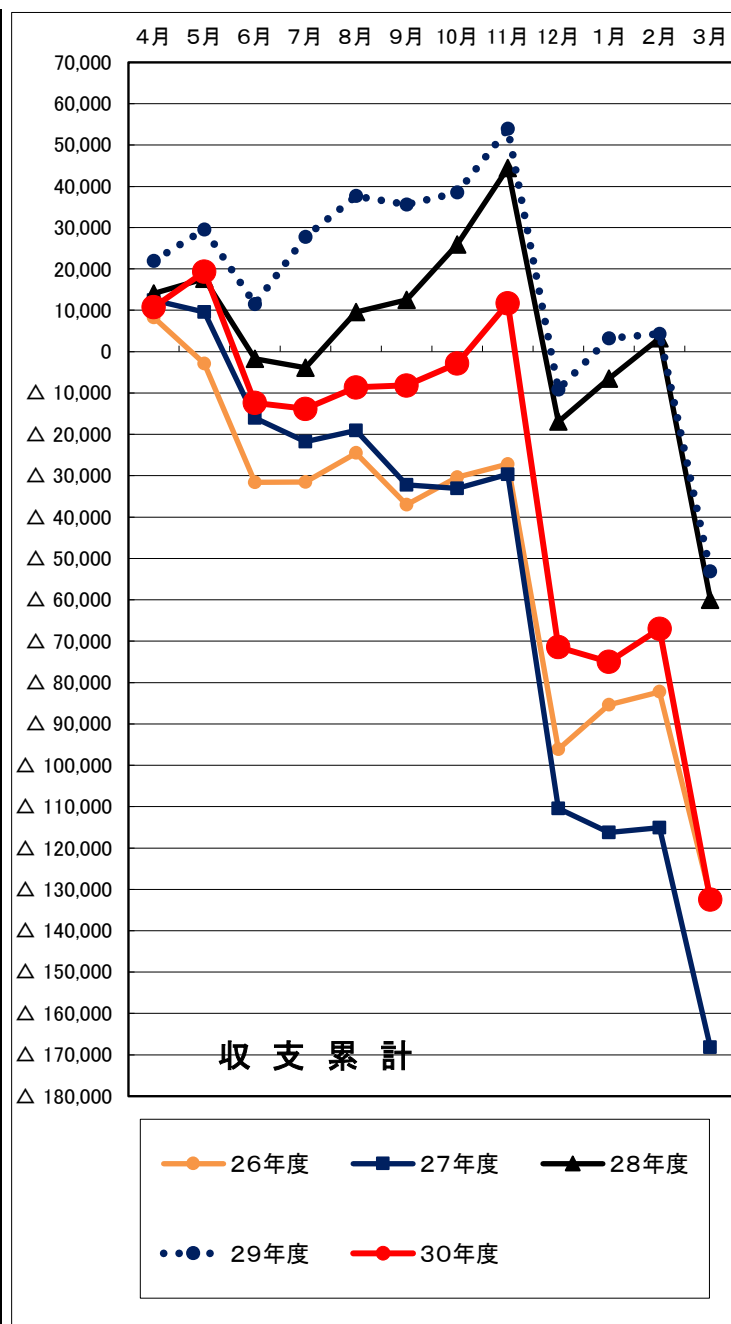
費用	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
4月	81,080	82,630	87,539	83,018	87,325	86,772	94,659	93,494	△ 1,165
5月	87,717	97,260	100,489	97,984	94,727	98,041	103,708	111,053	7,345
6月	159,770	162,381	160,669	120,883	120,422	126,735	132,671	137,092	4,421
7月	87,686	94,179	101,757	96,335	106,386	100,785	106,785	111,240	4,455
8月	90,964	96,462	101,467	94,625	97,931	102,318	105,946	105,871	△ 75
9月	113,095	112,177	108,969	111,747	113,391	108,052	112,075	112,167	92
10月	94,450	97,820	96,935	94,366	103,860	100,436	111,939	114,173	2,234
11月	92,950	93,123	92,535	92,386	102,096	105,714	112,520	107,637	△ 4,883
12月	168,168	167,413	167,309	177,691	185,095	190,511	190,408	196,015	5,607
1月	98,122	98,571	99,331	100,914	102,762	112,935	112,280	116,847	4,567
2月	95,861	96,524	95,939	98,935	101,254	110,330	109,367	110,089	722
3月	113,158	109,193	112,458	161,769	173,314	191,974	186,591	185,401	△ 1,190
計	1,283,021	1,307,733	1,325,397	1,330,653	1,388,563	1,434,603	1,478,949	1,501,079	22,130



(収支の推移)

(単位:千円)

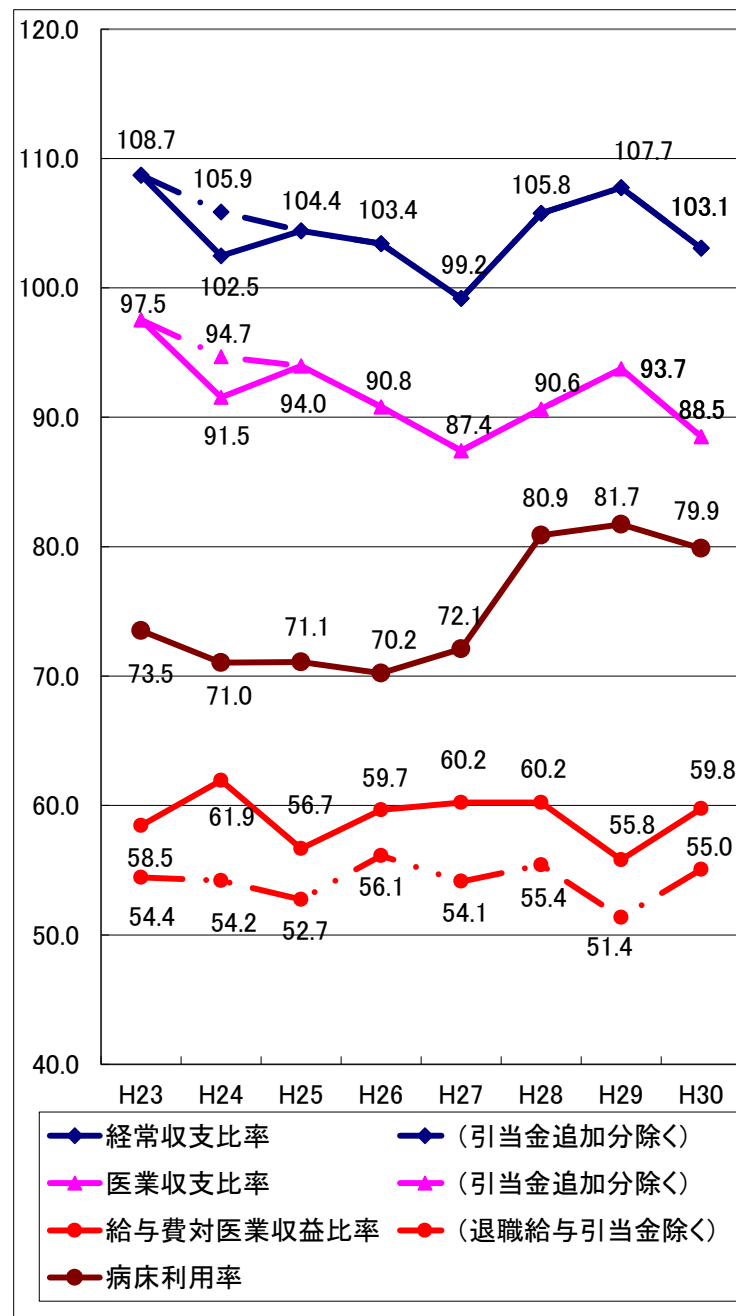
収支	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
4月	12,049	10,758	9,423	8,253	12,451	14,071	21,980	10,753	△ 11,227
5月	5,606	4,384	2,564	△ 11,182	△ 2,864	3,526	7,563	8,616	1,053
6月	△ 59,957	△ 67,688	△ 71,823	△ 28,663	△ 25,640	△ 19,323	△ 18,083	△ 31,749	△ 13,666
7月	7,847	9,266	7,998	82	△ 5,750	△ 2,199	16,257	△ 1,455	△ 17,712
8月	12,569	10,284	6,089	6,983	2,747	13,507	9,939	5,199	△ 4,740
9月	△ 14,980	△ 8,636	△ 9,687	△ 12,479	△ 13,148	2,895	△ 2,128	461	2,589
10月	9,693	3,334	10,720	6,641	△ 877	13,415	2,993	5,313	2,320
11月	15,081	11,080	5,076	3,142	3,408	18,512	15,368	14,546	△ 822
12月	△ 60,771	△ 73,843	△ 68,333	△ 68,932	△ 80,800	△ 61,348	△ 63,057	△ 83,129	△ 20,072
1月	6,087	△ 2,107	△ 1,134	10,749	△ 5,768	10,405	12,381	△ 3,541	△ 15,922
2月	16,183	18,198	△ 2,795	3,160	1,164	9,754	1,084	7,979	6,895
3月	△ 4,449	△ 11,304	△ 1,926	△ 49,644	△ 53,152	△ 63,222	△ 57,442	△ 65,492	△ 8,050
計	△ 55,042	△ 96,274	△ 113,828	△ 131,890	△ 168,229	△ 60,007	△ 53,145	△ 132,499	△ 79,354



決算統計数値の推移

項目	決算統計	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
医業収益 (A)	20表(2)	1,392,512	1,378,182	1,392,110	1,344,711	1,376,398	1,457,009	1,531,160	1,468,544
医業外収益 (B)	20表(15)	220,851	220,877	212,060	252,109	249,368	315,967	304,097	311,795
医業費用 (C)	20表(26)	1,427,809	1,505,721	1,481,548	1,481,150	1,574,822	1,607,501	1,633,384	1,659,408
医業外費用 (D)	20表(40)	56,267	54,778	55,060	62,861	64,105	68,942	70,080	67,923
職員給与費 (E)	20表(27)	813,925	853,402	788,720	802,275	828,922	877,403	854,210	877,465
材料費 (F)	20表(28)	221,220	208,079	228,454	204,652	222,190	227,631	254,845	232,134
うち薬品費 (G)	21表(22)	112,711	113,224	120,188	108,111	118,835	151,381	131,251	129,876
年延入院患者数 (H)	27表(6)	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863
うち一般患者数 (I)	27表(1)	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863
うち療養患者数 (J)	27表(2)	0	0	0	0	0	0	0	0
年延病床数 (K)	27表(12)	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135
うち一般病床 (L)	27表(7)	36,234	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135
うち療養病床 (M)	27表(8)	0	0	0	0	0	0	0	0

項目		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
経常収支比率	$\frac{(A)+(B)}{(C)+(D)}$	108.7	102.5	104.4	103.4	99.2	105.8	107.7	103.1
医業収支比率	$\frac{(A)}{(C)}$	97.5	91.5	94.0	90.8	87.4	90.6	93.7	88.5
職員給与費対医業収益比率	$\frac{(E)}{(A)}$	58.5	61.9	56.7	59.7	60.2	60.2	55.8	59.8
材料費対医業収益比率	$\frac{(F)}{(A)}$	15.9	15.1	16.4	15.2	16.1	15.6	16.6	15.8
うち薬品費対医業収益比率	$\frac{(G)}{(A)}$	8.1	8.2	8.6	8.0	8.6	10.4	8.6	8.8
病床利用率	$\frac{(H)}{(K)}$	73.5	71.0	71.1	70.2	72.1	80.9	81.7	79.9
うち一般病床	$\frac{(I)}{(L)}$	73.5	71.0	71.1	70.2	72.1	80.9	81.7	79.9
うち療養病床	$\frac{(J)}{(M)}$	-	-	-	-	-	-	-	-



平成30年度 外来患者(在宅・診療所含)分析

(単位:人)

収益

(単位:千円)

患者数	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	稼動	平均
4月	4,342	4,073	3,806	3,582	3,569	3,503	3,515	3,401	3,458	3,238	△ 220	20	161.9
5月	4,050	3,855	3,780	3,815	3,697	3,531	3,268	3,374	3,355	3,477	122	21	165.6
6月	4,288	4,216	3,889	3,717	3,367	3,556	3,579	3,589	3,640	3,531	△ 109	21	168.1
7月	4,536	4,334	3,807	3,789	3,818	3,759	3,735	3,611	3,634	3,537	△ 97	21	168.4
8月	4,299	4,376	4,214	3,861	3,461	3,418	3,425	3,787	3,627	3,539	△ 88	21	168.5
9月	4,399	3,974	3,792	3,324	3,376	3,587	3,339	3,639	3,406	2,978	△ 428	18	165.4
10月	4,612	3,932	3,984	3,761	3,842	3,998	3,641	3,385	3,513	3,583	70	22	162.9
11月	5,274	4,904	4,850	4,388	4,261	3,893	4,230	4,238	4,303	4,300	△ 3	21	204.8
12月	4,414	4,297	4,252	4,011	4,021	4,158	4,019	4,099	3,889	3,821	△ 68	19	201.1
1月	4,157	3,511	3,542	3,565	3,500	3,616	3,262	3,383	3,162	3,234	72	19	170.2
2月	3,935	3,415	3,540	3,375	3,339	3,177	3,258	3,188	2,915	3,034	119	19	159.7
3月	4,449	3,967	3,870	3,535	3,616	3,619	3,784	3,733	3,510	3,213	△ 297	20	160.7
計	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	41,485	△ 927	242	171.4

病院	訪問	診療所
27,261	6,228	211
29,008	6,497	235
29,246	6,672	244
29,523	6,423	269
30,814	5,757	255
26,960	5,184	245
31,630	6,319	202
26,661	6,280	225
28,978	5,703	182
28,090	5,186	160
26,240	5,640	166
27,211	6,118	207
341,622	72,007	2,601

(内訳)

(単位:人)

(単位:千円)

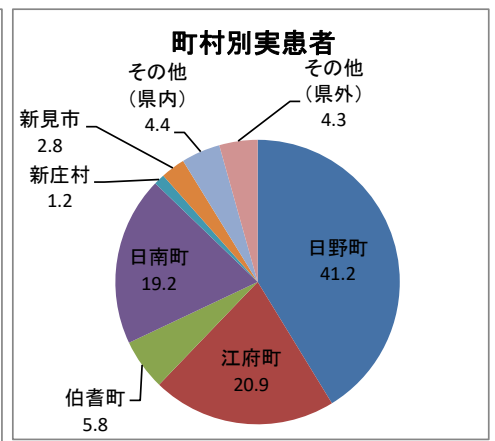
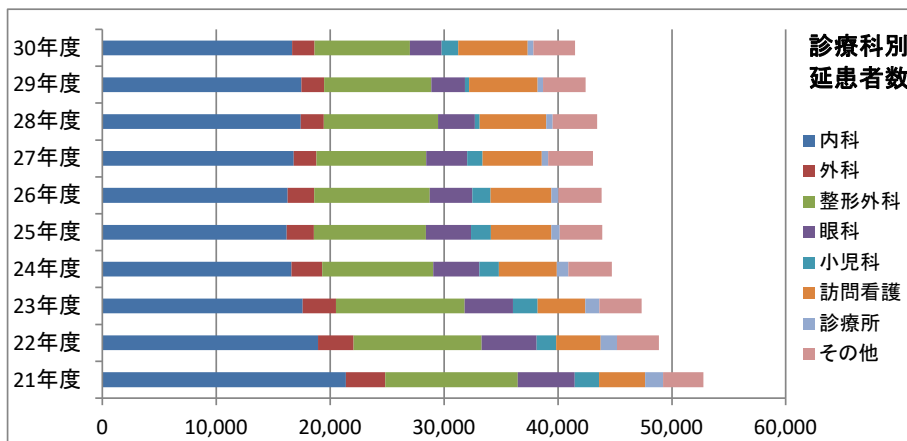
診療科	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	稼動	平均
内科	18,328	16,242	14,928	14,738	14,732	14,905	15,372	16,015	15,564	14,950	△ 614	242	61.8
(内 透析)	1,217	1,536	1,734	1,938	1,552	1,714	1,804	1,995	1,953	1,917	△ 36	259	7.4
循環器内科	810	922	770	0	0	0	0	0	421	484	63	43	11.3
消化器内科	955	851	868	804	683	576	645	743	795	545	△ 250	49	11.1
脳神経内科	1,261	900	1,010	1,043	750	778	767	657	688	678	△ 10	48	14.1
外科	3,078	2,751	2,580	2,410	2,095	2,063	1,755	1,737	1,710	1,668	△ 42	242	6.9
整形外科	11,640	11,251	11,302	9,736	9,841	10,137	9,630	10,025	9,424	8,378	△ 1,046	233	36.0
心臓血管外科	386	367	326	300	288	270	244	271	274	277	3	46	6.0
眼科	5,006	4,832	4,255	4,053	3,956	3,742	3,599	3,251	2,947	2,783	△ 164	223	12.5
耳鼻咽喉科	727	698	760	731	723	694	730	610	631	560	△ 71	45	12.4
泌尿器科	1,304	1,438	1,495	1,598	1,420	1,350	1,302	1,442	1,275	1,224	△ 51	47	26.0
皮膚科	522	565	451	411	519	747	836	855	826	897	71	50	17.9
女性診療科	167	78	68	147	191	168	192	220	221	198	△ 23	50	4.0
小児科	2,142	1,702	2,161	1,702	1,746	1,604	1,363	402	373	1,466	1,093	242	6.1
心療内科	716	799	766	806	753	743	764	777	770	759	△ 11	51	14.9
アレルギー科	88	107	153	134	132	74	93	0	0	0	0	0	
訪問看護・リハ	4,051	3,912	4,182	5,108	5,309	5,345	5,182	5,869	5,994	6,114	120	242	25.3
黒坂診療所	1,442	1,311	1,157	905	649	550	534	512	462	446	△ 16	99	4.5
二部診療所	132	128	94	97	80	69	47	41	37	58	21	50	1.2
計	52,755	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	41,485	△ 927	-	-

収益	診療単価	備考
188,557	12,613	月～金
52,721		月～金
4,364	9,017	月
5,605	10,284	水
3,405	5,022	木
24,845	14,895	月～金
67,640	8,074	月～金
1,788	6,455	第1～4火
15,368	5,522	月～金
1,987	3,548	木
16,196	13,232	木
2,246	2,504	火
580	2,929	火
5,565	3,796	月～金
3,476	4,580	金
0		
72,007	11,777	随時
2,265	5,078	火・木
336	5,793	水
416,230	10,033	

(内訳)

(単位:人・%)

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町(小計)	日南町	新庄村	新見市	その他(県内)	その他(県外)	合計
実患者数*	2,040	1,036	287	3,363	950	61	139	218	215	4,946
割合(%)	41.2	20.9	5.8	68.0	19.2	1.2	2.8	4.4	4.3	100.0
(H29実患者数)	2,023	1,013	292	3,328	863	59	134	218	136	4,738
割合(%)	42.7	21.4	6.2	70.2	18.2	1.2	2.8	4.6	2.9	100.0



平成30年度 入院患者分析（請求ベース）

（単位：人）

患者数	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	稼働	平均	稼働率 (%)	入院収益
4月	2,158	2,233	1,960	2,131	1,953	1,975	2,106	2,283	2,438	2,423	△ 15	30	80.8	81.6	65,962
5月	2,041	2,132	2,056	2,225	2,158	1,743	2,045	2,173	2,344	2,583	239	31	83.3	84.2	78,870
6月	2,304	1,872	2,129	1,977	1,856	1,843	1,848	2,190	2,295	2,197	△ 98	30	73.2	74.0	63,841
7月	2,559	2,134	2,062	2,085	2,318	1,943	2,052	2,079	2,572	2,223	△ 349	31	71.7	72.4	68,427
8月	2,450	2,062	2,006	2,153	2,234	2,016	2,211	2,302	2,384	2,369	△ 15	31	76.4	77.2	69,693
9月	2,161	2,284	2,172	2,140	2,425	2,108	2,128	2,374	2,110	2,479	369	30	82.6	83.5	73,094
10月	2,266	2,252	2,363	2,323	2,362	2,179	2,246	2,534	2,236	2,476	240	31	79.9	80.7	76,097
11月	2,128	2,035	2,436	2,323	2,093	2,024	2,037	2,638	2,536	2,500	△ 36	30	83.3	84.2	77,145
12月	2,571	2,379	2,246	2,220	2,079	2,312	2,290	2,751	2,684	2,305	△ 379	31	74.4	75.1	70,517
1月	2,568	2,583	2,304	2,057	2,220	2,517	2,310	2,736	2,805	2,445	△ 360	31	78.9	79.7	74,867
2月	2,452	2,373	2,487	2,070	1,864	2,207	2,198	2,521	2,420	2,460	40	28	87.9	88.7	80,952
3月	2,603	2,423	2,410	1,964	2,127	2,506	2,651	2,641	2,708	2,403	△ 305	31	77.5	78.3	78,914
計	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	△ 669	365	79.1	79.9	878,379

（内訳）

（単位：人）

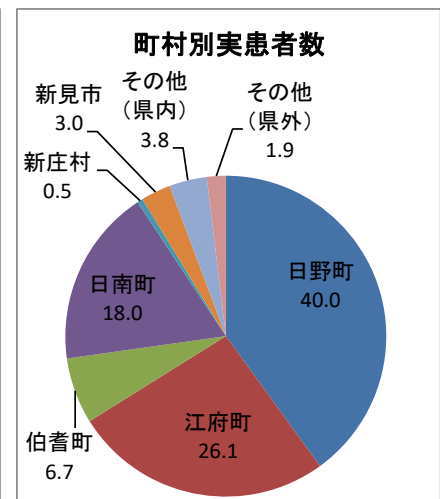
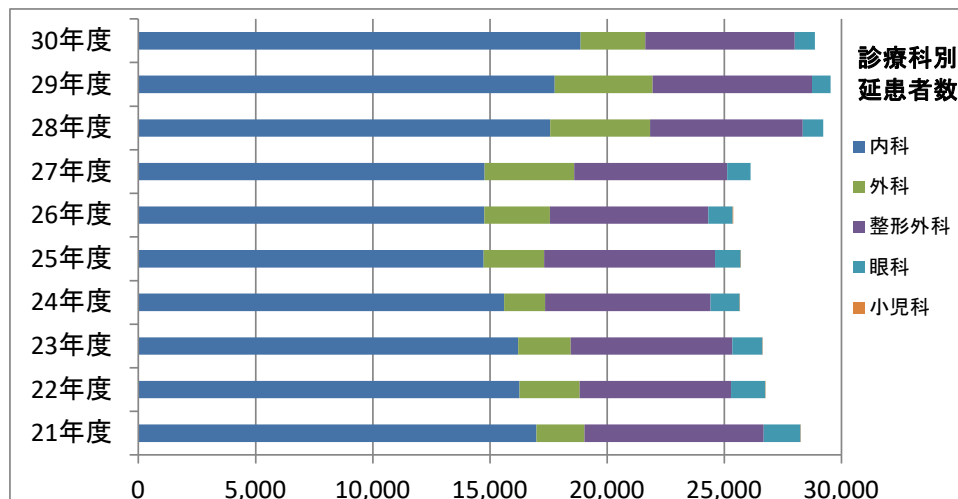
（単位：千円）

診療科	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	稼働	平均	収益 (千円)	単価 (円)
内科	16,977	16,256	16,204	15,601	14,726	14,746	14,771	17,569	17,762	18,865	1,103	365	51.7	518,209	27,469
外科	2,048	2,563	2,236	1,748	2,578	2,800	3,819	4,251	4,171	2,751	△ 1,420	365	7.5	91,733	33,345
整形外科	7,655	6,464	6,895	7,060	7,293	6,772	6,523	6,523	6,805	6,380	△ 425	365	17.5	233,588	36,613
眼科	1,566	1,467	1,291	1,236	1,089	1,036	1,009	879	794	867	73	365	2.4	34,849	40,195
小児科	15	12	5	23	3	19	0	0	0	0	0	365	0.0	0	
計	28,261	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	△ 669	365	79.1	878,379	30,433
平均患者数	77.4	73.3	72.8	70.3	70.4	69.5	71.4	80.0	80.9	79.1	平成18年8月以前（一般病床101床・療養病床16床）				
稼働率	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2	72.1	80.9	81.7	79.9	平成18年8月以後（一般病床99床）				

（内訳）

（単位：人・%）

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町 (小計)	日南町	新庄村	新見市	その他 (県内)	その他 (県外)	構成町以外 (小計)	合計
実患者数*	294	192	49	535	132	4	22	28	14	200	735
割合(%)	40.0	26.1	6.7	72.8	18.0	0.5	3.0	3.8	1.9	27.2	100.0
(H29実患者数)	284	195	45	524	98	7	25	25	17	172	696
割合(%)	40.8	28.0	6.5	75.3	14.1	1.0	3.6	3.6	2.4	24.7	100.0



材 料 費 ・ 経 費 ・ 委 託 費 比 較 表

(材料費)

(単位:円)

項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
材料費支払額	76,435,837	86,308,220	73,179,304	78,846,418	79,355,322	98,800,535	87,520,371	△ 11,280,164	入院患者数、手術件数の減による診療材料使用量の減
医薬品	140,162,749	150,355,182	145,178,958	158,611,129	163,531,450	172,364,134	161,101,116	△ 11,263,018	入院患者数の減による購入量の減
その他	1,970,739	3,197,513	2,761,716	2,637,966	2,939,012	3,704,813	2,909,706	△ 795,107	医療消耗備品 2,690,291円・給食材料費219,415円
支払金額	218,569,325	239,860,915	221,119,978	240,095,513	245,825,784	274,869,482	251,531,193	△ 23,338,289	

(経費)

(単位:円)

項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
厚生福利費	790,200	790,400	810,200	978,600	2,175,660	2,303,977	2,728,623	424,646	職員数の増による、健康診断及び予防接種(インフルエンザ、B型肝炎ワクチン等)経費の増
交際費	861,357	992,351	972,721	925,894	954,143	981,142	985,583	4,441	
旅費交通費	280,979	499,629	218,394	182,806	226,946	119,625	187,570	67,945	
職員被服費	4,990,706	4,250,847	3,939,846	4,811,075	4,719,422	5,783,188	5,657,297	△ 125,891	
消耗品費	8,113,263	6,701,959	6,208,080	6,859,300	7,658,656	9,586,102	9,132,385	△ 453,717	
消耗備品費	1,712,987	3,853,741	1,020,549	985,015	645,254	954,858	977,763	22,905	
光熱水費	42,348,156	43,604,226	43,516,710	38,198,635	36,558,577	40,534,378	42,403,380	1,869,002	灯油単価の増等による
燃料費	1,456,189	1,830,876	1,845,388	1,526,209	1,376,431	1,384,242	1,497,283	113,041	
食糧費	7,607	8,400	6,376	7,669	10,098	6,576	8,640	2,064	
印刷製本費	993,876	1,044,013	879,066	910,656	1,017,630	1,008,288	858,276	△ 150,012	
修繕費	10,552,487	7,673,246	8,189,876	10,403,384	15,619,403	9,217,657	7,876,161	△ 1,341,496	医療機器、施設修繕費の減
保険料	2,657,751	2,732,345	2,644,795	2,706,995	2,733,125	2,743,768	2,792,924	49,156	
賃借料	12,045,553	13,079,493	13,337,839	16,937,867	18,665,158	15,994,352	15,802,026	△ 192,326	人工呼吸器、在宅酸素機器レンタルの減
通信運搬費	2,433,211	2,902,407	2,979,794	2,959,204	3,026,087	3,014,625	2,900,482	△ 114,143	
諸会費	829,010	850,250	833,340	914,830	1,056,770	1,105,440	1,135,112	29,672	
貸倒引当金繰入額			762,000	0	0	0	0	0	
雑費	1,106,727	1,783,891	1,342,136	1,617,730	1,669,454	1,689,623	1,617,347	△ 72,276	
支払金額	91,180,059	92,598,074	89,507,110	90,925,869	98,112,814	96,427,841	96,560,852	133,011	

(委託費)

(単位:円)

項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
検査委託費(支払実績)	8,607,126	8,491,663	9,181,942	9,940,725	12,059,221	12,350,248	11,894,725	△ 455,523	入院患者数減少による検査件数の減
寝具単価	3,605,784	3,604,713	3,675,025	3,749,599	3,991,550	4,068,478	4,230,138	161,660	使用数の増
病衣単価	990,118	1,057,921	1,226,070	1,148,040	1,378,674	1,098,144	1,101,060	2,916	
給食(委託費)	32,760,000	32,760,000	33,696,000	33,696,000	33,696,000	33,696,000	33,696,000	0	①⑦月額 3,266,550円・①⑧～月額 2,730,000円・②⑤～月額 2,600,000円(税抜)
給食(材料費)	13,568,305	13,583,626	14,623,103	13,930,785	15,863,466	16,323,682	16,112,089	△ 211,593	食事提供数等の減
全自動分析装置	399,000	399,000	0	1,188,000	1,188,000	1,188,000	1,358,640	170,640	①⑦～月額 400,000円・②⑦～月額99,000円(税込) スポットチェック実施分(170,640円)の増
MR保守料	6,833,400	2,847,250	3,418,200	8,203,680	8,203,680	8,203,680	8,203,680	0	①⑦月額 638,750円・①⑧～月額 612,500円・②⑤～月額683,640円(税込)
CT・DRテレビ保守料	9,752,400	9,728,775	9,849,600	10,422,000	7,934,760	7,663,680	7,393,680	△ 270,000	CT・X線管球保守料(6,285,600円)・医用画像保管装置保守料(395,280円)・X線外科イメージ保守料(259,200円)・X線外科イメージスポット点検料(194,400円)・X線一般撮影保守料(259,200円)
富士FCRシステム保守	810,180	810,180	1,261,170	1,867,676	1,681,560	1,681,560	1,681,560	0	月額 140,130円
消防用設備点検	414,750	414,750	426,600	426,600	426,600	426,600	426,600	0	①⑦ 年額472,500円・①⑧①⑨年額438,900円・②⑩～年額税抜395,000円(複数年契約による減)
空気調和設備保守	2,520,000	2,520,000	2,592,000	2,592,000	2,592,000	2,592,000	2,592,000	0	年4回実施 1回当たり ①⑦～682,500円・②⑩～600,000円(税抜)複数年契約により減
透析浸透水处理定期点検他	2,731,470	170,573	2,720,736	701,288	2,775,856	674,136	4,087,308	3,413,172	2年に1回(メンテナンス時の交換部品により金額変動)
日立人工透析排水維持管理	420,000	420,000	432,000	432,000	432,000	432,000	782,352	350,352	16年度から保守(年4回実施) ①⑦～100,000円(税抜) H30年度は不具合箇所の部品交換を実施(350,352円)
高圧蒸気滅菌装置性能検査	249,900	0	0	0	0	0	0	0	
三菱昇降機保守	1,965,600	1,965,600	2,021,760	2,021,760	2,021,760	2,021,760	2,021,760	0	①⑦～月額 156,000円(税抜)
自動ドア保守	808,500	808,500	810,000	810,000	810,000	810,000	810,000	0	①⑦年額 878,850円・①⑧～年額 808,500円・②⑤～年額 750,000円(税抜)
カーテン保守	426,300	397,946	8,640	401,112	401,112	401,112	427,127	26,015	透析室用カーテンの増による
電気保安協会業務	677,670	677,670	697,031	697,031	697,031	697,031	697,031	0	基本料 645,400円(税抜)
清掃、洗濯委託料	12,549,600	12,549,600	12,694,320	12,694,320	12,694,320	12,694,320	12,694,320	0	①⑦～月額 1,047,480円・①⑨～月額 1,045,800円(長期契約による減) ②⑤～月額 979,500円(税抜)

特別清掃	1,709,400	1,614,900	1,695,600	1,733,400	1,406,160	1,406,160	1,406,160	0	
医療廃棄物処理	3,382,050	2,969,400	3,015,360	3,533,220	4,113,720	4,328,640	4,444,740	116,100	排出量の増
医療ガス設備保守	958,440	939,960	939,600	967,680	981,396	967,680	947,376	△ 20,304	ボンベ検査実施件数の減
玄関マット	200,844	200,844	206,472	205,932	205,932	205,932	226,668	20,736	月額 18,889円(税込)
コピー機積算カウンター料金	764,429	690,034	701,175	481,823	474,111	507,738	580,556	72,818	使用量で金額変動
生ゴミ処理機保守	100,800	100,800	103,680	103,680	103,680	103,680	103,680	0	⑰～年額 226,800円・22年度器械入替(月額8,400円×4ヶ月)・⑳～月額8,000円
除雪	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	0	
特殊建築物定期調査	2,184,000	0	216,000	0	230,040	0	140,400	140,400	法定点検(2年に1度実施)
電子カルテ等情報システム保守	2,990,295	2,683,380	4,197,570	4,390,035	4,231,711	5,269,488	8,469,529	3,200,041	電子カルテ更新に伴う、電子カルテ本体及び部門システムに係る保守料の増
人工呼吸器定期点検	1,472,100	1,472,100	730,080	0	0	0	0	0	
病院警備委託料	0	1,713,600	6,053,688	6,053,688	6,053,688	6,053,688	7,713,636	1,659,948	委託料(警備員人件費)の増(月額642,803円)
遠隔画像診断支援業務	5,233,722	5,378,622	5,892,750	6,225,930	7,848,630	9,939,780	9,771,948	△ 167,832	患者数減による検査件数の減
その他	3,456,997	5,188,926	5,045,905	5,345,916	4,848,824	5,794,578	5,844,196	49,618	麻酔器点検、血球計数器・凝固測定装置点検、手術室環境モニタリング、財務給与システム保守料、手術室モニター点検、おしどりネット保守料等
支払金額	123,093,180	116,710,333	128,682,077	134,513,920	139,895,482	142,149,795	150,408,959	8,259,164	

人 件 費 比 較 表

(単位:千円)

項 目		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
給 料	医師	38,593	38,800	33,812	27,712	31,816	4,104	
	看護師	150,303	166,220	163,957	170,670	167,994	△ 2,676	
	准看護師	25,162	25,476	25,452	25,196	22,024	△ 3,172	
	医療技術員	69,200	70,404	85,411	77,411	82,071	4,660	
	事務員	42,516	43,697	46,784	37,919	43,029	5,110	
	労務員	12,711	12,844	9,637	9,733	9,807	74	
	小計	338,485	357,441	365,053	348,641	356,741	8,100	
賃 金	嘱託医師	8,901	8,901	8,901	8,901	27,980	19,079	小児科、外科嘱託医採用による
	非常勤医師	108,054	111,221	119,454	147,578	139,272	△ 8,306	
	看護師	6,404	9,023	6,131	8,022	16,465	8,443	
	准看護師	23,113	22,572	19,279	14,792	18,005	3,213	
	医療技術員	5,269	4,194	4,830	14,036	9,577	△ 4,459	
	事務員	18,514	18,568	19,566	24,674	24,417	△ 257	
	労務員	20,868	19,397	17,300	17,773	16,473	△ 1,300	
	小計	191,123	193,876	195,461	235,776	252,189	16,413	
手 当	扶養手当	6,819	5,949	6,683	6,912	7,051	139	
	地域手当	6,512	6,916	6,316	5,209	5,785	576	
	管理職手当	4,844	7,090	7,426	7,106	6,883	△ 223	
	住居手当	4,269	4,980	4,411	3,627	3,167	△ 460	
	通勤手当	9,432	10,993	11,199	10,761	10,669	△ 92	
	初任給調整手当	21,218	21,248	22,019	17,426	19,323	1,897	
	医療業務手当	6,360	6,900	7,140	6,780	7,220	440	
	放射線取扱手当	252	252	252	161	182	21	
	時間外勤務手当	15,820	11,783	23,212	23,755	24,810	1,055	
	日当直手当	4,636	4,608	4,578	4,042	3,253	△ 789	
	管理職特別手当	2,290	2,560	2,272	1,952	1,811	△ 141	
	夜間看護手当	9,751	9,899	9,778	10,370	9,602	△ 768	
	夜間勤務手当	3,478	3,471	3,417	3,608	3,325	△ 283	
	在宅待機手当	292	293	292	292	292	0	
	児童(子供)手当	3,170	2,950	3,330	3,250	2,785	△ 465	
	期末手当	53,821	57,141	58,554	54,156	56,166	2,010	
	勤勉手当	30,902	34,561	37,242	35,254	37,397	2,143	人事院勧告に伴う増
	賞与引当金繰入額	51,010	52,375	55,620	54,745	56,854	2,109	人事院勧告に伴う増
	小計	234,876	243,969	263,741	249,406	256,575	7,169	
法 定 福 利 費	共済負担金	93,642	100,469	102,791	101,214	103,553	2,339	
	共済追加費用	16,023	13,193	7,191	8,679	8,459	△ 220	
	社会保険料	9,188	9,139	8,758	10,272	13,460	3,188	
	公務災害負担金	635	779	864	801	744	△ 57	
	労災保険料	1,808	1,706	1,489	1,331	1,536	205	
	小計	121,296	125,286	121,093	122,297	127,752	5,455	
退 職 給 付 費	退職給付引当金(通常)	28,660	64,802	51,107	48,810	49,944	1,134	
	退職給付引当金(追加)	19,094	19,094	19,094	19,094	19,094	0	
	小計	47,754	83,896	70,201	67,904	69,038	1,134	
計		933,534	1,004,468	1,015,549	1,024,024	1,062,295	38,271	

人 件 費 比 較 表（職員数）

年間延人数

（単位：人）

項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
正職員							
医師	84	84	75	60	68	8	
看護師	506	575	570	582	579	△ 3	
准看護師	84	84	84	84	72	△ 12	
医療技術員	294	288	348	311	321	10	
事務員	156	156	168	144	156	12	
労務員	48	48	36	36	36	0	
小計	1,172	1,235	1,281	1,217	1,232	15	
嘱託職員							
医師	12	12	12	12	36	24	外科、小児科嘱託医の増
非常勤医師	465	536	580	666	703	37	診療回数が増による
看護師	36	48	30	42	68	26	定年後再雇用看護師の増
准看護師	119	115	84	64	77	13	
医療技術員	18	12	21	59	47	△ 12	臨床検査技師の減
事務員	120	120	125	170	160	△ 10	在宅介護支援事業所ケアマネの減
労務員	131	112	93	111	86	△ 25	病棟ケアワーカーの減
小計	901	955	945	1,124	1,177	53	
計	2,073	2,190	2,226	2,341	2,409	68	

1月あたり人数

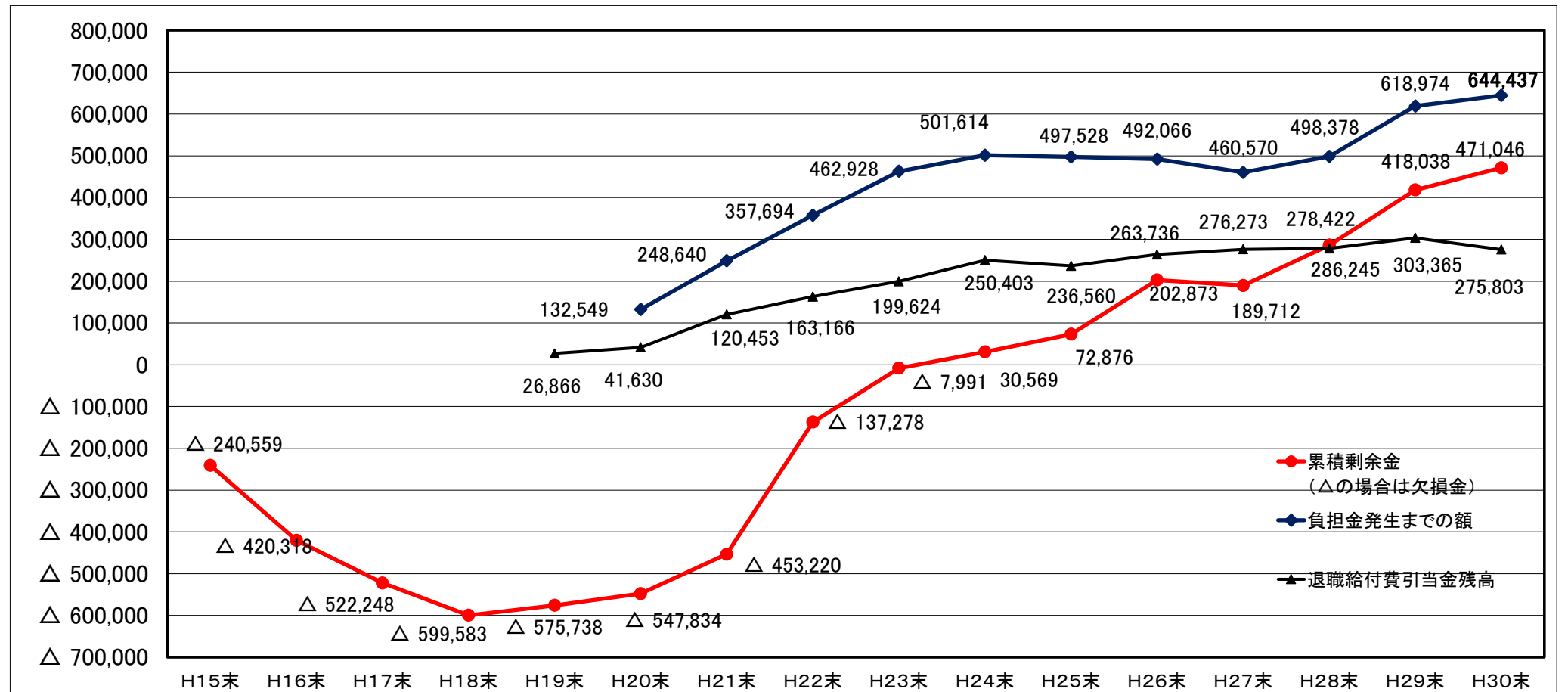
（単位：人）

項目	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引	備 考
正職員							
医師	7.0	7.0	6.3	5.0	5.7	0.7	
看護師	42.2	47.9	47.5	48.5	48.3	△ 0.3	
准看護師	7.0	7.0	7.0	7.0	6.0	△ 1.0	
医療技術員	24.5	24.0	29.0	25.9	26.8	0.8	
事務員	13.0	13.0	14.0	12.0	13.0	1.0	
労務員	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	0.0	
小計	97.7	102.9	106.8	101.4	102.7	1.3	
嘱託職員							
医師	1.0	1.0	1.0	1.0	3.0	2.0	
非常勤医師	38.8	44.7	48.3	55.5	58.6	3.1	
看護師	3.0	4.0	2.5	3.5	5.7	2.2	
准看護師	9.9	9.6	7.0	5.3	6.4	1.1	
医療技術員	1.5	1.0	1.8	4.9	3.9	△ 1.0	
事務員	10.0	10.0	10.4	14.2	13.3	△ 0.8	
労務員	10.9	9.3	7.8	9.3	7.2	△ 2.1	
小計	75.1	79.6	78.8	93.7	98.1	4.4	
計	172.8	182.5	185.5	195.1	200.8	5.7	

累積剰余金及び負担金発生までの額の推移

(単位:千円)

年 度	H15末	H16末	H17末	H18末	H19末	H20末	H21末	H22末	H23末	H24末	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末
病院事業等決算額	△ 134,595	△ 179,759	△ 101,930	△ 77,335	23,845	27,904	94,614	108,361	129,287	38,560	42,306	7,392	△ 13,161	96,533	131,793	53,008
端数調整及び 資本剰余金取り崩し額	0	0	0	0	0	0	0	207,581	0	0	0	122,605	0	0	0	0
累 積 剰 余 金 (△の場合は欠損金)	△ 240,559	△ 420,318	△ 522,248	△ 599,583	△ 575,738	△ 547,834	△ 453,220	△ 137,278	△ 7,991	30,569	72,876	202,873	189,712	286,245	418,038	471,046
負担金発生までの額	単年度資金収支による追加負担金					132,549	248,640	357,694	462,928	501,614	497,528	492,066	460,570	498,378	618,974	644,437
退職給付費引当金残高	単年度の支出による				26,866	41,630	120,453	163,166	199,624	250,403	236,560	263,736	276,273	278,422	303,365	275,803



施設・設備等整備状況

施設・設備等整備状況

施設

工事内容	契約金額	契約年月日	契約先
日野病院防災盤他更新工事	7,214,400 円 (内消費税 534,400円)	平成30年5月18日	(有)米子報知器
日野病院CT室ほか空調機更新工事	6,588,000 円 (内消費税 488,000円)	平成30年7月9日	三和商事(株)
日野病院冷温水発生機、冷却塔ほか更新工事	25,272,000 円 (内消費税 1,872,000円)	平成30年9月10日	三和商事(株)
日野病院電子カルテ用サーバー室設置工事	1,296,000 円 (内消費税 96,000円)	平成30年10月16日	(株)津田建築

設備

購入物品名	契約金額	契約年月日	契約の相手方
パワーハンドピース	3,024,000 円 (内消費税 224,000円)	平成30年5月1日	村中医療器(株)
高圧蒸気滅菌装置	13,608,000 円 (内消費税 1,008,000円)	平成30年5月18日	小西医療器(株)
解析付心電計	1,080,000 円 (内消費税 80,000円)	平成30年5月18日	村中医療器(株)
ベッドサイドモニタ	1,728,000 円 (内消費税 128,000円)	平成30年5月18日	村中医療器(株)
ノートパソコン	151,200 円 (内消費税 11,200円)	平成30年5月11日	オフィスオートメーションシステム(株)
個人用多用途透析装置	4,627,800 円 (内消費税 342,800円)	平成30年6月7日	(株)ピーエムエス
226号室空調機	426,600 円 (内消費税 31,600円)	平成30年6月7日	三和商事(株)
223号室空調機	421,200 円 (内消費税 31,200円)	平成30年6月18日	三和商事(株)
職員表彰ボード	165,240 円 (内消費税 12,240円)	平成30年7月20日	平山金属工芸
ホルター心電計	702,000 円 (内消費税 52,000円)	平成30年7月9日	村中医療器(株)
日野病院総合情報システム	169,511,000 円 (内消費税 12,556,370円)	平成30年7月11日	(株)ケイズ
放射線画像システム	21,600,000 円 (内消費税 1,600,000円)	平成30年7月11日	キャノンメディカルシステムズ(株)
スポットチェックモニタ	3,186,000 円 (内消費税 236,000円)	平成30年7月11日	小西医療器(株)
鏡視下手術機器	523,800 円 (内消費税 38,800円)	平成30年9月3日	村中医療器(株)
胆道ファイバースコープ	2,041,200 円 (内消費税 151,200円)	平成30年9月10日	ティーエスアルフレッサ(株)
ノートパソコン	120,000 円 (内消費税 8,889円)	平成30年9月21日	オフィスオートメーションシステム(株)
プレハブ冷凍ユニット	1,328,400 円 (内消費税 98,400円)	平成30年11月13日	(有)エフエスエーシステムズ
2階特別室空調機	518,400 円 (内消費税 38,400円)	平成30年11月19日	三和商事(株)

内視鏡用炭酸ガス送気装置	334,800 円 (内消費税 24,800円)	平成30年11月19日	ティーエスアルフレッサ(株)
超音波画像診断装置	10,692,000 円 (内消費税 792,000円)	平成31年1月15日	宮野医療器(株)
ベッドサイドモニター	1,566,000 円 (内消費税 116,000円)	平成31年1月15日	村中医療器(株)
輸液ポンプ(架台付)4台	561,600 円 (内消費税 41,600円)	平成31年2月18日	村中医療器(株)
ノートパソコン	125,064 円 (内消費税 9,264円)	平成31年2月25日	オフィスオートメーションシステム(株)

委員会活動状況

日野病院委員会(ワーキング) 構成表

番号	会議・委員会	ワーキング
	管理者会議	
		幹事会
1	病院運営会議	
		人事委員会 倫理委員会
2	管理職会議	
		病院機能評価受審委員会
3	情報システム管理委員会	
		電子カルテ検討委員会 医療連携ネットワーク委員会
4	診療局会議	
5	医療技術局運営会議	
		リハビリ運営委員会 放射線室運営委員会 検査室運営委員会 薬剤管理室運営委員会 臨床工学室運営委員会
6	病院業務検討委員会	
		病院機能検討委員会 医師負担軽減対策委員会 医療機器購入検討委員会
7	看護業務検討委員会	
		外来業務委員会 病棟運営委員会 手術室運営委員会 透析室運営委員会
8	地域連携推進委員会	
9	輸血委員会	
10	物流委員会	
		薬事審議委員会 SPD委員会 委託業者連絡委員会
11	経営企画委員会	
		保険診療委員会 クリニカルパス委員会 褥瘡・NST委員会 がん研究及び対策委員会 生活習慣病対策委員会 ドック検診委員会 栄養管理委員会
12	医療安全管理委員会	
		医薬品安全管理委員会 医療機器安全管理委員会 医療ガス安全管理委員会 診療記録開示検討委員会
13	院内事故調査委員会	
14	院内感染対策委員会	
		ICT委員会
15	労働安全衛生委員会	
16	診療記録管理委員会	
17	サービス推進委員会	
18	接遇向上委員会	
19	教育・研修委員会	
		図書委員会 BLS委員会
20	災害対策委員会	
21	個人情報保護対策委員会	

1. 病院運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第147回	H30.4.20	6名	平成30年度各委員会及びワーキングの委員編成について 平成29年度部門別目標の評価及び平成30年度部門別目標の提出について 平成29年度年報作成に係る委員会活動報告・学会発表・業績等入力について 地域連携連絡会の開催について 看護の日イベントの実施について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 5月1日付辞令交付について 患者さまの声について コミュニティチャンネルひのについて その他 ・透析業務体制について ・救急救命士の救急救命活動に関する連絡会の開催について ・日野病院職員ソフトテニス大会の開催について
第148回	H30.5.23	7名	平成29年度病院事業等の決算状況について 平成29年度決算分析における各種統計数値の確認について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 6月1日付辞令交付について 外来診察及び医師の変更について 熊野診療局長退職に伴う対応について 日野町病児・病後児保育業務委託について 患者さまの声について コミュニティチャンネルひのについて その他 ・鵜の池マラソンの開催について ・眼科について
第149回	H30.6.20	7名	日野病院組合議会定例会(8/31)の開催について 新規採用職員の評価について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 7月1日付辞令交付について 電子カルテシステム入札(プロポーザル)の結果について 患者さまの声について コミュニティチャンネルひのについて その他 ・平成30年度夏季休暇について
第150回	H30.7.18	7名	日野病院組合議会定例会の開催について(8/31) 職員募集について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 8月1日付辞令交付について 患者さまの声について コミュニティチャンネルひのについて その他 ・医療事故等の報告について

第151回	H30.8.22	7名	日野病院組合議会定例会の開催について(8/31) 基本理念・基本方針の見直しについて 職員説明会の開催について(9/13) 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 9月1日付辞令交付について 患者さまの声について コミュニティチャンネルひのについて その他 ・濱副名誉病院長講演(8/27)について
第152回	H30.9.19	7名	日野病院組合議会定例会の結果について(8/31) 日野病院組合人事評価の実施について 平成31年度へき地医療拠点病院施設整備事業補助金に係る医療機器の要望について インフルエンザ予防接種について 厚生局適時調査について 流行性角結膜炎の流行について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 10月1日付辞令交付について コミュニティチャンネルひのについて 患者さまの声について その他 ・孝田病院長講演について(10/25) ・濱副名誉病院長講演(12/20)について
第153回	H30.10.24	7名	日野病院組合議会定例会の開催について(11/26予定) 平成29年度年報について 厚生局適時調査の結果について インフルエンザ予防接種実施及び職員罹患時の対応について 職員の時間外勤務について 国税局による税務調査(源泉所得税)の結果について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 11月1日付辞令交付について 患者さまの声について コミュニティチャンネルひのについて その他 ・濱副名誉病院長日野町職員研修(11/20)について ・濱副名誉病院長講演(12/20)について ・来年のゴールデンウィーク(10連休)の対応について ・医療技術員の待機手当の支給について ・医療事故に関する判定実施
第154回	H30.11.21	6名	平成31年度当初予算要求について 人事評価による勤勉手当の加算(減額)について 日野病院職員表彰の推薦について 日野病院組合議会定例会(11/26)の開催について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 12月1日付辞令交付について 患者さまの声について コミュニティチャンネルひのについて その他 ・来年のゴールデンウィーク(10連休)の対応について ・日野病院職員互助会忘年会の開催について(12/8) ・日野病院クリスマスイベントの開催について(12/14)

			・演副名誉病院長講演(12/20)について
第155回 (臨時)	H30.12.3	8名	医療事故報告について
第156回	H30.12.19	7名	奨学生の募集について(薬剤師・看護師) 日野病院職員表彰の推薦について 地方交付税(負担金)の確定について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について 仕事納め式及び仕事始め式(辞令交付)の開催について コミュニティチャンネルひのについて 患者さまの声について その他 ・平成30年1月以降の診療体制について ・給与改定(人事院勧告)の実施について ・働き方改革について
第157回	H31.1.23	7名	日野病院組合議会定例会の開催について(2/26予定) 平成30年度決算見込み及び平成31年度当初予算の状況について 平成31年度医療機器の購入予定について(当初及び補正対応) 平成31年度医師異動について(兼派遣医師) 日野病院職員表彰について 2月1日付辞令交付について 業務改善提案書について マニュアルの変更について 施設基準の変更について コミュニティチャンネルひのについて 患者さまの声について その他 ・病院機能評価総括の確認について ・働き方改革について
第158回	H31.2.20	7名	日野病院組合議会定例会について(2/26) 日野病院職員表彰について 外来担当医師及び外来診察体制の変更について(4月～) 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について 3月1日付辞令交付及び4月1日付人事異動について コミュニティチャンネルひのについて 患者さまの声について その他 ・ゴールデンウィーク中の対応について ・厚生労働省の医療保険共同指導について
第159回	H31.3.20	6名	3月31日(退職)及び4月1日付け辞令交付について 新入職員オリエンテーションの実施について(4/2) 外来診察及び医師の変更について(4月～) 平成31年度委員会委員及びワーキングの編成について 平成30年度部門目標の評価及び平成31年度部門目標の提出について 業務改善提案書について マニュアルの作成・変更について 施設基準の変更について コミュニティチャンネルひのについて 患者さまの声について その他 ・日野病院職員互助会歓迎会(兼職員表彰)の開催について(4/18) ・透析相談窓口の設置について ・透析科標榜について

(1) 倫理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H30.4.20	6名	(2018-1) 承認 他職種が集まって緩和医療に関する不安について論議するとどのような不安が抽出されるか (2018-2) 承認 透析患者におけるサルコペニアとADL自立度の関連 (2018-3) 承認 他職種が集まって緩和医療に関する不安について論議すると どのような不安が抽出されるか
第2回	H30.7.4	6名	(2018-5) 承認 継続看護におけるカンファレンスの取組みと課題 (2018-6) 承認 新人看護師教育に対してプリセプターが感じる思い
第3回	H30.9.19	7名	(2018-4) 承認 肝血管腫の血液凝固検査へ与える影響についての研究
第4回	H30.10.24	7名	(2018-7) 承認 訪問看護サービスに関する利用者満足度調査
第5回	H31.1.23	7名	(2018-8) 承認 訪問リハビリテーション利用者満足度調査
第6回	H31.2.20	7名	(2018-9) 承認 肺エコーの肺炎診断・治療経過観察における有用性についての研究 (2018-10) DWIBS (Diffusion weighted imaging with body signal suppression) の有用性についての研究
第7回	H31.3.20	6名	(2018-11) 承認 日野病院外来患者における抗菌薬の適正使用に関する調査 (2018-12) 承認 透析患者におけるサルコペニアとADL自立度の関連

2. 管理職会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.4.25	14名	(1) 3月末経営概況について (2) 3月分各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 5月1日付辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 平成29年度年報作成に係る委員会活動報告及び業績等の入力について (7) 平成30年度各委員会及びワーキングの編成について (8) 平成29年度部門別目標の評価及び平成30年度部門別目標の提出について (9) 平成29年度決算見込みについて (10) 透析業務体制(土曜日開始)について (11) 日野町コミュニティーチャンネルについて (12) 業務改善提案書について (13) 施設基準の変更について (14) マニュアルの変更について (15) 患者様の声について (16) 看護の日イベントの実施について(5/12) (17) その他 ・救急救命士の救急救命活動に関する連絡会の開催について(5/24) ・せせらぎカップソフトテニス大会の開催について(5/19) ・病院機能評価打ち上げについて(6/22)
第2回	H30.5.30	12名	(1) 4月末経営概況及び各種統計について (2) 4月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 6月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 平成29年度病院事業等の決算見込みについて (7) 平成29年度決算分析における各種統計数値の確認について (8) 外来診察及び医師の変更について (9) 熊野診療局長退職に伴う対応について (10) 日野町病児病後児保育業務委託について (11) 日野町コミュニティーチャンネルについて (12) 業務改善提案書について (13) 施設基準の変更について (14) マニュアルの変更について (15) 患者様の声について (16) その他 ・病院機能評価の中間報告について
第3回	H30.6.27	14名	(1) 5月末経営概況及び各種統計について (2) 5月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 7月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会の開催について (7) 日野町コミュニティーチャンネルについて (8) 業務改善提案書について (9) 施設基準の変更について (10) マニュアルの変更について (11) 患者様の声について (12) その他 ・平成30年度における正職員の夏季休暇について

第4回	H30.7.25	14名	(1) 6月末経営概況及び各種統計について (2) 6月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 8月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 職員募集及び採用試験の実施について (7) 日野病院組合議会定例会の開催について (8) 外来診察及び医師の変更について (9) 日野町コミュニティーチャンネルについて (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの変更について (13) 患者様の声について (14) その他 ・病院機能報告について
第5回	H30.8.29	13名	(1) 7月末経営概況及び各種統計について (2) 7月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 9月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院基本理念等について (7) 平成30年度職員説明会の開催について(9/13) (8) 日野町コミュニティーチャンネルについて (9) 業務改善提案書について (10) 施設基準の変更について (11) マニュアルの変更について (12) 患者様の声について (13) その他 ・日野カフェ開催について ・小児科予防接種受付時間の延長について
第6回	H30.9.26	12名	(1) 8月末経営概況及び各種統計について (2) 8月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 10月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会(8/31)の結果について (7) 日野病院組合人事評価の実施について (8) インフルエンザ予防接種について (9) 厚生局適時調査の実施について(10/5) (10) 流行性角結膜炎について (11) 日野町コミュニティーチャンネルについて (12) 業務改善提案書について (13) 施設基準の変更について (14) マニュアルの変更について (15) 患者様の声について (16) その他 ・孝田病院長 伯耆町民生児童委員協議会研修会 講演について(10/25) ・濱副名誉病院長 伯耆町保健委員会 講演について(12/20) ・濱副名誉病院長 まちなかカフェ 講演について(10/22)
第7回	H30.10.30	14名	(1) 9月末経営概況及び各種統計について (2) 9月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 11月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について

			(6) 日野病院組合議会定例会(11/26)の開催について (7) インフルエンザ予防接種の実施及び職員罹患時の対応について (8) 厚生局適時調査の結果について (9) 外来診察の変更について (10) 日野町コミュニティーチャンネルについて (11) 業務改善提案書について (12) 施設基準の変更について (13) マニュアルの変更について (14) 患者様の声について (15) その他 ・米子医療センター及び山陰労災病院における日野町、江府町民の受診状況について ・演副名誉病院長 黒坂診療所健康講座(11/13) ・演副名誉病院長 日野町職員研修 講演(11/20) ・演副名誉病院長 伯耆町保健委員会 講演(12/20)
第8回	H30.11.28	12名	(1) 10月末経営概況及び各種統計について (2) 10月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 12月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 平成31年度予算要求について (7) 日野病院組合議会定例会(11/26)の結果について (8) 日野町コミュニティーチャンネルについて (9) 業務改善提案書について (10) 施設基準の変更について (11) マニュアルの変更について (12) 患者様の声について (13) その他 ・日野病院職員互助会忘年会の開催について(12/8) ・演副名誉病院長 黒坂診療所 出前健康講座(12/11) ・日野病院クリスマスイベントの開催について(12/14) ・演副名誉病院長 伯耆町保健委員会 講演(12/20) ・天皇即位に係る10連休の対応について
第9回	H30.12.27	12名	(1) 11月末経営概況及び各種統計について (2) 11月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 1月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 仕事納め式・仕事始め式について (7) 看護師・薬剤師育成奨学生募集について (8) 日野町コミュニティーチャンネルについて (9) 外来診察の変更について (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの変更について (13) 患者様の声について (14) その他 ・入院患者増対策について
第10回	H31.1.29	10名	(1) 12月末経営概況及び各種統計について (2) 12月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 2月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会の開催について(2/26予定) (7) 平成30年度決算見込み及び平成31年度当初予算の状況について

			(8) 平成31年度医療機器の購入について (9) 日野町コミュニティーチャンネルについて (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの変更について (13) 患者様の声について (14) その他 ・各種検査件数増加対策について ・5月の連休中の診察日(4/30・5/2)の対応について
第11回	H31.2.27	14名	(1) 1月末経営概況及び各種統計について (2) 1月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 3月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 平成30年度職員表彰について (7) 日野病院組合議会定例会の結果について(2/26開催) (8) 平成31年度事業計画について (9) 医師及び外来診察の変更について (10) 日野町コミュニティーチャンネルについて (11) 業務改善提案書について (12) 施設基準の変更について (13) マニュアルの変更について (14) 患者様の声について (15) その他 ・4月30日及び5月2日の診療体制について
第12回	H31.3.25	13名	(1) 2月末経営概況及び各種統計について (2) 2月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 3月31日及び4月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 平成30年度職員表彰について (7) 新規採用職員オリエンテーションの実施について (8) 医師及び外来診察の変更について(4月～、5月～) (9) 平成30年度部門別目標評価及び平成31年度部門別目標の提出について (10) 日野町コミュニティーチャンネルについて (11) 業務改善提案書について (12) 施設基準の変更について (13) マニュアルの変更について (14) 患者様の声について (15) その他 ・日野病院互助会歓迎会の開催について

3. 情報システム管理委員会

(1) 電子カルテ検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.9	14名	・仕様書原案について ・その他 - 今後の日程 - スポットチェックモニタデモについて
第2回	H30.6.13	12名	・電子カルテ導入スケジュール ・企画提案書 ・2次審査について ・スポットチェックモニタデモについて ・その他
第3回	H30.6.26	14名	・電子カルテ受注者決定報告 ・導入範囲修正について
第4回	H30.8.13	14名	・ワーキング立ち上げについて ・現電子カルテシステム使用停止について ・今後の定例会について
第5回	H30.9.12	18名	・状況報告 ・今後のスケジュールについて ・その他 - 検体依頼箋について - 注射箋について - 検診について
第6回	H30.10.3	18名	・次期電子カルテデータ移行について ・その他 - サーバ室設置について - LAN工事について - 操作研修について
第7回	H30.10.17	18名	・以後、定例会を電子カルテベンダー様に依頼
第8回	H31.2.13	16名	・QA管理台帳 ・その他 - 電子カルテ認証について - 検索機能について - 予約票について - 患者掲示板について - 眼科予約について
第9回	H31.3.13	18名	・QA管理台帳 ・懸案事項 - 血糖測定について - 経過表から医師記録・看護記録を表示するとエラーとなる件 - 一部指示棒が表示されない。 ・平成31年4月からの診療等体制について

活動報告

- ・電子カルテのリプレイス
- ・平成30年12月1日病棟稼働
同12月3日外来稼働

5. 医療技術局運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.31	7名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、病院機能評価についてなど)
第2回	H30.6.28	6名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、夏季休暇についてなど)
第3回	H30.7.30	6名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、コミュニケーションチャンネルひのについてなど)
第4回	H30.8.30	7名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、職員説明会について)
第5回	H30.9.30	6名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、外来医師診察一覧表についてなど)
第6回	H30.11.1	7名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、外来医師診察一覧表についてなど)
第7回	H30.11.29	6名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、平成31年度当初予算要求についてなど)
第8回	H30.12.26	7名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、仕事納め・始め式についてなど)
第9回	H31.1.31	7名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、日野病院議会全員協議会についてなど)
第10回	H31.2.28	6名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、外来医師診察一覧表についてなど)
第11回	H31.3.28	7名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、平成30年度部門別目標評価及び平成31年度部門別目標の提出についてなど)
第12回	H31.4.25	7名	管理職会議の報告(前月の経営状況について、人事異動について、外来医師診察一覧表についてなど)

(1)リハビリ運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.6.22	7名	今年度の介護予防事業について(ぽかぽか教室、今日から事業、おしどり学園)
第2回	H30.9.4	7名	新電子カルテ更新について
第3回	H30.12.10	7名	新電子カルテの運用について
第4回	H31.3.24	7名	新電子カルテの運用について、人事異動について

(2)放射線室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30. 10. 24	8名	議題:本院使用のリブレについて リブレについて概略に臨床検査技師から説明 検査のトラブルを回避するための意見、対策

(3)検査室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.25	8名	・平成29年度検査件数および収支報告

			・部門目標(平成29年度:反省、平成30年度:目標設定) ・平成30年3月機能評価受審結果について ・メーカーサーベイ(ニットホームメディカル免疫精度管理調査 H30.2 実施)結果報告 ・臨床検査室配属の新人教育について
第2回	H30.8.23	8名	・検査室運営委員会委員長および開催日程の変更について ・医療法改正(H30.12)について ・メーカーサーベイ(wakoサーベイ H30.5 実施)結果報告 ・新電子カルテシステム導入(H30.12)の際の検査セット項目等について ・微生物検査(外注)の結果報告について
第3回	H30.11.21	7名	・メーカーサーベイ(テタミナーサーベイ H30.7 実施)結果報告 ・尿一般定性試験紙の変更について ・新電子カルテシステム導入時(H30.12)の検査運用方法について ・院内検査項目の変更について ・血液培養採取時のプロカルシニン(PCT)併用オーダーのお願い
第4回	H31.2.20	7名	・日本医師会臨床検査精度管理調査(H30.9 実施)結果報告 ・入院患者の心電図検査依頼について ・入院患者の外来依頼分検査オーダーの確認について ・検査日より発行について ・血液培養ボトルの病棟予備補充について

6. 病院業務検討委員会

(1) 医療機器購入検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H31.1.21	14名	平成31年度購入予定機器等の選定について

7. 看護業務検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H30.4.9	11名	・新任主任挨拶 ・委員会活動メンバーの決定 ・「看護の日」5/12のイベントについて金持テラスひの ・日野町ぽかぽか教室「下黒坂」22名の認知症キャラバンメイトの活動について ・1日看護体験鳥取看護大学3名 日野中職場体験3名 ・機能評価の指摘事項の検討: 指示受けマニュアルについて診療局会議提出 ・平成30年度実習受け入れ: 鳥取看護大学19名・米子北高4名 ・西部・自治体病院看護部懇談会: 日野病院(6/27)協議内容の検討 ・各委員会からの報告 ・各業務委員会からの報告 ・ひのチャンネル5月から開始(日野病院便り毎月)
第2回	H30.5.22	12名	・5月～地域連携室看護師長2F地域包括ケア病棟師長に配置 ・「看護の日」のイベント結果とアンケート集計結果 ・日野町ぽかぽか教室「下黒坂」22名の認知症キャラバンメイトの活動: 看護師3名栄養士1名 ・1日看護体験鳥取看護大学3名 日野中3名感想 ・機能評価の指摘事項の検討: 指示受けマニュアルについて診療局会議提出 ・平成30年度実習受け入れ: 鳥取看護大学19名・米子北高4名 ・西部・自治体病院看護部懇談会: 日野病院(6/27)協議内容の検討 ・各委員会からの報告 ・各業務委員会からの報告 ・セーフティー: 認知症診断チームの選定(8名) ・平成30年度看護局活動計画発表(委員会・各部署11か所)
第3回	H30.6.12	10名	・看護連盟ポリナビ参加結果報告 ・認知症キャラバンメイト活動のアンケート結果 ・鳥取看護大学: 1日看護体験の感想・病院見学4名・訪問看護実習・訪問診察同行実習各1名 ・各委員会からの報告(教育研修員会: 新人リフレックス研修他)
第4回	H30.7.10	10名	・台風7号被害災害報告・西部・自治体病院看護部懇談会報告 ・中学職場体験実習感想・白鳳高校1名1日看護体験 ・各委員会からの報告 ・各業務委員会からの報告 ・病院業務委員会(訪問看護0.1人に兼務3名を追加・透析人数16名・8月ひのチャンネル宅配便)
第5回	H30.8.7	11名	・日野高校「産業社会と人間」フィールドワーク5名・江府消防とに症例検討会(8/23) ・鳥取看護大学臨地実習指導講師: 妹尾小推薦 統合看護実習学生のプレゼンあり ・看護師採用試験8/8(10名) 中途採用試験8/17(2名) 中途採用看護師10/24(1名) ・10月に看護師3F→2Fへ配置異動1名 ・各委員会からの報告 ・各業務委員会からの報告 ・ひのカフェ(9/14) 日野病院外来棟9時～15時
第6回	H30.9.11	11名	・平成30年北海道胆振東部地震被害状況の報告: 災害レベルⅠ災害支援ナース道内派遣要請 ・看護研究院内10/4 ・西部自治体病院看護部懇談会9/26(水) 日南・研究発表会及び懇親会12/1(土)西伯病院 ・看護局中間評価9月末×切 厚生局適時調査10/5 ・各委員会からの報告 ・各業務委員会からの報告 ・カリウム製剤の取り扱い研修を依頼
第7回	H30.10.9	12名	・平成30年厚生局適時調査結果後マニュアル変更 ・鳥取県看護協会70周年記念(11/17) ・各委員会からの報告 ・各業務委員会からの報告 ・各部署・委員会の中間評価発表
第8回	H30.11.13	10名	・鳥取県看護協会: 災害派遣訓練11/6～3日間 ・中途採用者の慶弔費について ・電カル12/1MXに更新各部署起動状況を確認担当者を決めて出勤・NANDA-I導入契約 ・地域連携室看護師長専任に戻る

			・院内研究発表10/12 ・各委員会からの報告 ・各業務委員会からの報告 ・配茶サービスの結果と評価で早出業務の調整
第9回	H30.12.11	10名	・委員会メンバー訪問看護ステーション新規入職者参加 ・看護協会・看護連盟の入会者手続き開始 ・各委員会からの報告 ・各業務委員会からの報告 ・看護宅配便:『俣野カフェ』12/20参加 ・12/14クリスマスイベント ・身だしなみマニュアル見直しで規定の強化
第10回	H31.1.8	12名	・各部署のホームページ更新原稿メ ・1/19『二部カフェ』 ・看護研究相談:鳥取大学医学部保健学科の先生に依頼 ・米子医療センターの褥瘡回診見学1/9～2名×4回参加 ・中堅看護師研修2/2新人看護師教育のワーク ・各委員会からの報告 ・各業務委員会からの報告 ・訪問看護ステーション:利用者満足度調査実施
第11回	H31.2.12	12名	・就職ガイダンス(2/23倉吉 3/16鳥取 3/24米子)参加予定 ・電カルの更新に伴い記録のマニュアル整理 ・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告 ・透析患者増員に向けて ・2/26看護宅配便:黒坂診療所「インフルエンザについて」濱副先生の講演・看護師の予防対策
第12回	H31..3.12	11名	・新人看護師新採用者の白衣採寸・茶話会3/5・身だしなみマニュアルの改訂 ・2019の新人看護師教育計画(外来・2F・3F) ・各委員会からの報告 ・病院業務検討委員会からの報告 ・病棟運営会議にて転棟サマリーと指示実施票の使用方法を検討 ・インシデント報告の共有3例 ・4月からの配置・異動 ・看護局長表彰:竹永真由美 ・看護の日のイベント計画について ・3/19看護局年度末成果報告会(各部署・委員会11部署) ・送別会:看護局3/19 院内3/27

活動報告

- ・平成30年度活動方針:スローガン「ここで生きるを共につくりよう」
- ・「看護の日」のイベント5/12(於:金持テラスひの)テーマ地域を見つめる看護「ここで生きる」講演:野坂由貴子・近藤智富美
- ・看護局教育研修のプログラム企画・運営(新人教育・看護局ラダー教育)
- ・鳥大コース研修会参加(がん看護・人工呼吸器管理・新生児小児救急・緩和ケア・がん性疼痛)
- ・医療センター研修(乳がんリンパマッサージ2名参加)
- ・葬仙:エンゼルケア講習3名参加
- ・医療安全管理者養成講習1名:長尾加奈子
- ・西部自治体病院看護部門懇談会(6月・9月)
- ・西部自治体病院看護研究発表会(12/1):西伯病院口演2題発表(山川千秋・平石愛里)
- ・平成30年度認知症サポーター養成講座(講師派遣日野町:朝野純子 江府町:影山光恵)
- ・看護職場体験実習(日野中3名)(日野高5名)
- ・米子北高専攻科1年生臨地実習(老年10/15～3W・成人11/26～3W)各2名
- ・鳥取看護大学臨地実習:看護統合4年生8/20～30)3名 基盤看護2年生(9/3～14)8名
老年看護3年生(9/18～21・10/9～12)各4名
- ・サマーセミナー(見学5名)
- ・T-HOCひのセミナー(9/7)山村開発センター会議室(8名参加) ナイトセミナー・事例検討講師:濱田辰美
- ・厚生局医療監視(10/5)
- ・就職ガイダンス(2/23倉吉 3/16鳥取 3/24米子)
- ・ファーストレベル2名合格
- ・平成30年看護局履修報告会(3/1)
- ・平成30年看護局成果報告会(3/19)
- ・平成30年看護局長賞1名(竹永真由美)
- ・電子カルテの更新(12/1)

(1)看護助手会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H30.5.21	11名	・今年度目標の決定を問題点から計画 教育計画・ラダー評価体制・リリーフ体制・業務改善を組み込む。 問題点:①配茶時間の負担②ケアワーカーの業務負担軽減にクラークの病棟応援。③クラーク 業務のスキナー取り込みに場所と動線が不一致。④病棟の電カル不足⑤リネンの洗濯入替。
第2回	H30.10.1	7名	・今年度目標の中間評価①業務改善(オムツの変更で交換回数減)②清拭タオルレンタル開始。 ③お茶コップを洗浄済みのものを病棟に毎回上げる。④電カルにより自費請求をメモするの ではなく直接入力することで2度手間なくす。⑤外来のスキナー配置を動線に合った場所に配置。 ⑥外来掃除やゴミ集めをクラークが診療科の空いた時間に行う。⑦教育研修計画。 ⑧ラダー作成中。⑨リネン洗濯と不足リネンの依頼。
第3回	H31.2.4	11名	・年度末評価①業務の効率化:配茶について②スキル向上:電カル入力とクリニカルラダー評価 ③院内リリーフ体制の整備④マニュアル見直し⑤リネン棚卸し枚数調整。

活動報告

- ・教育計画・ラダー評価体制の構築
- ・ケアワーカー・クラークの応援体制(外来・透析室・手術室・病棟間の連携)
- ・業務改善(配茶用コップの導入と食器洗いを厨房に依頼・清拭タオルのレンタル・長時間使用のオムツの導入
- ・マニュアルの見直しと追加
- ・電カル更新によりケアワーカーの自費購入物品の直接入力手順を導入し作業手順の効率化

(2)外来業務委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H30.5.22	7名	待ち時間調査について 各部署からの報告
第2回	H30.8.28	5名	電子カルテ変更について 各部署からの報告 インフルエンザ予防接種開始について
第3回	H30.11.27	5名	待ち時間調査について 各部署からの報告
第4回	H31.2.26	7名	次年度の患者様満足度調査について 各部署からの報告 情報キットについて

(3)病棟運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H.29.9.4	8名	<各部署より> ・医療技術局⇒液体医療廃棄物の正しい取り扱いについて ・医事課⇒看護必要度の正しい入力(退院日、入院確定の日付け)
第2回	H.29.11.2	8名	<各部署より> ・医事課⇒看護必要度評価時間と入院時間の関係について ・2階病棟⇒外来継続ケア、転棟時のカルテ処理(看護計画など)、延食の扱いについて ・3階病棟⇒「電子カルテ」看護指示の統一について

活動報告

- ・病棟間移動の際の取り決め
- ・電子カルテ看護指示項目の統一
- ・包括ケア病床移動の効率(調整会議)

(4)手術室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H30.5.17	7名	手術室使用状況報告、麻酔器点検報告、作業環境測定予定報告、各購入更新予定について、特定化学物質作業主任講習受講について、胆道ファイバーの購入検討について、各学会・研修会予定について
第2回	H30.7.26	7名	手術室使用状況報告、各学会・研修会参加報告
第3回	H30.10.19	5名	手術室使用状況報告、高圧蒸気滅菌器更新報告、高圧蒸気滅菌器点検・検査報告、各学会・研修会予定について
第4回	H30.12.20	6名	手術室使用状況報告、作業環境測定報告、環境モニタリング報告
第5回	H31.2.21	5名	手術室使用状況報告、修理不能医療機器等について

活動報告

- ・日本手術看護学会中国地区鳥取分会参加(6月16日伊田・上田・木村)
- ・日本手術看護学会中国地区、手術看護認定看護師セミナー(6月23日～24日広島、伊田・上田・木村)
- ・山陰内視鏡外科学研究会(6月2日、伊田・上田)
- ・山陰リスクマネジメント研究会(6月3日、伊田・上田・竹永)
- ・医療マネジメント学会(9月1日、上田)
- ・奥大山プライマリ研究会(9月21日、上田・山根)

(4)透析室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H30.7.3	5名	透析室の現況・熊野Drの引き継ぎについて・ケアワーカーの業務・腎内Dr業務
第2回	H30. 10	4名	透析室の現況・シャントPTA患者について
第3回	H31.2.6	4名	透析室の現況・濱福DrのHD担当日について、おしどりネット登録

活動報告

- * 透析担当Drを濱副Drへ・・・月・水・金
- * おしどりネットに順次登録していく

8. 地域連携推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H30.5.24	8名	1. 加算請求条件について 2. 居宅介護サービス計画の医療機関への提出について 3. いっけんたろう稼働
第2回	H30.6.21	7名	1. 介護老人保健施設入所者に対して医療保険で算定できる項目 2. MRI耳鼻科からの紹介について 3. いっけんたろう稼働
第3回	H30.8.16	5名	1. MRI耳鼻科からの紹介について 2. いっけんたろう契約状況 3. 老健施設への情報提供内容
第4回	H30.8.23	6名	1. 地域連携推進室ホームページ開設 2. いっけんたろう契約状況 3. 入院時カンファレンス 4. MRI利用状況
第5回	H30.1.23	6名	1. 新日野郡医療介護連携画像情報共有システム(仮)の構築 2. 入院時カンファレンス 3. トミヤ薬局訪問薬剤管理指導依頼の流れ 4. 救急医療情報キット

活動報告

	地域連携連絡会(当院主催)(日野・江府・伯耆・日南・南部)の医療機関、福祉施設、行政の参加) 在宅医療・救急医療連携部会への参加 地域連携推進室ホームページの開設 紹介・逆紹介のデータ収集方法の見直し 地域連携推進室マニュアルの見直し
毎月	診療局会議での病院稼働率、在院日数の報告
隔月	日野町地域ケア会議・地域連絡会への参加
毎月	見える事例検討会・ケアカフェひのへの参加・ファシリテート
随時	パッと見えNet(日野郡医療介護連携画像共有システム)の構築

9. 輸血委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.21	9名	・平成29年度 血液製剤発注・廃棄状況報告 ・診療科別血液製剤使用状況(平成30年3月～4月)報告 ・部門目標(平成29年度:反省、平成30年度:目標設定) ・日赤輸血情報(輸血関連急性肺障害(TRALI)の評価・調査結果) (輸血用血液製剤の安全対策の導入効果と輸血によるHBV、HCV及びHIV感染のリスク) ・平成30年3月機能評価受審・指摘事項 ・輸血後感染症検査の実施推進に向けた取り組み
第2回	H30.7.30	9名	・診療科別血液製剤使用状況(平成30年5月～6月)報告 ・平成30年度 鳥取県合同輸血療法委員会主催研修会(H30.7)研修報告 ・平成30年度 赤十字血液シンポジウム(H30.7)参加報告 ・日赤輸血情報(「血液製剤の使用指針－新生児・小児に対する輸血療法－」の改定) (高頻度抗原に対する抗体について～血液センターでの検査の進め方～) ・平成30年3月機能評価受審・中間的な結果報告 ・平成29年度輸血後感染症検査 最終実施率報告
第3回	H30.10.1	7名	・診療科別血液製剤使用状況(平成30年7月～9月)報告 ・日赤輸血情報(輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症例－2017年－) (赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用－2017年－) ・輸血副作用報告書の改訂 ・新電子カルテシステム導入における輸血関連業務の運用案
第4回	H30.11.26	10名	・診療科別血液製剤使用状況(平成30年10月)報告 ・日赤輸血情報(輸血用血液製剤の取り扱い) (新鮮凍結血漿(FFP)の融解方法と融解後使用期限延長のお知らせ) ・鳥取県輸血分野研修会(H30.11)研修報告 ・新電子カルテシステム導入における輸血関連業務の運用概略 ・輸血同意書の取得頻度
第5回	H31.1.28	10名	・診療科別血液製剤使用状況(平成30年11月～12月)報告 ・日赤輸血情報(輸血による細菌感染) ・新電子カルテシステム導入における輸血関連業務の運用方法と輸血手順見直し
第6回	H31.3.18	10名	・診療科別血液製剤使用状況(平成31年1月～2月)報告 ・日赤輸血情報(改訂添付文書及び新製剤ラベルを使用した新鮮凍結血漿(FFP)の供給開始) ・交差適合試験の検査方法変更

10. 物流委員会

(1) 薬事審議委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.4.10	10名	①4月、5月ジェネリック変更薬品の紹介 ②4月採用中止薬について ③B型肝炎再活性化の可能性のある薬剤が処方された場合の対応について(孝田病院長) ④口頭指示受け票の運用について(池田看護局長)
第2回	H30.5.8	12名	①5月ジェネリック変更薬品の紹介 ②4月採用中止薬について ③ガスター注が保険で査定されることへの対策について(医事課) ④医療事故防止目的でアスパラカリウム注をキット製剤へ変更することについて(看護局) ⑤口頭指示受け票の運用について(池田看護局長)
第3回	H30.7.10	8名	①6月、7月ジェネリック変更薬品の紹介 ②6月、7月採用中止薬について ③ボスミンをシリンジ製剤に変更することについて(看護局より要望)
第4回	H30.8.7	5名	①7月、8月、9月ジェネリック変更薬品の紹介 ②7月、8月採用中止薬について ③8月採用薬について
第5回	H30.10.9	7名	①9月ジェネリック変更薬品の紹介 ②10月採用薬について
第6回	H30.12.18	5名	①中心静脈栄養用キット製剤の変更(エルネオパ⇒ワンパル)
第7回	H31.3.12	7名	①1月、2月、3月採用薬について ②1月 出荷停止薬について(デザレックス) ③販売中止薬について(カリクレイン、スローケー)

(2) SPD委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.14	7名	定数変更11件(ハッピーキャス、ブラストコップ、吸引カテーテル他) 仕様変更1件(中濃度エコライト酸素マスク) 金額変更4件(アンコールインフレーションデバイス、中空糸型ダイアライザー他) 新規採用3件(フォローファイバーダイアライザー、ヘムコンドット他) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第2回	H30.6.18	7名	定数変更12件(ホローファイバーダイアライザー、ヒューミディベント他) 仕様変更1件(サニコットデズイン) 新規採用3件(ミニサーモシールド、サンプリングチューブ、ルミネッシュ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第3回	H30.7.9	6名	定数変更8件(吸引バルブセット、鉗子栓セット、穴あきドレープ他) 仕様変更2件(イマージョンオイル、オールシリコンフォーリーカテーテル) 金額変更7件(プラネクタ、ジェイフィード栄養セット他) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第4回	H30.8.20	7名	定数変更12件(シンガープラテ、コンフォートサージカルマスク他) 仕様変更1件(イリゲーションセット)

			新規採用2件(マيسコカットシート、LAGISディスプレイザブルインstrument) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第5回	H30.9.10	6名	定数変更1件(検診用ロールシート) 金額変更1件(BONIMEDスイッチペン) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第6回	H30.10.15	5名	定数変更10件(ライフリー外モレ安心サラサラパッド、酸素カニューラ他) 仕様変更1件(硬膜外麻酔用カテーテルセット) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第7回	H30.11.19	6名	定数変更9件(メディセーフ針、ステアジェル他) 仕様変更1件(ミリオンテーピングテープ) 金額変更3件(サンコープログレス、アイシールドレンズ・フレーム) 新規採用2件(アイソレーションドレープ、ネジコップ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第8回	H30.12.10	7名	定数変更5件(分包機の消耗品、尿とりパッド液) 仕様変更3件(薬袋、サンコープログレスパウダーフリー、ユーバッグ) 新規採用1件(サーマル超高感度記録紙) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第9回	H31.1.23	6名	定数変更4件(フロー、マックス、グラニューゲル、ヒューバープラス他) 新規採用1件(医療廃棄バック) 仕様変更1件(カラム) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第10回	H31.2.18	7名	定数変更9件(ネジコップ、TPNバッグ、フローマックス他) 新規採用1件(鼻腔用BRスワブEN) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第11回	H31.3.11	7名	定数変更5件(ニトリルグローブ、パワーピック、シュアシールドプレザパック他) 仕様変更3件(348キット、ピアサセット、サンコープログレス他) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第12回	H31.4.8	7名	定数変更6件(水フィルター、エアフィルター、ガスフィルター他) 仕様変更3件(オールシリコンフォーリートレイキット他) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他

(3)委託業者連絡委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内容
第1回	H30.5.8	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第2回	H30.6.14	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第3回	H30.7.10	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第4回	H30.8.16	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第5回	H30.9.11	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第6回	H30.10.9	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第7回	H30.11.13	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第8回	H30.12.11	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

第9回	H31.1.15	6名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第10回	H31.2.12	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第11回	H31.3.12	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第12回	H31.4.9	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

11. 経営企画委員会

(1) クリニカルパス委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.6.5	9名	今年度の目標について
第2回	H30.8.7	4名	DM教育パスを作成中。 新システムの向けての指示について確認(まだケイズさんから指示なし)
第3回	H30.10.2	6名	電子カルテパスワーキングの報告 電子カルテで導入予定の確認(DM教育入院、cs検査、胃瘻造設、 睡眠時無呼吸検査入院) 新電子カルテ導入に伴う検討事項の確認
第4回	H31.1.9	9名	睡眠時無呼吸検査のパス完成、院長の承諾もあり。パスへの取り込みを依頼した 他のパスも担当医の同意を得たものをパス委員会で承認後 取り込み予定
第5回	H31.4.2	7名	睡眠時無呼吸検査パスを取り込みがほぼ終了したことを報告。適用方法について 電子カルテの画面を使用し河本さんから紹介。適用開始までにはケイズさんに 確認事項が数点あり。確認後手順を完成する方向となる。 外来CS検査パスを取り込みをしていくこととなった。 年間紙パス使用件数の報告(以下)

活動報告

新システムでの睡眠時無呼吸検査入院パス、外来CS検査パスの取り込みを進めてた。その他のパスについては作成ができ次第 委員会で検討し取り込みをしていく予定。

平成30年度紙パス使用件数 白内障パス 90

手術室全身麻酔用パス 69、腰椎麻酔用パス 36、局所麻酔用パス 140

CSパス 115

(2) 褥瘡NST委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.2	11名	・褥瘡専任看護師決定・年間行事報告・褥瘡に係るデータ報告 ・ポリウレタンマットレス・サイドレールカバーのデモ開始 ・CONUT法による栄養評価導入・TNT医師の確保 ・5/12 院内新人研修:白岩・症例検討:1名 ・褥瘡対策チーム会参加者5/2:5名5/10:10名5/24:10名 ・NSTミーティング参加者5/2:11名5/16:10名

第2回	H30.6.6	12名	・ポリウレタンマット検討結果:エバーブラウドマットレスに決定 ・栄養剤の検討・栄養管理計画書の診療報酬による変更について検討 ・医療センター見学の提案・新人看護師「高齢者および術後・急性期に必要なタンパク量」のレポート提出要請・症例検討:1名 ・褥瘡対策チーム会参加者6/6:5名6/14:10名6/28:3名 ・NSTミーティング参加者6/6:12名6/20:8名
第3回	H30.7.4	15名	・褥瘡に係る報告の用紙検討開始・症例検討会2名 ・6/30環日本海NSTフォーラム松本さつみ、近藤智富美 ・新人看護師による「タンパク強化」報告会 ・CP10採用にあたり研修会予定・日本栄養療法推進協議会不参加 ・褥瘡対策チーム会参加者7/4:9名7/12:7名7/26:6名 ・NSTミーティング参加者7/4:15名7/18:9名
第4回	H30.8.1	14名	・7/26医療センター見学打ち合わせ終了 ・栄養士によるアミノ酸とコラーゲンペプチドの消化吸收の違い 報告 ・症例検討1名 ・褥瘡対策チーム会参加者6/6:5名6/14:10名6/28:3名 ・NSTミーティング参加者6/6:12名6/20:8名
第5回	H30.9.5	8名	・NST専門療法士受講者募集のお知らせ・医学生実習のための回診日変更 ・下坂医師の外来診察日変更に伴う回診不参加についてカルテ参加とする ・8/9ニュートリーによる栄養研修会 参加16名・症例検討3名 ・入院時の褥瘡計画書の未記入についてのお願い ・褥瘡対策チーム会参加者9/5:3名9/13:6名9/27:7名 ・NSTミーティング参加者9/5:8名9/19:9名
第6回	H30.10.3	9名	・入院時の褥瘡計画書の危険因子評価に「皮膚の脆弱性(浮腫)」「皮膚の脆弱性(スキントアの保有、既往)の追加変更 ・下坂医師「TNT」受講終了 修了書提出済・事例検討1名 ・10/5厚生局適時調査報告 ・褥瘡対策チーム会参加者10/3:4名10/10:5名10/17:5名10/24:2名10/31:2名 ・NSTミーティング参加者10/3:9名10/17:9名
第7回	H30.11.7	12名	・新電子カルテの報告・症例検討1名・マットレスの選択基準パンフレット作製 ・ポジショニングクッション購入・次年度予算請求案 ・10/15鳥大NST研修 影山ST参加・11/4NST専門療法士試験2名受験予定 ・褥瘡対策チーム会参加者11/7:6名11/8:7名11/22:4名 ・NSTミーティング参加者11/7:12名11/21:9名
第8回	20108/12/5	11名	・電子カルテ業者からの運用説明 ・ポリウレタンマットレス3台購入・低栄養患者検討会 ・褥瘡対策チーム会参加者12/5:6名12/13:3名12/27:9名 ・NSTミーティング参加者12/5:10名12/19:8名
第9回	H31.1.16	10名	・医療センター見学開始 ・低栄養者検討・NST依頼者2名・症例検討なし ・褥瘡対策チーム会参加者1/10:4名1/28:7名 ・NSTミーティング参加者1/16:10名
第10回	H31.2.6	10名	・医療センター見学2回終了したが医療センターがインフルエンザによる面会制限により一旦中止・稼働率増加による除湿シートを11枚補正予算で購入 ・症例検討2名 ・新電子カルテのタブレット採用による回診方式の変更 ・2/14日本静脈経腸学会学術集会参加:石飛明日香・白岩 ・褥瘡対策チーム会参加者2/6:5名2/14:5名2/28:5名 ・NSTミーティング参加者2/6:10名2/20:5名

第11回	H30.3.6	7名	・医療センター見学再開3/27・3/29 ・中国四国褥瘡学会参加:磯江・松本美紀、摩耶・久光・伊藤 4名 ・症例検討1名・経腸栄養学会出張報告・低栄養患者検討 ・褥瘡対策チーム会参加者3/6:4名3/14:4名3/28:5名 ・NSTミーティング参加者3/6:7名3/20:7名
第12回	H31.4.3	11名	・医療センター見学3/27・3/29 全日程終了 ・4/25白岩 新人看護師講師 ・三好妙子看護師NST専門療法士合格 ・4/11高齢者医療におけるサルコペニアの重要性」Web配信 ・褥瘡対策チーム会参加者:4/3:6名4/11:5名 4/25:8名 ・NSTミーティング参加者4/3:11名4/17:8名

(3)がん研究及び対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.6.4	4名	委員会開催日検討 年間活動計画検討
第2回	H30.6.25	7名	日本緩和医療学会参加報告 安達看護師
第3回	H30.7.23	6名	終末期、緩和の患者さんへの関わりの中で感じる不安について、2Gに分けてディスカッション
第4回	H30.8.27	7名	終末期の不安について2Gに分けてディスカッション
第5回	H30.10.22	7名	山本薬剤師学会、研修会案内、院内研修計画 看護局で癌に関する図書3冊購入
第6回	H30.11.26		ACPについて 田中PT講師

活動報告

学会参加: 日本緩和医療学会 in 神戸 安達看護師、瀬藤看護師 日本癌治療学会学術集会 山本薬剤師 発表 日本癌看護学会学術集会 山川看護師、森原看護師

12. 医療安全管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人数	内容
第1回	H30.5.17	8名	平成30年4月インシデントレポート集計結果報告 平成29年度インシデントレポート集計結果 平成29年度「部門別目標」評価と平成30年度「部門別目標」案提示と承認 平成30年度院内研修予定と担当者決定
第2回	H30.6.21	9名	平成30年5月インシデントレポート集計結果報告 事例共有2例 平成29年度「インシデント事例に対する改善策・対策などのまとめ」発表 第1回医療安全必須研修会報告
第3回	H30.7.19	11名	平成30年6月インシデントレポート集計結果報告 事例報告 「医療事故報告書の内容」「医療事故発生後の流れ」確認
第4回	H30.8.16	11名	平成30年7月インシデントレポート集計結果報告 事例報告 「医療事故報告書の内容」「医療事故発生後の流れ」マニュアル申請 日本マネジメント学会鳥取支部学術集会について案内
第5回	H30.9.20	8名	平成30年8月インシデントレポート集計結果報告 レベル3a事例報告 第2回医療安全必須研修会結果報告 日本マネジメント学会鳥取支部学術集会参加者紹介
第6回	H30.10.18	12名	平成30年9月インシデントレポート集計結果報告 レベル3a、3bの事例報告 カリウム製剤の勉強会報告（看護師対象） 環境ラウンド予定について
第7回	H30.11.15	9名	平成30年10月インシデントレポート集計結果報告 レベル3a、3b事例報告 環境ラウンド結果報告 「指示受けマニュアル」変更報告 「医療安全週間」告知
第8回	H30.12.20	6名	平成30年11月インシデントレポート集計結果報告 レベル3bの事例報告 第3回医療安全必須研修結果報告 「麻薬取扱いマニュアル」修正 医療安全研修会参加について
第9回	H31.1.17	7名	平成30年12月インシデントレポート集計結果報告 事例共有1件 今後の必須研修予定について
第10回	H31.2.21	10名	平成31年1月インシデントレポート集計結果報告 事例共有1件 第4回医療安全必須研修結果報告 啓蒙ポスター発行について 「公開インシデント」のあり方について
第11回	H31.3.20	10名	平成31年2月インシデントレポート集計結果報告 「インシデント」公開の仕方決定

第12回	H31.4.18	10名	平成31年2月インシデントレポート集計結果報告 事例共有2件 各部署での事例の共有方法の検討
------	----------	-----	--

活動報告

- * 毎月の委員会開催で前月のインシデントレポート集計結果報告
- * 環境ラウンド
- * ポスターによる医療安全啓蒙
- * 必須研修(4回/年)
- * 院外研修参加
- * マニュアル整備
- * 各ワーキング活動

(1) 診療記録開示検討委員会

活動報告

B型肝炎訴訟の開示をおこなった。
なお、当開示については当委員会を開催することなく対応すること当委員会にて確認済み。

13. 院内感染対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人数	内容
第1回	H30.5.10	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・平成29年度反省・平成30年度目標・アンチバイオグラムなど
第2回	H30.6.14	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・合同カンファレンス・研修会報告など
第3回	H30.7.2	8名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・結核対応・洪水・浸水時の対応
第4回	H30.8.9	9名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・合同カンファレンス・感染症法・A型肝炎など
第5回	H30.9.13	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・厚生局適時調査・流行性角結膜炎など
第6回	H30.10.11	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・合同カンファレンス・抗菌薬サーベイランス・感受性セットなど
第7回	H30.12.13	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・インフルエンザ・感染症法など
第8回	H31.1.10	9名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・インフルエンザ・風疹対策など
第9回	H31.2.14	10名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・インフルエンザ・院内感染対策サーベイランスなど
第10回	H31.3.14	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・風疹・麻疹対策・A群溶連菌など
第11回	H31.4.11	9名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・平成31年度目標・ワクチン接種など

活動報告

- ・山陰インфекションコントロールセミナー 参加
- ・感染制御合同カンファレンス 参加
- ・鳥取県院内感染対策講習会(11/23 佐々木)
- ・西部圏域感染制御地域支援ネットワーク会議 参加
- ・環境感染学会(2/22・23) 遠藤・住田・高橋
- ・マニュアルの改訂・周知

(1)ICT委員会

活動報告

- ・院内ラウンド 43回
- ・感染情報レポート 随時掲載
- ・院内研修会
 - ①標準予防策
 - ②インフルエンザ予防策
- ・合同カンファレンス
 - ①西部9病院によるカンファレンス 6/4 西部福祉事務所
 - ②麻しん発生時の対応など 7/31 米子医療センター
 - ③ディスポシングルユース物品の再利用など 9/18 米子医療センター
 - ④抗菌薬適正使用 12/4 米子医療センター
- ・鳥取県抗菌薬サーベイランス 参加
- ・インフルエンザアウトブレイクへの対応

15. 労働安全衛生委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.28	6名	春の健康診断について
第2回	H30.6.25	7名	春の健康診断における要再検査の職員について メンタルヘルス相談体制の周知について
第3回	H30..7.23	8名	春の健康診断における要再検査の職員への対応について
第4回	H30.8.27	6名	ストレスチェックの実施予定について 体調不良者が休める設備について
第5回	H30.9.25	5名	ストレスチェックの実施結果について 職員向けインフルエンザ予防接種について 特定従事者健診について
第6回	H30.10.22	9名	特定従事者健診について 職員向けインフルエンザ予防接種について ハラスメント研修会の開催について
第7回	H30.11.26	7名	ハラスメント研修会の報告について 特定従事者健診における要再検査の職員への対応について 平成31年度予算要求について
第8回	H30.12.17	6名	安全パトロールの実施 働き方改革の内容について
第9回	H31.1.28	5名	働き方改革の内容について
第10回	H31.2.25	6名	春の職員健診について ハラスメント防止対策・規程について
第11回	H31.3.26	7名	春の職員健診について ハラスメント防止規程のについて
第12回	H31.4.23	6名	春の職員健診について 平成31年度安全衛生管理活動計画について ハラスメント防止規程の策定について

16. 診療記録管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者	内容
第1回	H30.5.11	13名	・電子カルテ監査 監査項目 (1)必須書類は記載されているか。記載日は妥当か。 (2)必須書類の内容に不備はないか。 (3)適時、経過記録が記載されているか。 (4)退院時サマリーの記載はあるか。
第2回	H30.8.10	12名	・電子カルテ監査 監査項目 (1)必須書類は記載されているか。記載日は妥当か。 (2)必須書類の内容に不備はないか。 (3)適時、経過記録が記載されているか。
第3回	H31.1.8	7名	・紹介状・生命保険等用紙の保存について

活動報告

- ・新任医師2名について監査をおこなった。
- ・紹介状・生命保険等用紙の保存についてスキャナで電子カルテに取り込み後、破棄と決した。

17. サービス推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.25	15名	・委員会の開催方法について ・イベント関係・広報関係・地域貢献関係のメンバー構成の確認 ・部門目標の決定 ・外来の飾り付けについて・看護宅配便の1年かのスケジュール検討 ・5/12看護の日のイベント開催次回報告
第2回	H30.6.28	22名	・夕涼み会について・日時決定他 ・職員レクリエーションについて 日時・内容に検討 ・七夕飾りつけについて
第3回	H30.7.23	14名	・夕涼み会の反省 ・ホームページ・ブログの更新 ・広報委員会開催・9月のせせらぎについて話し合う ・8月7日に正面玄関に七夕を飾る予定 ・看護宅配便・・・ひまわり号故障にて巡回中止となる ・職員レクリエーションについて(9月1日土曜日)
第4回	H30.8.23	14名	・広報委員会せせらぎ号の議題について ・日野町広報誌7月号は夕涼み会のお知らせ ・職員レクリエーションについて(9月1日土曜日) 場所・慰労会について ・看護の宅配便 黒坂診療所8月16日 ・日のチャンネル 8月17日 9月14日:9時から俣野カフェ参加
第5回	H30.9.26	13名	・日野町広報誌9月号・伯耆町以外全配布 ・広報:63号発行 ドローン撮影:表紙 院長:リブレ24時間測定 ・クリスマス化についての話し合い ・看護の宅配便当院でのカフェ 参加35名 10月18日:仲介テレビ取材 ・9月1日イベント ボーリング大会反省
第6回	H29.10.29	12名	・日野町広報誌:ホームページにせせらぎ63号に記載した記事をアップしました。 ・日野川物語の取材を受ける(看護の宅配便) ・12月14日クリスマス会の打ち合わせ・ポスター確認・企画書確認
第7回	H30.11.22	10 名	・日野町広報誌:インフルエンザ予防接種についてのお知らせ ・ホームページ・ブログの更新(スタッフの一言更新) ・地域貢献:12月から3月までは地域のコミュニティーに参加12月12日俣野カフェ参加 ・12月14 日クリスマス会の打ち合わせ ・クリスマスの飾りは12月3日 正月:12月28日予定
第8回	H30.12.25	9名	・日野町広報誌・ホームページ・ブログの更新・1月にクリスマス会の記事を書ける ・地域貢献:12月12日俣野カフェに参加しインフルエンザ・手洗いについて ・12月14日 クリスマス会の振り返り ・正月飾り・クリスマスの飾り付けの片づけ
第9回	H30.1.28	6名	・日野町広報誌:1月号発行 ・ホームページ・ブログ更新 ・12/14クリスマス会反省 ・1月23日 二部診カフェ7人参加 インフルエンザ・ACPIについて ・正月の片づけ 1月28日 雛人形の飾り付け 2月8日予定 ・30年度の反省
第10回	H31.2.28	7名	・日野町広報:人間ドッグ:ペアで受けると20%OFF ・黒坂診療所にて2月26日 濱副先生のインフルエンザの講演 ・ひな人形の片づけと5月人形の飾り付けについて
第11回	H31.4.5	8名	・日野町広報誌:院長コラム ・ホームページ・ブログ更新 ・看護の宅配便:江府町23人 ・雛人形の片づけ・5月人形の飾り付け
第12回	H31 .4.24	6 名	・30年度の振り返り

活動報告

イベント開催

看護の日	5月12日	金持ちテラスにて開催・・介護について
夕涼み会	7月17日	山下兄弟・踊り・ゲーム 129名参加
職員レクリエーション	9月1日	ボーリング大会 慰労会
クリスマス会	12月14日	山下親子・ゲーム他 106人参加

看護の宅配便活動

2018.5.18	5人	江府町巡回 参加者 20名
2018.6.21	4人	日野町巡回 参加者 22名
2018.8.16	3人	黒坂診療所・移動図書 参加者 9名
2018.8.17	5人	日のチャンネル撮影 放送8月
2018.9.14	8人	日野カフェ 参加者10名
2018.10.18	5人	日野コース巡回 参加10名
2018.11.19	5人	江府町コース巡回 参加32名
2018.12.20	10人	俣野カフェ参加 22名
2019.1.23	8人	二部診療所カフェ 佐々木先生チラシ配布 インフルエンザについて
2019.2.26	9人	濱副先生インフルエンザの講演 手洗いチェッカー 手洗い・マスクについて
2019.3.18	3人	江府町コース巡回 参加23名

外来の飾り付け

正月飾り	12月28日～1月
雛人形	2月末～4月初め
5月人形	4月末～6月初め
七夕	7月初め～8月初めまで
クリスマス	11月末～12月28日まで

広報誌せせらぎ

せせらぎ62号(H30.5月発行)
 せせらぎ63号(H30.9月発行)
 せせらぎ64号(H31.1月発行)

18. 接遇向上委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.1	3名	・H30年度委員会目標の設定、ワーキング内容の決定。 ・接遇週間を月1回行う、月1回委員会を開催する、研修会は年1回開催、接遇チェックを年2回実施。
第2回	H30.6.5	2名	・委員会目標の確認。 ・接遇週間(第三週目の一週間)ではピンクのリボンを着用して啓発運動を実施。
第3回	H30.7.3	4名	・接遇週間(第三週目の一週間)ではピンクのリボンを着用して啓発運動を実施。
第4回	H30.8.7	4名	・接遇週間(第三週目の一週間)ではピンクのリボンを着用して啓発運動を実施。 ・接遇チェックのチェック表の項目の決定
第5回	H30.9.4	5名	・接遇週間(第三週目の一週間)ではピンクのリボンを着用して啓発運動を実施。 ・接遇チェックを実施(第三週目)。
第6回	H30.10.2	3名	・接遇週間(第三週目の一週間)ではピンクのリボンを着用して啓発運動を実施。
第7回	H30.11.6	4名	・接遇週間(第三週目の一週間)ではピンクのリボンを着用して啓発運動を実施。 ・接遇研修会の内容の検討。 ・接遇チェックの集計。
第8回	H30.12.4	4名	・接遇週間(第三週目の一週間)ではピンクのリボンを着用して啓発運動を実施。 ・12月7日接遇研修会を実施、講師株式会社サンキ玖須陽子、参加人数31名。
第9回	H31.1.8	4名	・接遇週間(第三週目の一週間)ではピンクのリボンを着用して啓発運動を実施。 ・接遇研修会の反省。
第10回	H31.2.5	4名	・接遇週間(第三週目の一週間)ではピンクのリボンを着用して啓発運動を実施。 ・身だしなみアンケートの作成、実施。
第11回	H31.3.5	6名	・接遇週間(第三週目の一週間)ではピンクのリボンを着用して啓発運動を実施。 ・身だしなみアンケートの集計。

活動報告

・毎月第一週目火曜日の委員会、・毎月第三週目の接遇週間、・接遇チェック(9月)、・接遇研修会(12月)講師株式会社サンキ玖須陽子、参加人数31名、・身だしなみアンケート(2月)

19. 教育研修委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.10	11人	業務内容確認、年間スケジュール(案)について検討、B型肝炎ウィルスの再活性化について研修予定
第2回	H30.6.14	11人	医療安全研修会について(6月15日 17:30～)「インスリン注射のリスクマネジメント」検討
第3回	H30.7.12	12人	医療安全研修会について(6月15日分 参加者:63名 欠席者:66名(病欠含) レポート:全員提出 報告
第4回	H30.8.9	11人	8月 第2回医療安全研修会開催予定(期日未定)
第5回	H30.10.11	11人	必須研修会の録画について 倫理研修会について 検討
第6回	H30.11.8	12人	11月19日医療安全「インシデント・アクシデントの報告・記録」 11月22日 17:30～ 感染対策「手指衛生について」 倫理研修会について11月15日 17:30～ 「ハラスメントのない職場作り」報告
第7回	H30.12.13	11人	11月19日 17:30～ 医療安全「インシデント・アクシデントの報告・記録」29日 17:30～ 上記ビデオ上映12月3日 17:30～ 上記ビデオ上映 (参加者)84名 (8月 在宅酸素 67名) 報告
第8回	H31.1.10	11人	濱副名誉病院長の職員研修について 期日:平成31年2月22日(金)17:30～ 30～40分程度 検討
第9回	H31.2.14	10人	濱副名誉病院長の職員研修について 期日:平成31年2月22日(金)17:30～ 30～40分程度 準備検討
第10回	H31.3.14	11人	人権学習職員研修について 期日:平成31年3月28日(木)・29日(金) 17:30～ 30分程度 検討
第11回	H31.4.11	11人	(1) 人権学習職員研修について 期日:平成31年3月28日(木)・29日(金) 最終参加人数 66名 報告

(1)BLS委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.24	13名	活動目標、活動計画、BLS講習会の詳細についてを検討
第2回	H30.6.28	15名	BLS講習の振り返り。今後の課題と次回の講習について。
第3回	H30.7.26	13名	BLS講習の振り返り。今後の課題と次回の講習について。
第4回	H30.8.23	5名	BLS講習の振り返り。今後の課題と次回の講習について。
第5回	H30.10.25	10名	BLS講習の振り返り。今後の課題と次回の講習について。

活動報告

急な会議や講演等により講習が変更になったり、中止のなることが多かった。
BLS講習受講率:42.4%

20. 災害対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人 数	内 容
第1回	H30.5.31	5名	平成30年度目標の設定について
第2回	H30.7.26	7名	有事時フローチャートの見直しについて
第3回	H30.8.30	5名	有事時フローチャートの見直しについて BCPの内容修正について EMIS入力マニュアルの作成について
第4回	H31.4.25	3名	平成30年度目標の反省について

平成30年度 院内研修会実施状況

開催年月日	研修会名	講師等	参加人数
H30.4.2	平成30年度新規採用職員オリエンテーション ①組織について ②公務員の心得について ③接遇について ④感染対策について ⑤医療安全対策について ⑥電子カルテについて ⑦服務・勤務条件について	副病院長 生田 哲二 事務局長 頭本 保人 主任看護師 朝野 純子 臨床検査室長 長尾 孝夫 主任看護師 朝野 純子 医事課係長 河本 亮介 総務課係長 矢田貝 亮一	9名
H30.6.15	医療安全研修会 (インスリン注射について)	日本イーライリリー 木下 裕太	63名
H30.8.30	医療安全研修会 (在宅酸素について)	フィリップス・レスピロニクス(合) 内藤省二	67名
H30.9.13	平成30年度職員説明会 ①決算状況について ②基本理念等について ③公務員の心得 ④個人情報取扱規程について 他	事務局長 頭本 保人 医事課長 川上 靖 総務課係長 矢田貝 亮一	62名
H30.11.15	倫理研修会 (ハラスメントのない職場づくり)	e-らぼ 繁原美穂	67名
H30.11.19	医療安全研修会 (記録の重要性)	(株)SOMPOリスクマネジメント 橋本	84名
H30.11.22	感染対策研修会 (手指衛生について)	日野病院 宇田川佳子	67名
H30.12.7	接遇研修会	(株)サンキ 玖珠陽子	31名
H30.2.8	医療安全研修会 (MRIにおける基本的な安全教育)	(株)GEヘルスケアジャパン 河野貴光	50名
H30.3.20	感染対策研修会 (インフルエンザについて)	DVD鑑賞	133名

2、統計

患者統計

I. 外来患者数統計

1. 地域別統計

地域別統計										(人)
区 分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	4,946	2,040	950	1,036	287	218	139	3	61	212
構成比(%)	100.0	41.2	19.2	20.9	5.8	4.4	2.8	0.1	1.2	4.3

2. 年齢階層別統計

		(人)															
区 分	総数	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
男	2,242	4	62	73	72	54	88	126	187	229	167	238	246	210	198	181	107
女	2,704	8	61	73	59	78	91	118	138	216	156	224	262	302	335	310	273
計	4,946	12	123	146	131	132	179	244	325	445	323	462	508	512	533	491	380
構成比(%)	100.0	0.2	2.5	3.0	2.6	2.7	3.6	4.9	6.6	9.0	6.5	9.3	10.3	10.4	10.8	9.9	7.7

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

II. 入院患者数統計

1. 地域別統計

地域別統計										(人)
区 分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数(人)	735	294	132	192	49	28	23	0	4	13
構成比(%)	100.0	40.0	18.0	26.1	6.7	3.8	3.1	0.0	0.5	1.8

※ 実患者数(同一人が何度通院・入院しても1人)による

2. 診療科別・年齢階層別・入退院歴数

		総数	構成比 (%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
総数	計	908	100.0	81.2	1	1	5	5	1	12	21	28	46	66	134	172	207	209
	男	402	100.0	78.3	--	1	1	2	1	10	17	14	35	35	66	75	81	64
	女	506	100.0	83.5	1	--	4	3	--	2	4	14	11	31	68	97	126	145
構成比 (%)	計	100.0	--	--	0.1	0.1	0.6	0.6	0.1	1.3	2.3	3.1	5.1	7.3	14.8	18.9	22.8	23.0
	男	100.0	--	--	--	0.2	0.2	0.5	0.2	2.5	4.2	3.5	8.7	8.7	16.4	18.7	20.1	15.9
	女	100.0	--	--	0.2	--	0.8	0.6	--	0.4	0.8	2.8	2.2	6.1	13.4	19.2	24.9	28.7
内科	計	358	39.4	83.5	--	--	--	--	--	3	6	10	16	24	45	62	91	101
	男	154	38.3	79.4	--	--	--	--	--	2	4	8	13	16	22	34	33	22
	女	204	40.3	86.7	--	--	--	--	--	1	2	2	3	8	23	28	58	79
外科	計	82	9.0	76.2	1	--	--	1	1	2	7	1	3	12	15	13	12	14
	男	50	12.4	74.5	--	--	--	--	1	2	6	1	2	8	11	7	7	5
	女	32	6.3	78.8	1	--	--	1	--	--	1	--	1	4	4	6	5	9
整形外科	計	208	22.9	78.0	--	1	4	3	--	1	4	10	14	16	37	45	46	27
	男	71	17.7	74.6	--	1	1	2	--	1	3	2	8	7	11	15	14	6
	女	137	27.1	79.7	--	--	3	1	--	--	1	8	6	9	26	30	32	21
眼科	計	58	6.4	77.7	--	--	--	--	--	--	--	3	6	8	17	15	6	3
	男	31	7.7	77.0	--	--	--	--	--	--	--	1	5	1	11	10	3	--
	女	27	5.3	78.5	--	--	--	--	--	--	--	2	1	7	6	5	3	3
総診	計	202	22.2	83.3	--	--	1	1	--	6	4	4	7	6	20	37	52	64
	男	96	23.9	81.5	--	--	--	--	--	5	4	2	7	3	11	9	24	31
	女	106	20.9	85.0	--	--	1	1	--	1	--	2	--	3	9	28	28	33

3.診療科別・在院期間別・入退院歴数

(人)

		総数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在 院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1 年	1-2年	2年-
総数	計	908	100.0	29,088	32.0	204	189	160	88	169	46	38	10	2	2
	男	402	100.0	12,145	30.2	92	89	77	37	72	17	12	5	—	1
	女	506	100.0	16,943	33.5	112	100	83	51	97	29	26	5	2	1
構成比 (%)	計	100.0	—	—	—	22.5	20.8	17.6	9.7	18.6	5.1	4.2	1.1	0.2	0.2
	男	100.0	—	—	—	22.9	22.1	19.2	9.2	17.9	4.2	3.0	1.2	—	0.2
	女	100.0	—	—	—	22.1	19.8	16.4	10.1	19.2	5.7	5.1	1.0	0.4	0.2
内科	計	358	39.4	13,806	38.6	108	63	46	31	55	19	26	7	1	2
	男	154	38.3	5,891	38.3	43	28	23	13	26	7	10	3	—	1
	女	204	40.3	7,915	38.8	65	35	23	18	29	12	16	4	1	1
外科	計	82	9.0	2,845	34.7	21	24	9	5	17	3	—	2	1	—
	男	50	12.4	1,690	33.8	13	15	5	3	10	2	—	2	—	—
	女	32	6.3	1,155	36.1	8	9	4	2	7	1	—	—	1	—
整形外科	計	208	22.9	6,405	30.8	27	33	33	33	61	16	5	—	—	—
	男	71	17.7	2,004	28.2	12	11	12	12	18	5	1	—	—	—
	女	137	27.1	4,401	32.1	15	22	21	21	43	11	4	—	—	—
眼科	計	58	6.4	877	15.1	4	12	40	1	1	—	—	—	—	—
	男	31	7.7	444	14.3	4	6	20	1	—	—	—	—	—	—
	女	27	5.3	433	16.0	—	6	20	—	1	—	—	—	—	—
総診	計	202	22.2	5,155	25.5	44	57	32	18	35	8	7	1	—	—
	男	96	23.9	2,116	22.0	20	29	17	8	18	3	1	—	—	—
	女	106	20.9	3,039	28.7	24	28	15	10	17	5	6	1	—	—

4.診療科別・退院月別・入退院歴数

(人)

		総数	構成比 (%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡
総数	計	908	100.0	62	92	74	86	64	83	82	80	73	60	74	78	101
	男	402	100.0	32	40	38	43	30	36	32	36	25	26	30	34	45
	女	506	100.0	30	52	36	43	34	47	50	44	48	34	44	44	56
構成比 (%)	計	100.0	—	6.8	10.1	8.1	9.5	7.0	9.1	9.0	8.8	8.0	6.6	8.1	8.6	11.1
	男	100.0	—	8.0	10.0	9.5	10.7	7.5	9.0	8.0	9.0	6.2	6.5	7.5	8.5	11.2
	女	100.0	—	5.9	10.3	7.1	8.5	6.7	9.3	9.9	8.7	9.5	6.7	8.7	8.7	11.1
内科	計	358	39.4	28	41	24	34	27	34	28	31	24	27	28	32	64
	男	154	38.3	19	16	11	15	12	11	9	18	5	11	12	15	27
	女	204	40.3	9	25	13	19	15	23	19	13	19	16	16	17	37
外科	計	82	9.0	6	6	11	12	2	8	9	6	7	—	10	5	7
	男	50	12.4	2	3	4	8	2	6	6	4	5	—	6	4	6
	女	32	6.3	4	3	7	4	—	2	3	2	2	—	4	1	1
整形外科	計	208	22.9	13	19	15	15	17	19	17	15	22	15	18	23	1
	男	71	17.7	6	7	8	5	6	7	4	4	6	4	7	7	—
	女	137	27.1	7	12	7	10	11	12	13	11	16	11	11	16	1
眼科	計	58	6.4	4	6	6	6	3	5	6	5	5	3	5	4	—
	男	31	7.7	1	4	4	5	2	4	3	1	2	2	1	2	—
	女	27	5.3	3	2	2	1	1	1	3	4	3	1	4	2	—
総診	計	202	22.2	11	20	18	19	15	17	22	23	15	15	13	14	29
	男	96	23.9	4	10	11	10	8	8	10	9	7	9	4	6	12
	女	106	20.9	7	10	7	9	7	9	12	14	8	6	9	8	17

疾病統計（入院患者）

疾病大分類別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
	総数	計	908	100.0	358	82	208	58	202
		男	402	100.0	154	50	71	31	96
		女	506	100.0	204	32	137	27	106
	構成比(%)	計	100.0	--	39.4	9.0	22.9	6.4	22.2
		男	100.0	--	38.3	12.4	17.7	7.7	23.9
		女	100.0	--	40.3	6.3	27.1	5.3	20.9
I	感染症及び寄生虫症	計	23	2.5	14	--	--	--	9
		男	12	3.0	8	--	--	--	4
		女	11	2.2	6	--	--	--	5
II	新生物＜腫瘍＞	計	60	6.6	36	16	2	--	6
		男	34	8.5	17	13	1	--	3
		女	26	5.1	19	3	1	--	3
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	3	0.3	--	--	--	--	3
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	--	--	--	--	3
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	23	2.5	15	3	--	--	5
		男	11	2.7	7	2	--	--	2
		女	12	2.4	8	1	--	--	3
V	精神及び行動の障害	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
VI	神経系の疾患	計	27	3.0	13	1	6	--	7
		男	13	3.2	7	1	2	--	3
		女	14	2.8	6	--	4	--	4
VII	眼及び付属器の疾患	計	58	6.4	--	--	--	58	--
		男	31	7.7	--	--	--	31	--
		女	27	5.3	--	--	--	27	--
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	8	0.9	6	--	--	--	2
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	7	1.4	5	--	--	--	2
IX	循環器系の疾患	計	90	9.9	51	--	--	--	39
		男	30	7.5	15	--	--	--	15
		女	60	11.9	36	--	--	--	24
X	呼吸器系の疾患	計	159	17.5	90	4	1	--	64
		男	84	20.9	42	2	1	--	39
		女	75	14.8	48	2	--	--	25
X I	消化器系の疾患	計	106	11.7	49	40	--	--	17
		男	57	14.2	28	19	--	--	10
		女	49	9.7	21	21	--	--	7
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	計	17	1.9	4	2	7	--	4
		男	13	3.2	2	1	7	--	3
		女	4	0.8	2	1	--	--	1
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	64	7.0	3	3	53	--	5
		男	24	6.0	2	2	19	--	1
		女	40	7.9	1	1	34	--	4
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	計	45	5.0	27	--	--	--	18
		男	16	4.0	9	--	--	--	7
		女	29	5.7	18	--	--	--	11

疾病大分類別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
X V	妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	計	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
X VI	周産期に発生した病態	計	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	49	5.4	26	4	3	--	16
		男	14	3.5	5	4	--	--	5
		女	35	6.9	21	--	3	--	11
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	142	15.6	9	8	122	--	3
		男	46	11.4	5	5	35	--	1
		女	96	19.0	4	3	87	--	2
X X	傷病及び死亡の外因	計	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	計	31	3.4	13	--	14	--	4
		男	15	3.7	6	--	6	--	3
		女	16	3.2	7	--	8	--	1
X X II	特殊目的用コード	計	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
	総数	計	908	100.0	358	82	208	58	202
		男	402	100.0	154	50	71	31	96
		女	506	100.0	204	32	137	27	106
	構成比(%)	計	100.0	--	39.4	9.0	22.9	6.4	22.2
		男	100.0	--	38.3	12.4	17.7	7.7	23.9
		女	100.0	--	40.3	6.3	27.1	5.3	20.9
A047	[M]クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
A09	[M]その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因による	計	10	1.1	9	--	--	--	1
		男	3	0.7	3	--	--	--	--
		女	7	1.4	6	--	--	--	1
A162	[M]肺結核、細菌学的又は組織学的確認の記載がないもの	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
A310	[M]肺非結核性抗酸菌感染症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
A415	[M]その他のグラム陰性菌による敗血症	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
A419	[M]敗血症、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
A481	[M]レジオネラ症<在郷軍人病>	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
A499	[M]細菌感染症、詳細不明	計	2	0.2	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
B022	[M]带状疱疹、その他の神経系合併症を伴うもの	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
B349	[M]ウイルス感染症、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
C159	[M]食道、部位不明【食道の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C162	[M]胃体部【胃の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
C169	[M]胃、部位不明【胃の悪性新生物<腫瘍>】	計	5	0.6	2	3	--	--	--
		男	3	0.7	1	2	--	--	--
		女	2	0.4	1	1	--	--	--
C184	[M]横行結腸【結腸の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C189	[M]結腸、部位不明【結腸の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C20	[M]直腸の悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C220	[M]肝細胞癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>】	計	6	0.7	6	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	5	1.0	5	--	--	--	--
C240	[M]肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C251	[M]膵体部【膵の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C254	[M]内分泌膵【膵の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C259	[M]膵、部位不明【膵の悪性新生物<腫瘍>】	計	4	0.4	3	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	3	0.6	3	--	--	--	--
C349	[M]気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>】	計	4	0.4	1	2	--	--	1
		男	3	0.7	1	2	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
C549	[M]子宮体部、部位不明【子宮体部の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
C56	[M]卵巣の悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C61	[M]前立腺の悪性新生物<腫瘍>	計	5	0.6	3	--	--	--	2
		男	5	1.2	3	--	--	--	2
		女	--	--	--	--	--	--	--
C64	[M]腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
C719	[M]脳、部位不明【脳の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C772	[M]腹腔内リンパ節【リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	--	2	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C773	[M]腋窩及び上肢リンパ節【リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C779	[M]リンパ節、部位不明【リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C780	[M]肺の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
C786	[M]後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C787	[M]肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C795	[M]骨及び骨髄の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C833	[M]びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C859	[M]非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫、型不明	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	3	0.7	3	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
C929	[M]骨髄性白血病、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
D122	[M]上行結腸【結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
D219	[M]結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	2	0.2	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
D361	[M]末梢神経及び自律神経系【その他及び部位不明の良性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
D372	[M]小腸【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
D376	[M]肝、胆のう<嚢>及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
D481	[M]結合組織及びその他の軟部組織【その他及び部位不明の性状不詳の新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	--	1	1	--	--
		男	2	0.5	--	1	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
D508	[M]その他の鉄欠乏性貧血	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
D649	[M]貧血、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
D70	[M]無顆粒球症	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
E11	[M]2型<インスリン非依存性>糖尿病<N I D D M>	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
E112	[M]腎合併症を伴うものの【2型<インスリン非依存性>糖尿病<N I D D M>】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計	9	1.0	6	2	--	--	1
		男	6	1.5	4	1	--	--	1
		女	3	0.6	2	1	--	--	--
E86	[M]体液量減少(症)	計	8	0.9	4	1	--	--	3
		男	2	0.5	1	1	--	--	--
		女	6	1.2	3	--	--	--	3
E871	[M]低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
E876	[M]低カリウム<K>血症	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
F03	[M]詳細不明の認知症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
F419	[M]不安障害、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
G048	[M]その他の脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
G20	[M]パーキンソン<Parkinson>病	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
G258	[M]その他の明示された錐体外路障害及び異常運動	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
G309	[M]アルツハイマー<Alzheimer>病、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
G409	[M]てんかん、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	5	0.6	3	--	--	--	2
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	3	0.6	2	--	--	--	1
G470	[M]睡眠の導入及び維持の障害[不眠症]	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
G473	[M]睡眠時無呼吸	計	7	0.8	5	1	--	--	1
		男	4	1.0	2	1	--	--	1
		女	3	0.6	3	--	--	--	--
G522	[M]迷走神経障害	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
G560	[M]手根管症候群	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
G562	[M]尺骨神経の病変	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
G931	[M]無酸素性脳損傷、他に分類されないもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
G951	[M]血管性ミエロパチ<シ>ー	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	58	6.4	--	--	--	58	--
		男	31	7.7	--	--	--	31	--
		女	27	5.3	--	--	--	27	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
H811	[M] 良性発作性めまい < 眩暈 (症) >	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
H813	[M] その他の末梢性めまい < 眩暈 (症) >	計	5	0.6	3	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	3	--	--	--	2
I209	[M] 狭心症、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
I330	[M] 急性及び亜急性感染性心内膜炎	計	2	0.2	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	--	2
I351	[M] 大動脈弁閉鎖不全 (症)	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
I48	[M] 心房細動及び粗動	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
I500	[M] うっ血性心不全	計	6	0.7	5	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	4	0.8	4	--	--	--	--
I501	[M] 左室不全	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
I509	[M] 心不全、詳細不明	計	42	4.6	24	--	--	--	18
		男	12	3.0	6	--	--	--	6
		女	30	5.9	18	--	--	--	12
I610	[M] (大脳) 半球の脳内出血、皮質下	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
I619	[M] 脳内出血、詳細不明	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
I620	[M] 硬膜下出血 (急性) (非外傷性)	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
I633	[M] 脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
I634	[M] 脳動脈の塞栓症による脳梗塞	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
I638	[M]その他の脳梗塞	計	4	0.4	2	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	3	0.6	2	--	--	--	1
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	17	1.9	11	--	--	--	6
		男	8	2.0	5	--	--	--	3
		女	9	1.8	6	--	--	--	3
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	3	0.3	--	--	--	--	3
		男	2	0.5	--	--	--	--	2
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
I710	[M]大動脈の解離[各部位]	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
J069	[M]急性上気道感染症、詳細不明	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、その他のインフル	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
J156	[M]その他の好気性グラム陰性菌による肺炎	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	19	2.1	3	--	--	--	16
		男	7	1.7	--	--	--	--	7
		女	12	2.4	3	--	--	--	9
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	57	6.3	38	2	1	--	16
		男	32	8.0	17	1	1	--	13
		女	25	4.9	21	1	--	--	3
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	3	0.7	2	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
J459	[M]喘息、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
J46	[M]喘息発作重積状態	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計	55	6.1	37	1	--	--	17
		男	29	7.2	18	1	--	--	10
		女	26	5.1	19	--	--	--	7
J80	[M]成人呼吸窮<促>迫症候群<ARDS>	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
J849	[M]間質性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
J869	[M]瘻(孔)を伴わない膿胸(症)	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
J90	[M]胸水、他に分類されないもの	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
J939	[M]気胸、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
J960	[M]急性呼吸不全	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
J961	[M]慢性呼吸不全	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
K259	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K269	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【十二指腸】	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K292	[M]アルコール性胃炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K317	[M]胃及び十二指腸のポリープ	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
K359	[I*]急性虫垂炎	計	5	0.6	--	5	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--
		女	3	0.6	--	3	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア、閉塞及びえ<壊>疝を伴わないもの	計	10	1.1	--	10	--	--	--
		男	8	2.0	--	8	--	--	--
		女	2	0.4	--	2	--	--	--
K420	[M]臍ヘルニア、閉塞を伴い、え<壊>疝を伴わないもの	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K439	[M]その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア、閉塞及びえ<壊>疝を伴	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K449	[M]横隔膜ヘルニア、閉塞及びえ<壊>疝を伴わないもの	計	2	0.2	1	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K458	[M]その他の明示された腹部ヘルニア、閉塞及びえ<壊>疝を伴	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K550	[M]腸の急性血行障害	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
K560	[M]麻痺性イレウス	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K562	[M]軸捻（転）	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K565	[M]閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K566	[M]その他及び詳細不明の腸閉塞	計	2	0.2	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	2	--	--	--
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	11	1.2	7	3	--	--	1
		男	10	2.5	7	2	--	--	1
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K573	[M]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	4	0.4	--	2	--	--	2
		男	2	0.5	--	1	--	--	1
		女	2	0.4	--	1	--	--	1
K579	[M]腸の憩室性疾患、部位不明、穿孔又は膿瘍を伴わないもの	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
K590	[M]便秘	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸<結腸>のポリープ	計	15	1.7	14	--	--	--	1
		男	10	2.5	10	--	--	--	--
		女	5	1.0	4	--	--	--	1
K659	[M]腹膜炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K701	[M]アルコール性肝炎	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
K703	[M]アルコール性肝硬変	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K709	[M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	3	0.7	1	--	--	--	2
		女	--	--	--	--	--	--	--
K719	[M]中毒性肝疾患、詳細不明	計	2	0.2	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
K729	[M]肝不全、詳細不明	計	4	0.4	4	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
K746	[M]その他及び詳細不明の肝硬変	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K767	[M]肝腎症候群	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K769	[M]肝疾患、詳細不明	計	2	0.2	1	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
K802	[M]胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	計	2	0.2	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	2	--	--	--
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	2	0.2	--	2	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
K805	[M]胆管炎及び胆のう<嚢>炎を伴わない胆管結石	計	5	0.6	2	3	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	2	3	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
K810	[M]急性胆のう<嚢>炎	計	2	0.2	--	1	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	1	--	--	1
K830	[M]胆管炎	計	3	0.3	1	1	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	1	1	--	--	1
K85	[M]急性膵炎	計	5	0.6	3	1	--	--	1
		男	5	1.2	3	1	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
K918	[M]消化器系のその他の処置後障害、他に分類されないもの	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
L031	[M](四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
L032	[M]顔面の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	2	0.2	1	--	1	--	--
		男	2	0.5	1	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	8	0.9	1	2	3	--	2
		男	6	1.5	1	1	3	--	1
		女	2	0.4	--	1	--	--	1
L120	[M]水疱性類天疱瘡	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--
L720	[M]表皮のう<嚢>胞	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
L82	[M]脂漏性角化症	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
L89	[M]じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
L97	[M]下肢の潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M0690	[I]関節リウマチ	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外科	眼科	総診
M1009	[I]痛風性関節炎	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M1124	[I]手関節偽痛風	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M1126	[I*]膝関節偽痛風	計	5	0.6	--	1	3	--	1
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	4	0.8	--	1	2	--	1
M1128	[I*]頸椎偽痛風	計	3	0.3	2	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	1
M1129	[I]偽痛風	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	6	0.7	--	1	5	--	--
		男	2	0.5	--	1	1	--	--
		女	4	0.8	--	--	4	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	12	1.3	--	--	12	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	10	2.0	--	--	10	--	--
M189	[M]第1手根中手関節の関節症、詳細不明	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M200	[M]指の変形	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M353	[M]リウマチ性多発筋痛症	計	4	0.4	--	--	2	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	3	0.6	--	--	2	--	1
M4656	[I*]腰椎化膿性脊椎炎	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M4659	[I]化膿性脊椎炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M4712	[I*]頸椎症性脊髄症	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M4806	[I*]腰部脊柱管狭窄症	計	9	1.0	--	--	9	--	--
		男	3	0.7	--	--	3	--	--
		女	6	1.2	--	--	6	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
M5456	[I]急性腰痛症	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M6259	[I*]廃用症候群	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
M6529	[I]右股関節石灰性腱炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M6534	[I]左母指ばね指	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M753	[M]肩の石灰（性）腱炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
M7952	[I]上腕筋肉内異物残留	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M8418	[I]腰椎偽関節	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M8419	[I*]偽関節	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M8715	[I]左ステロイド性大腿骨頭壊死	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
M932	[M]離断性骨軟骨炎	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N10	[M]急性尿細管間質性腎炎	計	10	1.1	9	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	9	1.8	8	--	--	--	1
N12	[M]尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N178	[M]その他の急性腎不全	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
N180	[I]末期腎不全	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	4	0.4	2	--	--	--	2
		男	3	0.7	2	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
N19	[M]詳細不明の腎不全	計	3	0.3	1	--	--	--	2
		男	2	0.5	1	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
N200	[M]腎結石	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N201	[M]尿管結石	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
N288	[M]腎及び尿管のその他の明示された障害	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
N309	[M]膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
N319	[M]神経因性膀胱(機能障害)、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	13	1.4	6	--	--	--	7
		男	2	0.5	--	--	--	--	2
		女	11	2.2	6	--	--	--	5
N40	[M]前立腺肥大(症)	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
N410	[M]急性前立腺炎	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
Q433a	[M]腸回転異常(症)及び総腸間膜症	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R02	[M]え<壊>疽、他に分類されないもの	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
R060	[M]呼吸困難	計	2	0.2	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R074	[M]胸痛、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R090	[M]窒息	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R091	[M]胸膜炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R098	[M]循環器系及び呼吸器系に関するその他の明示された症状及び徴	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
R104	[M]その他及び詳細不明の腹痛	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R195	[M]その他の異常便	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R252	[M](有痛性)けいれん<痙攣>【異常不随意運動】	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
R33	[M]尿閉	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	9	1.0	4	2	--	--	3
		男	4	1.0	1	2	--	--	1
		女	5	1.0	3	--	--	--	2
R42	[M]めまい<眩暈>感及びよろめき感	計	4	0.4	4	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	3	0.6	3	--	--	--	--
R54	[M]老衰	計	20	2.2	8	1	1	--	10
		男	3	0.7	--	1	--	--	2
		女	17	3.4	8	--	1	--	8
R630	[M]食欲不振	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
R688	[M]その他の明示された全身症状及び徴候	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1
R932	[M]肝及び胆道の画像診断における異常所見	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
S000	[M]頭皮の表在損傷	計	2	0.2	1	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
S066	[M]外傷性くも膜下出血	計	1	0.1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--
S2200	[I*]第7胸椎破裂骨折	計	10	1.1	--	--	10	--	--
		男	5	1.2	--	--	5	--	--
		女	5	1.0	--	--	5	--	--
S2220	[I]胸骨骨折	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S2230	[I*]左第8・9肋骨骨折	計	3	0.3	--	--	2	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	--	--	2	--	1
S272	[M]外傷性血気胸	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S3200	[I*]腰椎椎体骨折	計	20	2.2	--	2	18	--	--
		男	7	1.7	--	1	6	--	--
		女	13	2.6	--	1	12	--	--
S3210	[I]左仙骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S3230	[I*]腸骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
S3250	[I*]恥骨骨折	計	4	0.4	--	--	4	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	--	--	4	--	--
S3280	[I]右坐骨骨折の疑い	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S4200	[I*]左鎖骨骨幹部骨折の術後	計	6	0.7	--	--	6	--	--
		男	4	1.0	--	--	4	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
S4210	[*]右肩甲骨関節窩骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S4220	[*]上腕骨外科頸骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
S4230	[I]上腕骨骨幹部骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S4240	[*]上腕骨通頸骨折	計	5	0.6	--	--	5	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	4	0.8	--	--	4	--	--
S430	[M]肩関節脱臼	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S5210	[I]橈骨頭骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S5250	[*]左橈骨遠位端骨折	計	11	1.2	--	--	10	--	1
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	10	2.0	--	--	9	--	1
S531	[M]肘の脱臼、詳細不明	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S6260	[I]示指基節骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S6261	[I]環指末節骨開放骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S7200	[*]大腿骨頸部骨折	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
S7210	[*]大腿骨転子部骨折	計	26	2.9	--	--	26	--	--
		男	3	0.7	--	--	3	--	--
		女	23	4.5	--	--	23	--	--
S7230	[*]大腿骨骨幹部骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
S7240	[I]右大腿骨内顆骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
S8200	[*]膝蓋骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--
S8210	[*]脛骨近位端骨折	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S8230	[]脛骨腓骨遠位端粉碎骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S8250	[]足関節内果骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S8260	[]足関節外果骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S8280	[]足関節脱臼骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S835	[M]膝の(前)(後)十字靱帯の捻挫及びストレイ ン	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S860	[M]アキレス腱損傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[*]右踵骨骨折	計	3	0.3	--	--	3	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S9221	[]左第 1 楔状骨開放骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
S9230	[*]右第 5 中足骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
S9251	[]趾末節骨開放骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T001	[M]胸部<郭>の表在 損傷、腹部、下背部及 び骨盤部の表在損傷を	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T08-0	[]第 1 0 胸椎椎体骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
T140	[M] 部位不明の表在損傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T141	[M] 部位不明の開放創	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
T252	[M] 足首及び足の第2度熱傷	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
T678	[M] 熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	2	0.2	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T68	[M] 低体温（症）	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T782	[M] アナフィラキシーショック、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
T793	[M] 外傷後の創傷感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--
T810	[M] 処置に合併する出血及び血腫、他に分類されないもの	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
T835	[M] 尿路系プロステシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎	計	2	0.2	1	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
T858	[M] 体内プロステシス、挿入物及び移植片のその他の合併症	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
Z090	[M] その他の病態の術後の経過観察<フォローアップ>検査	計	3	0.3	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
Z228	[M] その他の感染症のキャリア<病原体保有者>	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--
Z470	[M] 骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--
Z501	[M] その他の理学療法	計	24	2.6	8	--	12	--	4
		男	12	3.0	3	--	6	--	3
		女	12	2.4	5	--	6	--	1

I C D 1 0 別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	総診
Z713	[M]食事カウンセリング及びサーベイランス 【その他のカウンセリ	計	1	0.1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--
Z748	[M]介護者依存に関連するその他の問題【介護者依存に関連する問	計	1	0.1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
C795	[M]骨及び骨髄の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C833	[M]びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	計	1	0.1	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C859	[M]非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫、型不明	計	3	0.3	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--
		男	3	0.7	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C929	[M]骨髄性白血病、詳細不明	計	2	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
D122	[M]上行結腸【結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
D219	[M]結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	2	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
		男	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
D361	[M]末梢神経及び自律神経系【その他及び部位不明の良性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	61.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	61.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
D372	[M]小腸【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
D376	[M]肝、胆のう<嚢>及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
D481	[M]結合組織及びその他の軟部組織【その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		男	2	0.5	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D508	[M]その他の鉄欠乏性貧血	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D649	[M]貧血、詳細不明	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
D70	[M]無顆粒球症	計	1	0.1	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
E11	[M]2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	計	2	0.2	60.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	60.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E112	[M]腎合併症を伴うもの【2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>】	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計	9	1.0	71.1	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	3	2	2	--	--
		男	6	1.5	68.2	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	2	1	1	--	--
		女	3	0.6	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	--
E86	[M]体液量減少（症）	計	8	0.9	81.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	4	1	1	1
		男	2	0.5	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--
		女	6	1.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	1	1	1
E871	[M]低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--
E876	[M]低カリウム<K>血症	計	1	0.1	46.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	46.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F03	[M]詳細不明の認知症	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
F419	[M]不安障害、詳細不明	計	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
G048	[M]その他の脳炎、脊髄炎及び脳脊髄炎	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G20	[M]パーキンソン<Parkinson>病	計	1	0.1	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
G258	[M]その他の明示された椎体外路障害及び異常運動	計	1	0.1	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G309	[M]アルツハイマー<Alzheimer>病、詳細不明	計	1	0.1	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G409	[M]てんかん、詳細不明	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	5	0.6	86.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	2
		男	2	0.5	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
		女	3	0.6	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2
G470	[M]睡眠の導入及び維持の障害[不眠症]	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
G473	[M]睡眠時無呼吸	計	7	0.8	67.1	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	1	1	2	--	--	1
		男	4	1.0	58.0	--	--	--	--</												

ICD10別・年齢階層別・病名数

[illegible]

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
J960	[M]急性呼吸不全	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
J961	[M]慢性呼吸不全	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K259	[M]急性又は慢性的の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K269	[M]急性又は慢性的の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【十二指腸潰瘍】	計	2	0.2	91.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	1	0.2	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
K292	[M]アルコール性胃炎	計	1	0.1	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K317	[M]胃及び十二指腸のポリープ	計	2	0.2	85.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	85.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
K359	[I*]急性虫垂炎	計	5	0.6	49.6	--	--	--	1	--	1	--	1	--	--	--	--	1	--	--	1
		男	2	0.5	67.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	3	0.6	38.0	--	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
K409	[M]一側性又は患側不明のそけいく鼠径ヘルニア、閉塞及びえく瘻>瘻を伴わないもの	計	10	1.1	79.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	3	2	1	2
		男	8	2.0	78.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	3	1	1	1
		女	2	0.4	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
K420	[M]臍ヘルニア、閉塞を伴い、えく瘻>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
K439	[M]その他の及び詳細不明の腹壁ヘルニア、閉塞及びえく瘻>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
K449	[M]横隔膜ヘルニア、閉塞及びえく瘻>瘻を伴わないもの	計	2	0.2	70.5	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	56.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
K458	[M]その他の明示された腹部ヘルニア、閉塞及びえく瘻>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
K550	[M]腸の急性血行障害	計	1	0.1	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	3	0.3	61.7	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	2	0.4	52.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
K560	[M]麻痺性イレウス	計	1	0.1	40.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	40.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K562	[M]軸捻（転）	計	1	0.1	101.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	101.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K565	[M]閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	1	0.1	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K566	[M]その他の及び詳細不明の腸閉塞	計	2	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	11	1.2	73.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	4	2	--	3	1	--
		男	10	2.5	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	4	2	--	2	1	--
		女	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
K573	[M]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	4	0.4	65.8	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--	2	--
		男	2	0.5	46.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	85.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
K579	[M]腸の憩室性疾患、部位不明、穿孔又は膿瘍を伴わないもの	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
K590	[M]便秘	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸く結腸>のポリープ	計	15	1.7	74.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	3	5	2	2	--
		男	10	2.5	75.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	2	2	2	--
		女	5	1.0	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	3	--	--	--
K659	[M]腹膜炎、詳細不明	計	1	0.1	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
K701	[M]アルコール性肝炎	計	1	0.1	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K703	[M]アルコール性肝硬変	計	2	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	58.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K709	[M]アルコール性肝疾患、詳細不明	計	3	0.3	65.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	2	--	--	--
		男	3	0.7	65.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	2	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K719	[M]中毒性肝疾患、詳細不明	計	2	0.2	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--
		男	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
K729	[M]肝不全、詳細不明	計	4	0.4	76.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	1	--	--
		男	2	0.5	73.5	--															

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
K810	[M]急性胆のう<嚢>炎	計	2	0.2	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
K830	[M]胆管炎	計	3	0.3	88.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	88.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1
K85	[M]急性膵炎	計	5	0.6	79.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	3	--
		男	5	1.2	79.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	3	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K918	[M]消化器系のその他の処置後障害、他に分類されないもの	計	1	0.1	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
L031	[M](四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L032	[M]顔面の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	2	0.2	69.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	69.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、詳細不明	計	8	0.9	76.9	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	--	--	1	1	2
		男	6	1.5	72.8	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	--	--	--	1	1
		女	2	0.4	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
L120	[M]水疱性類天疱瘡	計	2	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
L720	[M]表皮のう<嚢>胞	計	1	0.1	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L82	[M]脂漏性角化症	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L89	[M]じよく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	計	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L97	[M]下肢の潰瘍、他に分類されないもの	計	1	0.1	57.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	57.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M0690	[I]関節リウマチ	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
M1009	[I]痛風性関節炎	計	1	0.1	47.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	47.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1124	[I]手関節偽痛風	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
M1126	[I*]膝関節偽痛風	計	5	0.6	88.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	3
		男	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	4	0.8	90.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	3
M1128	[I*]頸椎偽痛風	計	3	0.3	76.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	1	--
		男	1	0.2	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	83.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
M1129	[I]偽痛風	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	6	0.7	76.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	1	1	--
		男	2	0.5	77.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--
		女	4	0.8	76.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	1	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	12	1.3	75.8	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	3	3	3	1	--
		男	2	0.5	81.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--
		女	10	2.0	74.6	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	2	3	3	--	--
M189	[M]第1手根中手関節の関節症、詳細不明	計	1	0.1	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M200	[M]指の変形	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
M353	[M]リウマチ性多発筋痛症	計	4	0.4	82.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	3	--
		男	1	0.2	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	87.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--
M4656	[I*]腰椎化膿性脊椎炎	計	3	0.3	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--
		男	2	0.5	84.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
		女	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
M4659	[I]化膿性脊椎炎	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M4712	[I*]頸椎性脊椎軸症	計	2	0.2	83.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
		男	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
M4806	[I*]腰部脊柱管狭窄症	計	9	1.0	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	4	2	3	--
		男	3	0.7	81.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
		女	6	1.2	80.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	1	2	--
M5456	[I]急性腰痛症	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女																			

ICD10別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳	
M8419	[I*]偽関節	計	2	0.2	52.5	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
		男	2	0.5	52.5	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M8715	[I]左ステロイド性大腿骨頭壊死	計	1	0.1	48.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男	1	0.2	48.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M932	[M]離断性骨軟骨炎	計	2	0.2	14.5	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
		男	2	0.5	14.5	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N10	[M]急性尿細管間質性腎炎	計	10	1.1	85.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	3	3	2	
		男	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	9	1.8	85.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	3	2
N12	[M]尿管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	2	0.2	80.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	
		男	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
N178	[M]その他の急性腎不全	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	
		男	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N180	[I]末期腎不全	計	1	0.1	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	4	0.4	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	--	
		男	3	0.7	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	--
		女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
N19	[M]詳細不明の腎不全	計	3	0.3	81.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1	--	
		男	2	0.5	83.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--
		女	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--													

I C D 1 0 別・年齢階層別・病名数

		計	総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
R688	[M]その他の明示された全身症状及び徴候	計	1	0.1	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
R932	[M]肝及び胆道の画像診断における異常所見	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S000	[M]頭皮の表在損傷	計	2	0.2	87.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
		男	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S066	[M]外傷性くも膜下出血	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S2200	[I*]第7胸椎破裂骨折	計	10	1.1	80.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	5	2	--
		男	5	1.2	79.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	1	2	--
		女	5	1.0	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	4	--	--
S2220	[I]胸骨骨折	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S2230	[I*]左第8・9肋骨骨折	計	3	0.3	86.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	86.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--
S272	[M]外傷性血気胸	計	1	0.1	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S3200	[I*]腰椎椎体骨折	計	20	2.2	81.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	3	8	4	2
		男	7	1.7	83.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	3	2	1
		女	13	2.6	81.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	3	5	2	1
S3210	[I]左仙骨骨折	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S3230	[I*]腸骨骨折	計	2	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
S3250	[I*]恥骨骨折	計	4	0.4	84.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	84.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	--	--
S3280	[I]右坐骨骨折の疑い	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S4200	[I*]左鎖骨骨幹部骨折の術後	計	6	0.7	79.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	2	2	--
		男	4	1.0	83.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	--
		女	2	0.4	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--
S4210	[I*]右肩甲骨関節窩骨折	計	2	0.2	70.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
S4220	[I*]上腕骨外科頸骨折	計	2	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
S4230	[I]上腕骨骨幹部骨折	計	1	0.1	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S4240	[I*]上腕骨通頸骨折	計	5	0.6	56.4	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	1
		男	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	4	0.8	49.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1
S430	[M]肩関節脱臼	計	1	0.1	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
S5210	[I]機骨頭骨折	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
S5250	[I*]左機骨遠位端骨折	計	11	1.2	75.2	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	2	2	--	--	--	--	6
		男	1	0.2	20.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	10	2.0	80.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	--	--	--	--	6
S531	[M]肘の脱臼、詳細不明	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S6260	[I]示指基節骨骨折	計	1	0.1	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S6261	[I]環指末節骨開放骨折	計	1	0.1	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S7200	[I*]大腿骨頸部骨折	計	3	0.3	77.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1	1
		男	1	0.2	52.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
S7210	[I*]大腿骨転子部骨折	計	26	2.9	89.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	5	9	12
		男	3	0.7	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2
		女	23	4.5	89.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	4	9	10
S7230	[I*]大腿骨骨幹部骨折	計	2	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
S7240	[I]右大腿骨内顆骨折	計	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0																		

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
S860	[M]アキレス腱損傷	計	1	0.1	61.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	61.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[I*]右踵骨骨折	計	3	0.3	83.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1
		男	2	0.5	86.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1
		女	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
S9221	[I]左第1楔状骨開放骨折	計	1	0.1	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9230	[I*]右第5中足骨骨折	計	2	0.2	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S9251	[I]趾末節骨開放骨折	計	1	0.1	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T001	[M]胸部<頸>の表在損傷、腹部、下背部及び骨盤部の表在損傷を伴うもの	計	1	0.1	101.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	101.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T08-0	[I]第10胸椎椎体骨折	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
T140	[M]部位不明の表在損傷	計	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T141	[M]部位不明の開放創	計	1	0.1	22.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	22.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T252	[M]足首及び足の第2度熱傷	計	1	0.1	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	2	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		男	2	0.5	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T68	[M]低体温（症）	計	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	1	0.1	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T793	[M]外傷後の創傷感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
T810	[M]処置に合併する出血及び血腫、他に分類されないもの	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
T835	[M]尿路系プロステシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	2	0.2	77.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	59.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
T858	[M]体内プロステシス、挿入物及び移植片のその他の合併症	計	1	0.1	58.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	58.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z090	[M]その他の病態の術後の経過観察<フォローアップ>検査	計	3	0.3	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
Z228	[M]その他の感染症のキャリア<病原体保有者>	計	1	0.1	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
Z470	[M]骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察<フォローアップ>ケア	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
Z501	[M]その他の理学療法	計	24	2.6	81.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	4	3	4	7	4	4
		男	12	3.0	79.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	2	2	1	3	3
		女	12	2.4	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	2	6	1	1
Z713	[M]食事カウンセリング及びサーベイランス【その他のカウンセリング及び医学的助言についての保健サー	計	1	0.1	56.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	56.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z748	[M]介護者依存に関連するその他の問題【介護者依存に関連する問題】	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
	総数	計	908	100.0	29,088	32.0	204	189	160	88	169	46	38	10	2	2
		男	402	100.0	12,145	30.2	92	89	77	37	72	17	12	5	--	1
		女	506	100.0	16,943	33.5	112	100	83	51	97	29	26	5	2	1
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	22.5	20.8	17.6	9.7	18.6	5.1	4.2	1.1	0.2	0.2
		男	100.0	--	--	--	22.9	22.1	19.2	9.2	17.9	4.2	3.0	1.2	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	22.1	19.8	16.4	10.1	19.2	5.7	5.1	1.0	0.4	0.2
A047	[M]クロストリジウム・ ディフィシルによる全腸炎	計	2	0.2	38	19.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	38	19.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
A09	[M]その他の胃腸炎及び大 腸炎、感染症及び詳細不明 の原因によるもの	計	10	1.1	140	14.0	6	2	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	46	15.3	--	2	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	7	1.4	94	13.4	6	--	--	--	1	--	--	--	--	--
A162	[M]肺結核、細菌学的又は 組織学的確認の記載がない もの	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
A310	[M]肺非結核性抗酸菌感染 症	計	1	0.1	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
A415	[M]その他のグラム陰性菌 による敗血症	計	1	0.1	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
A419	[M]敗血症、詳細不明	計	2	0.2	40	20.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
A481	[M]レジオネラ症<在郷軍 人病>	計	2	0.2	28	14.0	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	28	14.0	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
A499	[M]細菌感染症、詳細不明	計	2	0.2	51	25.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	41	41.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
B022	[M]帯状疱疹、その他の神 経系合併症を伴うもの	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
B349	[M]ウイルス感染症、詳細 不明	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C159	[M]食道、部位不明【食道 の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C162	[M]胃体部【胃の悪性新生 物<腫瘍>】	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C169	[M]胃、部位不明【胃の悪 性新生物<腫瘍>】	計	5	0.6	132	26.4	1	1	--	1	2	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	95	31.7	1	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	37	18.5	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
C184	[M]横行結腸【結腸の悪性 新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	344	344.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	344	344.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C189	[M]結腸、部位不明【結腸 の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C20	[M]直腸の悪性新生物<腫 瘍>	計	1	0.1	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C220	[M]肝細胞癌【肝及び肝内 胆管の悪性新生物<腫瘍 >】	計	6	0.7	394	65.7	--	--	1	--	3	--	2	--	--	--
		男	1	0.2	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	375	75.0	--	--	--	--	3	--	2	--	--	--
C240	[M]肝外胆管【その他及び 部位不明の胆道の悪性新生 物<腫瘍>】	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C251	[M]膵体部【膵の悪性新生 物<腫瘍>】	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
C254	[M]内分泌膵【膵の悪性新 生物<腫瘍>】	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
C259	[M]膵、部位不明【膵の悪 性新生物<腫瘍>】	計	4	0.4	86	21.5	1	1	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	38	38.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	48	16.0	1	1	--	--	1	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
C349	【M】気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>】	計	4	0.4	55	13.8	--	3	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	39	13.0	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
C549	【M】子宮体部、部位不明【子宮体部の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	40	20.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	40	20.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
C56	【M】卵巣の悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
C61	【M】前立腺の悪性新生物<腫瘍>	計	5	0.6	27	5.4	4	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	5	1.2	27	5.4	4	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C64	【M】腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	71	71.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	71	71.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
C719	【M】脳、部位不明【脳の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	72	72.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	72	72.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C772	【M】腹腔内リンパ節【リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>】	計	2	0.2	19	9.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	19	9.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C773	【M】腋窩及び上肢リンパ節【リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C779	【M】リンパ節、部位不明【リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C780	【M】肺の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
C786	【M】後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	2	0.2	48	24.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	48	24.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C787	【M】肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C795	【M】骨及び骨髄の続発性悪性新生物<腫瘍>	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C833	【M】びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫	計	1	0.1	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C859	【M】非ホジキン<non-Hodgkin>リンパ腫、型不明	計	3	0.3	73	24.3	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	73	24.3	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C929	【M】骨髄性白血病、詳細不明	計	2	0.2	4	2.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	4	2.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D122	【M】上行結腸【結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
D219	【M】結合組織及びその他の軟部組織、部位不明	計	2	0.2	76	38.0	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	58	58.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
D361	【M】末梢神経及び自律神経系【その他及び部位不明の良性新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
D372	【M】小腸【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
D376	【M】肝、胆のう<囊>及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>】	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D481	【M】結合組織及びその他の軟部組織【その他及び部位不明の性状不詳又は不明の	計	2	0.2	22	11.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	22	11.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D508	【M】その他の鉄欠乏性貧血	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
D649	[M]貧血、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D70	[M]無顆粒球症	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
E11	[M]2型<インスリン非依 存性>糖尿病<N I D D M >	計	2	0.2	49	24.5	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	49	24.5	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E112	[M]腎合併症を伴うもの 【2型<インスリン非依存 性>糖尿病<N I D D M >	計	1	0.1	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計	9	1.0	198	22.0	1	2	4	1	--	1	--	--	--	--
		男	6	1.5	139	23.2	1	1	3	--	--	1	--	--	--	--
		女	3	0.6	59	19.7	--	1	1	1	--	--	--	--	--	--
E86	[M]体流量減少（症）	計	8	0.9	214	26.8	4	--	1	1	1	--	1	--	--	--
		男	2	0.5	38	19.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	6	1.2	176	29.3	3	--	1	1	--	--	1	--	--	--
E871	[M]低浸透圧及び低ナトリ ウム血症	計	2	0.2	21	10.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	21	10.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
E876	[M]低カリウム<K>血症	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F03	[M]詳細不明の認知症	計	1	0.1	83	83.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	83	83.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
F419	[M]不安障害、詳細不明	計	1	0.1	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G048	[M]その他の脳炎、脊髄炎 及び脳脊髄炎	計	1	0.1	120	120.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	120	120.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G20	[M]パーキンソン<P a r k i n s o n>病	計	1	0.1	41	41.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	41	41.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
G258	[M]その他の明示された錐 体外路障害及び異常運動	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G309	[M]アルツハイマー<A l z h e i m e r>病、詳細 不明	計	1	0.1	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G409	[M]てんかん、詳細不明	計	1	0.1	122	122.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	122	122.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳 細不明	計	5	0.6	35	7.0	3	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	11	5.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	24	8.0	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
G470	[M]睡眠の導入及び維持の 障害[不眠症]	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
G473	[M]睡眠時無呼吸	計	7	0.8	14	2.0	7	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	4	1.0	8	2.0	4	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	6	2.0	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G522	[M]迷走神経障害	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G560	[M]手根管症候群	計	3	0.3	43	14.3	--	1	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	27	13.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
G562	[M]尺骨神経の病変	計	3	0.3	33	11.0	1	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	17	8.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
G931	[M]無酸素性脳損傷、他に 分類されないもの	計	1	0.1	988	988.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	988	988.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G951	[M]血管性ミエロパチ<シ >ー	計	1	0.1	68	68.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	68	68.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	58	6.4	877	15.1	4	12	40	1	1	--	--	--	--	--
		男	31	7.7	444	14.3	4	6	20	1	--	--	--	--	--	--
		女	27	5.3	433	16.0	--	6	20	--	1	--	--	--	--	--
H811	[M]良性発作性めまい<眩暈(症)>	計	3	0.3	19	6.3	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	12	6.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
H813	[M]その他の末梢性めまい<眩暈(症)>	計	5	0.6	68	13.6	2	2	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	68	13.6	2	2	--	--	1	--	--	--	--	--
I209	[M]狭心症、詳細不明	計	1	0.1	42	42.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	42	42.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
I330	[M]急性及び亜急性感染性心内膜炎	計	2	0.2	21	10.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	21	10.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I351	[M]大動脈弁閉鎖不全(症)	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I48	[M]心房細動及び粗動	計	2	0.2	27	13.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I500	[M]うっ血性心不全	計	6	0.7	220	36.7	1	1	--	1	2	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	36	18.0	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	184	46.0	1	--	--	--	2	1	--	--	--	--
I501	[M]左室不全	計	1	0.1	74	74.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	74	74.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
I509	[M]心不全、詳細不明	計	42	4.6	1,538	36.6	7	9	7	7	6	2	3	1	--	--
		男	12	3.0	384	32.0	--	3	1	3	5	--	--	--	--	--
		女	30	5.9	1,154	38.5	7	6	6	4	1	2	3	1	--	--
I610	[M](大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	2	0.2	145	72.5	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	125	125.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
I619	[M]脳内出血、詳細不明	計	3	0.3	267	89.0	--	--	1	--	--	--	2	--	--	--
		男	2	0.5	150	75.0	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	117	117.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
I620	[M]硬膜下出血(急性)(非外傷性)	計	2	0.2	151	75.5	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	151	75.5	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--
I633	[M]脳動脈の血栓症による脳梗塞	計	1	0.1	54	54.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	54	54.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I634	[M]脳動脈の塞栓症による脳梗塞	計	2	0.2	326	163.0	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	326	163.0	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--
I638	[M]その他の脳梗塞	計	4	0.4	196	49.0	--	1	--	--	2	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	182	60.7	--	--	--	--	2	--	1	--	--	--
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	17	1.9	987	58.1	4	1	3	--	3	2	3	1	--	--
		男	8	2.0	226	28.3	3	1	1	--	2	1	--	--	--	--
		女	9	1.8	761	84.6	1	--	2	--	1	1	3	1	--	--
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	3	0.3	62	20.7	1	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	17	8.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	45	45.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
I710	[M]大動脈の解離[各部位]	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
J069	[M]急性上気道感染症、詳細不明	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、その他のインフルエンザウイルス	計	3	0.3	54	18.0	2	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	11	5.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J156	[M]その他の好気性グラム陰性菌による肺炎	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	19	2.1	620	32.6	2	6	2	4	2	2	1	--	--	--
		男	7	1.7	181	25.9	--	3	1	2	--	1	--	--	--	--
		女	12	2.4	439	36.6	2	3	1	2	2	1	1	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	2	0.2	35	17.5	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	35	17.5	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	57	6.3	1,685	29.6	8	16	9	7	12	3	1	1	--	--
		男	32	8.0	896	28.0	4	9	6	3	7	2	1	--	--	--
		女	25	4.9	789	31.6	4	7	3	4	5	1	--	1	--	--
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.3	29	9.7	1	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	29	9.7	1	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	3	0.3	69	23.0	--	2	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	60	30.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
J459	[M]喘息、詳細不明	計	1	0.1	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
J46	[M]喘息発作重積状態	計	2	0.2	25	12.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計	55	6.1	2,447	44.5	6	10	9	8	15	2	3	1	1	--
		男	29	7.2	1,346	46.4	3	4	4	4	10	1	2	1	--	--
		女	26	5.1	1,101	42.3	3	6	5	4	5	1	1	--	1	--
J80	[M]成人呼吸窮<促>迫症候群<ARDS>	計	1	0.1	121	121.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	121	121.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J849	[M]間質性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	13	6.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	13	6.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J869	[M]瘻（孔）を伴わない膿胸（症）	計	2	0.2	59	29.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	55	55.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
J90	[M]胸水、他に分類されないもの	計	3	0.3	38	12.7	1	1	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	33	16.5	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
J939	[M]気胸、詳細不明	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J960	[M]急性呼吸不全	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
J961	[M]慢性呼吸不全	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K259	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K269	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【十二指腸潰瘍】	計	2	0.2	86	43.0	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	70	70.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
K292	[M]アルコール性胃炎	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K317	[M]胃及び十二指腸のポリープ	計	2	0.2	8	4.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	8	4.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K359	[I*]急性虫垂炎	計	5	0.6	54	10.8	3	1	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	34	17.0	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	20	6.7	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい<鼠径>ヘルニア、閉塞及びえ<壊>瘻を伴うもの	計	10	1.1	101	10.1	3	6	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	8	2.0	81	10.1	3	4	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	20	10.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
K420	[M]臍ヘルニア、閉塞を伴い、え<壊>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K439	[M]その他及び詳細不明の腹壁ヘルニア、閉塞及びえ<壊>瘻を伴わないもの	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
K449	[M]横隔膜ヘルニア、閉塞 及び<壊>疝を伴わない もの	計	2	0.2	16	8.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K458	[M]その他の明示された腹 部ヘルニア、閉塞及び<壊> 疝を伴わないもの	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K550	[M]腸の急性血行障害	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不 明	計	3	0.3	24	8.0	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	12	6.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K560	[M]麻痺性イレウス	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K562	[M]軸捻（転）	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K565	[M]閉塞を伴う腸癒着[糸条 物]	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K566	[M]その他及び詳細不明の 腸閉塞	計	2	0.2	94	47.0	--	--	--	1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	94	47.0	--	--	--	1	--	1	--	--	--	--
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	11	1.2	281	25.5	2	5	--	2	1	--	1	--	--	--
		男	10	2.5	279	27.9	1	5	--	2	1	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K573	[M]穿孔又は膿瘍を伴わ ない大腸の憩室性疾患	計	4	0.4	33	8.3	3	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	13	6.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	20	10.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K579	[M]腸の憩室性疾患、部位 不明、穿孔又は膿瘍を伴わ ないもの	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K590	[M]便秘	計	1	0.1	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸<結腸>のポリ プ	計	15	1.7	41	2.7	15	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	10	2.5	23	2.3	10	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	18	3.6	5	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K659	[M]腹膜炎、詳細不明	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K701	[M]アルコール性肝炎	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K703	[M]アルコール性肝硬変	計	2	0.2	63	31.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	61	61.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K709	[M]アルコール性肝疾患、 詳細不明	計	3	0.3	34	11.3	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	34	11.3	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K719	[M]中毒性肝疾患、詳細不 明	計	2	0.2	32	16.0	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K729	[M]肝不全、詳細不明	計	4	0.4	99	24.8	--	--	2	1	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	54	27.0	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	45	22.5	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
K746	[M]その他及び詳細不明の 肝硬変	計	2	0.2	777	388.5	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	30	30.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	747	747.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
K767	[M]肝腎症候群	計	1	0.1	60	60.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	60	60.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K769	[M]肝疾患、詳細不明	計	2	0.2	43	21.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K802	[M]胆のう<嚢>炎を伴わ ない胆のう<嚢>結石	計	2	0.2	61	30.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	61	30.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	2	0.2	39	19.5	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
K805	[M]胆管炎及び胆のう<嚢> >炎を伴わない胆管結石	計	5	0.6	95	19.0	2	1	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	95	19.0	2	1	--	--	2	--	--	--	--	--
K810	[M]急性胆のう<嚢>炎	計	2	0.2	63	31.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	63	31.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
K830	[M]胆管炎	計	3	0.3	108	36.0	--	--	1	1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	108	36.0	--	--	1	1	1	--	--	--	--	--
K85	[M]急性膵炎	計	5	0.6	71	14.2	2	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	5	1.2	71	14.2	2	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K918	[M]消化器系のその他の処 置後障害、他に分類されな いもの	計	1	0.1	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L031	[M] (四) 肢のその他の部 位の蜂巣炎<蜂窩織炎>	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L032	[M]顔面の蜂巣炎<蜂窩織 炎>	計	2	0.2	15	7.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	15	7.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎<蜂窩織炎>、 詳細不明	計	8	0.9	80	10.0	3	3	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	6	1.5	56	9.3	2	3	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	24	12.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
L120	[M]水疱性類天疱瘡	計	2	0.2	179	89.5	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	179	89.5	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
L720	[M]表皮のう<嚢>胞	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L82	[M]脂漏性角化症	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L89	[M]じょく<褥>瘡性潰瘍 及び圧迫領域	計	1	0.1	51	51.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	51	51.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L97	[M]下肢の潰瘍、他に分類 されないもの	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M0690	[I]関節リウマチ	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1009	[I]痛風性関節炎	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1124	[I]手関節偽痛風	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1126	[I*]膝関節偽痛風	計	5	0.6	674	134.8	--	2	--	1	--	--	1	--	1	--
		男	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	659	164.8	--	1	--	1	--	--	1	--	1	--
M1128	[I*]頸椎偽痛風	計	3	0.3	26	8.7	1	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	19	9.5	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
M1129	[I]偽痛風	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	6	0.7	267	44.5	--	--	--	2	3	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	91	45.5	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	176	44.0	--	--	--	2	1	1	--	--	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	12	1.3	318	26.5	2	--	--	7	3	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	50	25.0	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--
		女	10	2.0	268	26.8	2	--	--	5	3	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
M189	[M]第1手根中手関節の関節症、詳細不明	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M200	[M]指の変形	計	1	0.1	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M353	[M]リウマチ性多発筋痛症	計	4	0.4	189	47.3	--	2	--	--	--	1	1	--	--	--
		男	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	176	58.7	--	1	--	--	--	1	1	--	--	--
M4656	[I*]腰椎化膿性脊椎炎	計	3	0.3	130	43.3	--	--	--	1	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	86	43.0	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	44	44.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M4659	[I]化膿性脊椎炎	計	1	0.1	85	85.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	85	85.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M4712	[I*]頸椎症性脊髄症	計	2	0.2	86	43.0	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	55	55.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M4806	[I*]腰部脊柱管狭窄症	計	9	1.0	276	30.7	1	--	3	2	2	1	--	--	--	--
		男	3	0.7	53	17.7	1	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		女	6	1.2	223	37.2	--	--	2	1	2	1	--	--	--	--
M5456	[I]急性腰痛症	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
M6259	[I*]廃用症候群	計	2	0.2	58	29.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	48	48.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
M6529	[I]右股関節石灰性腱炎	計	1	0.1	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M6534	[I]左母指ばね指	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M753	[M]肩の石灰（性）腱炎	計	1	0.1	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M7952	[I]上腕筋肉内異物残留	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M8418	[I]腰椎偽関節	計	1	0.1	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M8419	[I*]偽関節	計	2	0.2	35	17.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	35	17.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M8715	[I]左ステロイド性大腿骨頭壊死	計	1	0.1	72	72.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	72	72.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M932	[M]離断性骨軟骨炎	計	2	0.2	12	6.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	12	6.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N10	[M]急性尿管間質性腎炎	計	10	1.1	205	20.5	1	5	2	--	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	9	1.8	185	20.6	1	5	1	--	2	--	--	--	--	--
N12	[M]尿管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	2	0.2	137	68.5	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	110	110.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	27	27.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
N178	[M]その他の急性腎不全	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	1	0.1	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N180	[I]末期腎不全	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	4	0.4	223	55.8	--	1	--	1	--	1	1	--	--	--
		男	3	0.7	144	48.0	--	1	--	1	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	79	79.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
N19	[M]詳細不明の腎不全	計	3	0.3	265	88.3	1	--	--	--	--	1	--	1	--	--
		男	2	0.5	260	130.0	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N200	[M]腎結石	計	1	0.1	97	97.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	97	97.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
N201	[M]尿管結石	計	2	0.2	31	15.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N288	[M]腎及び尿管のその他の 明示された障害	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N309	[M]膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
N319	[M]神経因性膀胱(機能障 害)、詳細不明	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	13	1.4	218	16.8	6	4	1	--	1	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	62	31.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	11	2.2	156	14.2	6	3	1	--	--	1	--	--	--	--
N40	[M]前立腺肥大(症)	計	2	0.2	169	84.5	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		男	2	0.5	169	84.5	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N410	[M]急性前立腺炎	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Q433a	[M]腸回転異常(症)及び 総腸間膜症	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R02	[M]えくぼ、他に分類 されないもの	計	2	0.2	57	28.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	57	28.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
R060	[M]呼吸困難	計	2	0.2	24	12.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
R074	[M]胸痛、詳細不明	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
R090	[M]窒息	計	1	0.1	195	195.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	195	195.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R091	[M]胸膜炎	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R098	[M]循環器系及び呼吸器系 に関するその他の明示され た症状及び徴候	計	1	0.1	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R104	[M]その他及び詳細不明の 腹痛	計	1	0.1	49	49.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	49	49.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R195	[M]その他の異常便	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R252	[M](有痛性)けいれん<痙 攣>【異常不随意運動】	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R33	[M]尿閉	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	9	1.0	148	16.4	4	2	2	--	--	1	--	--	--	--
		男	4	1.0	39	9.8	2	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	109	21.8	2	1	1	--	--	1	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
R42	[M]めまい<眩暈>感及び よろめき感	計	4	0.4	17	4.3	4	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	12	4.0	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R54	[M]老衰	計	20	2.2	1,307	65.4	4	1	2	3	5	--	3	2	--	--
		男	3	0.7	382	127.3	1	--	1	--	--	--	--	1	--	--
		女	17	3.4	925	54.4	3	1	1	3	5	--	3	1	--	--
R630	[M]食欲不振	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
R688	[M]その他の明示された全 身症状及び徴候	計	1	0.1	58	58.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	58	58.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
R932	[M]肝及び胆道の画像診断 における異常所見	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S000	[M]頭皮の表在損傷	計	2	0.2	7	3.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S066	[M]外傷性くも膜下出血	計	1	0.1	57	57.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	57	57.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S2200	[I*]第7胸椎破裂骨折	計	10	1.1	376	37.6	1	1	--	3	4	--	1	--	--	--
		男	5	1.2	148	29.6	1	--	--	2	2	--	--	--	--	--
		女	5	1.0	228	45.6	--	1	--	1	2	--	1	--	--	--
S2220	[I]胸骨骨折	計	1	0.1	26	26.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	26	26.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S2230	[I*]左第8・9肋骨骨折	計	3	0.3	41	13.7	--	2	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.6	41	13.7	--	2	1	--	--	--	--	--	--	--
S272	[M]外傷性気胸	計	1	0.1	73	73.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	73	73.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S3200	[I*]腰椎椎体骨折	計	20	2.2	624	31.2	--	2	6	3	8	1	--	--	--	--
		男	7	1.7	222	31.7	--	--	4	--	2	1	--	--	--	--
		女	13	2.6	402	30.9	--	2	2	3	6	--	--	--	--	--
S3210	[I]左仙骨骨折	計	1	0.1	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S3230	[I*]腸骨骨折	計	2	0.2	24	12.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	24	12.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
S3250	[I*]恥骨骨折	計	4	0.4	137	34.3	--	--	--	2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	137	34.3	--	--	--	2	2	--	--	--	--	--
S3280	[I]右坐骨骨折の疑い	計	1	0.1	73	73.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	73	73.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
S4200	[I*]左鎖骨骨幹部骨折の術 後	計	6	0.7	93	15.5	3	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	4	1.0	70	17.5	2	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	23	11.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S4210	[I*]右肩甲骨関節窩骨折	計	2	0.2	39	19.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S4220	[I*]上腕骨外科頸骨折	計	2	0.2	119	59.5	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	119	59.5	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
S4230	[I]上腕骨骨幹部骨折	計	1	0.1	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S4240	[I*]上腕骨通頸骨折	計	5	0.6	97	19.4	2	1	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.8	94	23.5	1	1	--	--	2	--	--	--	--	--
S430	[M]肩関節脱臼	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S5210	[I]橈骨頭骨折	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
S5250	[I*]左橈骨遠位端骨折	計	11	1.2	333	30.3	1	2	2	1	4	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	10	2.0	321	32.1	1	1	2	1	4	1	--	--	--	--
S531	[M]肘の脱臼、詳細不明	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S6260	[I]示指基節骨骨折	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S6261	[I]環指末節骨開放骨折	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S7200	[I*]大腿骨頸部骨折	計	3	0.3	126	42.0	--	--	--	1	1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	63	63.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	63	31.5	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
S7210	[I*]大腿骨転子部骨折	計	26	2.9	1,037	39.9	--	1	8	3	11	3	--	--	--	--
		男	3	0.7	78	26.0	--	--	1	2	--	--	--	--	--	--
		女	23	4.5	959	41.7	--	1	7	1	11	3	--	--	--	--
S7230	[I*]大腿骨骨幹部骨折	計	2	0.2	80	40.0	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	80	40.0	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--
S7240	[I]右大腿骨内顆骨折	計	1	0.1	53	53.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	53	53.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S8200	[I*]膝蓋骨骨折	計	2	0.2	47	23.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	47	23.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
S8210	[I*]脛骨近位端骨折	計	3	0.3	167	55.7	--	--	1	--	1	--	1	--	--	--
		男	2	0.5	145	72.5	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S8230	[I]脛骨腓骨遠位端粉碎骨折	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S8250	[I]足関節内果骨折	計	1	0.1	47	47.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	47	47.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8260	[I]足関節外果骨折	計	1	0.1	42	42.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	42	42.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8280	[I]足関節脱臼骨折	計	1	0.1	70	70.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	70	70.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
S835	[M]膝の(前)(後)十字靱帯 の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S860	[M]アキレス腱損傷	計	1	0.1	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[I*]右踵骨骨折	計	3	0.3	138	46.0	--	--	--	1	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	77	38.5	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	61	61.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S9221	[I]左第1楔状骨開放骨折	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9230	[I*]右第5中足骨骨折	計	2	0.2	60	30.0	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S9251	[I]趾末節骨開放骨折	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T001	[M]胸部<郭>の表在損 傷、腹部、下背部及び骨盤 部の表在損傷を伴うもの	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T08-0	[I]第10胸椎椎体骨折	計	1	0.1	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T140	[M]部位不明の表在損傷	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

I C D 1 0 別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月- 1年	1-2年	2年-
T141	[M]部位不明の開放創	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T252	[M]足首及び足の第2度熱傷	計	1	0.1	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	2	0.2	27	13.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	27	13.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T68	[M]低体温（症）	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T793	[M]外傷後の創傷感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
T810	[M]処置に合併する出血及び血腫、他に分類されないもの	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T835	[M]尿路系プロステシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	2	0.2	89	44.5	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	74	74.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
T858	[M]体内プロステシス、挿入物及び移植片のその他の合併症	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z090	[M]その他の病態の術後の経過観察<フォローアップ>検査	計	3	0.3	8	2.7	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	5	2.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z228	[M]その他の感染症のキャリア<病原体保有者>	計	1	0.1	98	98.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	98	98.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
Z470	[M]骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察<フォロー>	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
Z501	[M]その他の理学療法	計	24	2.6	1,073	44.7	--	4	4	3	8	3	1	1	--	--
		男	12	3.0	530	44.2	--	1	1	1	7	2	--	--	--	--
		女	12	2.4	543	45.3	--	3	3	2	1	1	1	1	--	--
Z713	[M]食事カウンセリング及びサバイランス【その他のカウンセリング及び医学	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z748	[M]介護者依存に関連するその他の問題【介護者依存に関連する問題】	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--

疾病中分類別・上位疾病別・病名数

番号	順位	コード	分類名	件数	構成比(%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	平均年齢
1	1	102	インフルエンザ及び肺炎	82	9.0	2,402	29.3	86.4
2	2	079	水晶体の障害	58	6.4	877	15.1	77.7
3	3	106	外的因子による肺疾患	55	6.1	2,447	44.5	87.4
4	4	096	その他の型の心疾患	54	5.9	1,883	34.9	90.4
5	5	116	腸のその他の疾患	41	4.5	557	13.6	72.8
6	6	097	脳血管疾患	34	3.7	2,188	64.4	81.8
7	7	204	股関節部及び大腿の損傷	32	3.5	1,296	40.5	88.0
8	8	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	28	3.1	895	32.0	82.5
9	9	223	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	25	2.8	1,086	43.4	81.4
10	10	023	消化器の悪性新生物＜腫瘍＞	23	2.5	1,076	46.8	83.9
11	11	191	全身症状及び徴候	22	2.4	1,377	62.6	93.3
12	12	119	胆のう＜嚢＞、胆管及び膵の障害	19	2.1	437	23.0	83.6
13	12	131	関節症	19	2.1	588	30.9	75.7
14	14	118	肝疾患	17	1.9	1,113	65.5	74.2
15	14	201	肩及び上腕の損傷	17	1.9	393	23.1	71.4
16	16	114	ヘルニア	15	1.7	152	10.1	79.7
17	16	135	脊椎障害	15	1.7	577	38.5	81.3
18	16	149	尿路系のその他の疾患	15	1.7	244	16.3	85.5
19	16	199	胸部＜郭＞損傷	15	1.7	516	34.4	83.0
20	20	070	挿間性及び発作性障害	14	1.5	185	13.2	77.3

部門別統計

日野病院部門別各種統計調べ(No.1)

1、病院事業関係

(単位:件)

手術件数	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
外科	64	47	52	59	68	66	△ 2
整形外科	145	102	102	95	165	135	△ 30
眼科	122	122	111	99	90	98	8
計	331	271	265	253	323	299	△ 24

(単位:人)

人工透析状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
実日数	246	205	209	228	259	255	△ 4
実患者数	133	145	148	164	179	176	△ 3
延べ患者数	1,552	1,714	1,804	1,995	2,121	2,142	21

(単位:件)

内視鏡検査	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
胃カメラ	674	606	641	713	735	737	2
胃透視	7	1	0	0	0	1	1
大腸ファイバー	131	106	93	120	139	126	△ 13
嚥下カメラ	0	0	15	6	1	0	△ 1
気管支鏡	13	12	4	5	11	2	△ 9
胃ろう造設術	14	13	14	22	13	15	2
膀胱鏡	55	29	20	33	21	16	△ 5
ステント交換	25	22	18	25	9	13	4

(単位:件)

超音波検査	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
腹部エコー	543	497	634	898	939	1,051	112
心エコー	259	281	244	104	220	164	△ 56

(単位:件)

薬状局況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
服薬指導(人数)	388	373	324	359	406	356	△ 50
服薬指導(件数)	660	556	518	596	716	626	△ 90
訪問服薬指導	81	23	0	0	0	0	0
処方箋枚数	11,006	11,340	9,826	9,189	9,750	10,036	286
薬剤数	32,249	34,405	30,420	28,446	28,019	26,115	△ 1,904
注射箋枚数	14,387	12,966	13,495	13,618	13,620	12,718	△ 902
製剤数	774	829	697	526	210	174	△ 36
I V H 本数	1,696	745	2,193	2,015	2,615	2,973	358
疑義照会	597	551	558	774	811	758	△ 53

(単位:件)

放射線状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
一般撮影	5,811	5,821	6,197	6,650	6,739	6,052	△ 687
ポータブル撮影	730	707	831	900	802	584	△ 218
外科用イメージ撮影	71	55	48	51	86	72	△ 14
骨塩定量	465	540	565	578	787	828	41
マンモ撮影	23	15	9	13	11	17	6
造影・透視	191	173	136	173	110	150	40
訪問撮影	77	74	64	38	19	25	6
C T 検査	1,626	1,554	1,555	1,858	2,001	1,962	△ 39
M R I 検査	644	640	563	802	1,166	1,054	△ 112
計	9,638	9,579	9,968	11,063	11,721	10,744	△ 977
遠隔読影	1,740	1,854	1,992	2,478	3,240	3,091	△ 149

(単位:件)

検査実施状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
人間ドック	119	114	106	115	107	107	0
人間ドック(M R I 含)	22	20	27	22	42	28	△ 14
共済組合ドック	66	55	66	75	71	67	△ 4
脳ドック	58	64	66	61	65	70	5
生活習慣病健診	133	122	119	123	134	145	11
子宮がん	30	29	33	30	27	38	11
乳がん・マンモ	3	3	0	4	1	7	6
骨塩	42	35	31	41	23	37	14
原爆検診	6	10	4	3	2	1	△ 1
予防接種	1,609	1,778	1,993	1,767	1,760	1,988	228
特定健診	13	12	13	9	11	10	△ 1
事業所健診	37	26	19	33	39	53	14
計	2,138	2,268	2,477	2,283	2,282	2,551	269

日野病院部門別各種統計調べ(No.2)

(単位:件)

栄養管理室 状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
入院時 食事療養	64,526	67,609	64,485	73,387	73,484	71,839	△ 1,645
特別食加算	33,564	38,906	35,680	29,805	30,952	33,841	2,889
食堂加算	21,716	22,927	21,953	24,760	24,956	24,400	△ 556
外来透 析数	884	887	888	975	867	662	△ 205
栄養指 導	532	516	526	524	548	559	11
訪問 栄養指 導	1	0	2	2	0	0	0
その他 イベント等指導	195	240	238	236	87	171	84

(単位:件)

検査 状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
生化学セット	8,940	8,700	9,122	10,388	10,944	10,816	△ 128
C B C	8,353	7,878	8,233	9,232	9,711	9,519	△ 192
凝固検査	2,789	2,762	2,838	3,088	2,669	2,889	220
尿検査	5,249	5,064	5,236	4,758	4,557	5,214	657
心電図	1,726	1,668	1,685	1,673	1,728	1,763	35
呼吸機能	479	382	422	447	368	318	△ 50
誘発筋電図	132	109	102	108	126	72	△ 54
眼底カメラ	273	257	271	279	288	279	△ 9
脳波	23	24	12	12	27	13	△ 14
血圧脈波	23	120	116	268	197	234	37
計	27,987	26,964	28,037	30,253	30,615	31,117	502

(単位:単位数)

理学療法 状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
運動器Ⅰ	9,440	10,328	5,081	10,454	9,469	10,224	755
呼吸器Ⅰ	952	1,253	1,638	3,261	3,836	4,642	806
脳血管Ⅱ	8,765	6,528	2,045	4,329	4,847	3,998	△ 849
地域包括 ケア病床分	0	6,801	13,181	13,365	13,479	14,356	877
単位数合計	19,157	24,910	21,945	31,409	31,631	33,220	1,589
消炎鎮痛 (件数)	905	915	658	533	520	320	△ 200
退院時指導 (件数)	250	255	247	312	330	364	34
退院前指導 (件数)	92	90	100	119	112	102	△ 10

(単位:単位数)

作業療法 状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
運動器Ⅰ	1,081	1,288	2,114	2,821	1,862	1,006	△ 856
呼吸器Ⅰ	0	77	200	1,226	1,276	86	△ 1,190
脳血管Ⅱ	2,145	1,953	820	1,752	1,984	1,436	△ 548
地域包括 ケア病床分	0	803	1,471	2,774	1,765	1,384	△ 381
単位数合計	3,226	4,121	4,605	8,573	6,887	3,912	△ 2,975

(単位:単位数)

言語聴 覚 療法 状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
脳血管Ⅱ	1,733	3,099	2,806	2,876	2,639	2,116	△ 523
地域包括 ケア病床分	0	442	1,189	108	107	69	△ 38
単位数合計	1,733	3,541	3,995	2,984	2,746	2,185	△ 561
摂食機能 療法(件数)	514	667	1,496	2,611	3,235	3,389	154

(単位:単位数)

リハビリテ ーション 合計	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
運動器Ⅰ	10,521	11,616	7,195	13,275	11,331	11,230	△ 101
呼吸器Ⅰ	952	1,330	1,838	4,487	5,112	4,728	△ 384
脳血管Ⅱ	12,643	11,580	5,671	8,957	9,470	7,550	△ 1,920
地域包括 ケア病床分	0	8,046	15,841	16,247	15,351	15,809	458
単位数合計	24,116	32,572	30,545	42,966	41,264	39,317	△ 1,947

2、在宅介護支援事業関係

(単位:人)

訪問看護	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
実利用者数	395	451	513	593	503	508	5
延べ利用者数	1,785	1,815	1,734	2,189	1,920	1,760	△ 160

(単位:人)

訪問 リハビリ	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
実利用者数	670	680	647	696	777	831	54
延べ利用者数	3,524	3,530	3,447	3,680	4,074	4,243	169

(単位:件)

居宅支援	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	差引
介護	776	936	1,117	1,242	1,075	1,119	44
予防	389	524	499	603	609	610	1

メディカルソーシャルワーカー業務統計(平成30年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
援助 件数		471	549	378	439	513	416	416	336	360	413	482	502	5,275
入・外	入院	394	460	327	365	436	350	359	280	303	362	380	401	4,417
	外来	77	89	51	74	77	66	57	56	57	51	102	101	858
新・継	新規	66	77	36	48	83	67	52	73	71	73	78	80	804
	継続	405	472	342	391	430	349	364	263	289	340	404	422	4,471
援助内容	経済的・社会的問題の解決調整	57	41	43	58	75	58	83	38	49	27	44	40	613
	診療関係の援助	315	332	235	314	378	273	246	207	220	268	301	288	3,377
	人間関係の援助	122	114	85	129	149	125	131	61	90	54	100	70	1,230
	心理情緒的問題の援助	106	99	84	141	156	112	128	79	100	60	103	112	1,280
	社会復帰・退院援助	285	421	251	274	306	258	293	216	222	275	288	301	3,390
	関係(者)機関との連携・協力	334	417	256	310	319	272	290	232	257	278	292	287	3,544
面接等対象者	医師	326	406	264	340	448	322	288	235	257	280	320	290	3,776
	看護師	256	312	199	260	276	214	188	162	151	181	199	205	2,603
	職員	17	190	164	209	193	138	162	107	110	133	140	155	1,718
	本人	220	277	187	246	309	236	244	148	196	227	250	262	2,802
	家族	247	312	225	241	276	228	258	176	202	234	266	287	2,952
	関係機関	334	417	256	310	391	272	290	232	257	278	280	287	3,604
	その他	0	10	3	4	5	0	5	0	2	1	1	0	31
援助方法	面接	219	285	194	234	303	224	216	156	177	206	222	225	2,661
	協議	115	116	100	115	141	98	110	93	89	125	126	135	1,363
	訪問	28	8	10	11	7	6	18	13	6	10	8	6	131
	電話	373	441	250	354	413	227	302	235	327	283	312	301	3,818
	文書	92	143	89	116	95	88	113	78	86	131	132	128	1,291
新規紹介経路	医師	49	53	26	34	73	54	41	60	54	55	54	51	604
	看護師	27	38	11	26	46	34	25	42	35	36	41	42	403
	職員	10	10	3	13	19	7	8	4	14	9	12	10	119
	本人	23	40	23	18	38	31	29	30	42	42	42	39	397
	家族	18	30	16	14	32	24	25	26	36	41	44	42	348
	関係機関	47	43	22	25	45	43	34	41	52	53	60	63	528
	その他	0	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	5
介護支援連携指導(400点)		23	10	11	30	15	12	13	10	6	15	15	8	168
退院後訪問(580点)			1											1
退院支援計画(600点)										9	25	14	7	55
退院時共同指導(2000点)		1	1	1									1	4
在宅患者緊急時カンファレンス(200点)														0

3、業 績

論文誌上発表

1. 原著論文

Renal shear wave elastography for the assessment of nephron hypertrophy: a cross-sectional study in chronic kidney disease

Iyama Takuji, Takata Takaaki, Koda Masahiko, Fukuda Satoko, Hoi Shotaro, Mae Yukari, Fukui Takeaki, Munemura Chishio, Isomoto Hajime
Journal of Medical Ultrasonics 2018;45:571-576

Wisteria floribunda agglutinin-positive Mac-2 binding protein predicts the development of hepatocellular carcinoma in patients with non-alcoholic fatty liver disease.

Kawanaka M, Tomiyama Y, Hyogo H, Koda M, Shima T, Tobita H, Hiramatsu A, Nishino K, Okamoto T, Sato S, Hara Y, Nishina S, Kawamoto H, Chayama K, Okanoue T, Hino K.
Hepatol Res. 2018;48(7):521-528

Small Bowel Obstruction Due to Mochi (Rice Cake): A Case Report and Review of the Literature.

Park D, Inoue K, Hamada T, Taniguchi SI, Sato N, Koda M.
Yonago Acta Med. 2018;28:61(1):82-86.

肝硬度が血管形成術治療効果判定に有用であった Budd-Chiari 症候群の 1 例

永原蘭、的野智光、孝田雅彦、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、三好謙一、永原天和、杉原
誉明、大山賢治、岡野淳一、磯本一、小谷美香、矢田晋作、大内泰文
肝臓 2018;59(10):563-570

Transient Exacerbation After Infections in Patients With Autoimmune Hepatitis.

Shigeo Maruyama, Masahiko Koda
Journal of Gastroenterology and Hepatology Research 2018;27(5):2696-2701
DOI:10.17554/j.issn.2224-3992

2. その他

日野病院病院長コラム 第 17 回

くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみ・・・今が旬の病気です

孝田 雅彦

広報ひの 4 月号（平成 30 年 4 月発行）p16, 2018

ご近所のお医者さん 職場でのメッセージ

玉井 嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48723 号（平成 30 年 4 月 2 日発行）p26, 2018

納豆の”最強の食べ方はこれだ！”

赤石定典、松永進、青木敦子、大澤俊彦、麻生れいみ、玉井嗣彦、小林弘幸

「女性セブン」（小学館）第 56 巻（第 15 号）（平成 30 年 4 月 12 日発行）p135-137, 2018

日野病院病院長コラム 第 18 回 肺炎球菌ワクチンを受けましょう

孝田 雅彦

広報ひの 5 月号（平成 30 年 5 月発行）p14, 2018

ご近所のお医者さん 糖尿病網膜症の課題

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48772 号（平成 30 年 5 月 21 日発行）p22, 2018

日野病院飛躍の新年度を迎えて

孝田 雅彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 62 号（平成 30 年 5 月発行）p 2, 2018

近視進行と環境因子 ―今や眼科領域を超える最大のテーマ―

玉井嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 62 号（平成 30 年 5 月発行）p3, 2018

日野病院病院長コラム 第 19 回 血糖値再考

孝田 雅彦

広報ひの 7 月号（平成 30 年 7 月発行）p17, 2018

ロータリー財団委員会

玉井嗣彦

2018-2019 年度クラブ活動状況報告書（平成 30 年 7 月 13 日発行）

P49, 米子ロータリークラブ, 2018

ご近所のお医者さん 認知症と眼治療

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48814 号（平成 30 年 7 月 2 日発行）p24, 2018

米子ロータリークラブ 第 3203 回例会プログラム 就任後挨拶「ロータリー財団委員長」

玉井嗣彦

米子ロータリークラブ週報 No. 2360（平成 30 年 7 月 13 日発行）p2, 2018

酢納豆こそ視力若返りの最強食！目の血栓を溶かして 0.01→1.5 に急上昇

玉井嗣彦

マキノ出版ムック「酢納豆でやせる！病気が治る！」マキノ出版, 東京
（平成 30 年 7 月 18 日発行）p30-31, 2018

日野病院病院長コラム 第 20 回 熱中症 “今年は特別暑い！”

孝田 雅彦

広報ひの 8 月号（平成 30 年 8 月発行）p17, 2018

ご近所のお医者さん 屈折異常を考える

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48863 号（平成 30 年 8 月 20 日発行）p26, 2018

ご挨拶

孝田 雅彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 63 号（平成 30 年 9 月発行）p2, 2018

日野病院病院長コラム 第 21 回 “〇〇の秋、食べ過ぎに注意！”

孝田 雅彦

広報ひの 9 月号（平成 30 年 9 月発行）p17, 2018

浴びすぎに気をつけたいブルーライト

玉井嗣彦

日野病院組合だより せせらぎ 第 63 号（平成 30 年 9 月発行）p3, 2018

栄養ニュース No. 17「大豆の栄養パワーで健康アップ」

日野病院組合だより せせらぎ 第 62 号（平成 30 年 5 月発行）p5, 2018

栄養ニュース No. 18「野菜の成分と期待される効果」

日野病院組合だより せせらぎ 第 64 号（平成 31 年 1 月発行）p5, 2019

日野病院病院長コラム 第 22 回 医療現場での選択と意思決定 その 1

孝田 雅彦

広報ひの 10 月号（平成 30 年 10 月発行）p17, 2018

ご近所のお医者さん ブルーライトに関心を

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48905 号（平成 30 年 10 月 1 日発行）p26, 2018

日野病院病院長コラム 第 23 回 医療現場での選択と意思決定 その 2

孝田 雅彦

広報ひの 11 月号（平成 30 年 11 月発行）p17, 2018

ご近所のお医者さん 流行性角結膜炎対策

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48941 号（平成 30 年 11 月 6 日発行）p22, 2018

米子ロータリークラブ 第 3216 回例会プログラブ 卓話「ロータリー財団月間に寄せて」

玉井嗣彦

米子ロータリークラブ週報 No. 2373（平成 30 年 11 月 30 日発行）p1-2, 2018

ロータリー財団月間に寄せて

玉井嗣彦

米子ロータリークラブ月報 No. 758（平成 30 年 11 月発行）p1, 2018

日野病院病院長コラム 第 24 回 あなたの握力はいくらですか？

孝田 雅彦

広報ひの 12 月号（平成 30 年 12 月発行）p21, 2018

幸せの条件を考える

玉井嗣彦

鳥取大学医学部眼科同門会だより 第 35 号（平成 30 年 12 月発行）p57, 2018

平成最後の年の瀬を迎えて

玉井嗣彦

豊瞳（高知大学医学部眼科学教室同門会誌）第 21 号（平成 30 年 12 月発行）p40, 2018

ご近所のお医者さん 平成最後の年の瀬に

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 48990 号（平成 30 年 12 月 25 日発行）p18, 2018

日野病院病院長コラム 第 25 回 ポリファーマシー ～あなたは無駄な薬をのんでいませんか～

孝田 雅彦

広報ひの 1 月号（平成 31 年 1 月発行）p13, 2019

年頭のご挨拶 ～新年明けましておめでとうございます～

孝田 雅彦

日野病院組合だより セセラギ 第 64 号（平成 31 年 1 月発行）p2, 2019

新春放談 ―眼科のあたらしい潮流―

玉井嗣彦

日野病院組合だより セセラギ 第 64 号（平成 31 年 1 月発行）p3, 2019

日野病院病院長コラム 第 26 回 あなたの肝臓は軟らかい？ ～肝硬度測定のスゝめ～

孝田 雅彦

広報ひの 2 月号（平成 31 年 2 月発行）p17, 2019

ご近所のお医者さん 眼科の新しい潮流

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 49038・9 号（平成 31 年 2 月 13 日発行）p22, 2019

日野病院病院長コラム 第 27 回 「眠れぬ夜」で困っていませんか

孝田 雅彦

広報ひの 3 月号（平成 31 年 3 月発行）p17, 2019

ご近所のお医者さん 犬・猫由来の感染症

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版 第 49073 号（平成 31 年 3 月 19 日発行）p26, 2019

学会等発表

1. 国内学会

第 7 回中国門脈圧亢進症研究会（平成 30 年 6 月 8 日 岡山）

経皮的血管形成術により食道静脈瘤が著明に改善した Budd-Chiari 症候群の 2 例

永原 蘭、永原天和、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、三好謙一、的野智光、杉原誉明、大山賢治、法正恵子、岡野淳一、孝田雅彦、磯本 一

日本超音波医学会第 91 回学術集会（平成 30 年 6 月 9 日 神戸）

当院における, fusion-imaging を応用した腹部超音波技術均てん化への取り組み
三好謙一、永原蘭、松木由佳子、山根昌史、的野智光、磯本一、孝田雅彦

在宅医療における廉価版タブレット型エコーの可能性と問題点

孝田雅彦、加藤雅之、永原 蘭、岡本敏明、三好謙一、的野智光、永原天和、杉原誉明、朴 大
昊、井上和興

第 54 回日本肝臓学会総会（平成 30 年 6 月 14-15 日 大阪）

NAFLD モデルマウス (FLS, FLS-ob/ob) の肝繊維化進展と ER ストレスの関連

永原蘭、的野智光、孝田雅彦、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、三好謙一、杉原誉明、大山賢
治、法正恵子、岡野淳一、磯本一

当院における de novo B 型肝炎による再活性化の実態

的野智光、永原蘭、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、三好謙一、大山賢治、法正恵子、岡野淳
一、孝田雅彦、磯本一

血清内 miR-379 発現レベルは NAFLD の発症、進展および、NAFLD 患者におけるコレステロール代
謝と関連する

岡本欣也、岡本敏明、三好謙一、的野智光、杉原誉明、平松憲、兵庫秀幸、飛田博史、佐藤秀一、
川中美和、原裕一、日野啓輔、茶山一彰、孝田雅彦、磯本一

第 9 回日本プライマリーケア連合学会学術大会（平成 30 年 6 月 16-17 日 津）

在宅医療における廉価版タブレット型エコーの可能性

孝田雅彦、加藤雅之、朴 大昊、井上和興、浜田 紀宏、谷口 晋一

病院職員に対する抗インフルエンザ薬のインフルエンザ予防効果

孝田 雅彦、山形 睦美、熊野健太郎、加藤 雅之、長尾 孝夫、朴 大昊、井上 和興、濱
田 紀宏、谷口 晋一

第 57 回 全国自治体病院学会（平成 30 年 10 月 18-19 日 福島）

退院後の自宅改修や福祉用具の使用状況からみた退院前訪問指導の現状と問題点について
中村弓子、孝田雅彦

JDDW2018（平成 30 年 11 月 1 日 神戸）

ラジオ波焼灼術後の効果判定における MRI 従来法と Hepatic Guide Evaluation の比較

的野智光、永原蘭、松木由佳子、山根昌史、岡本敏明、三好謙一、永原天和、杉原誉明、大山賢
治、法正恵子、岡野淳一、孝田雅彦、磯本一

第 110 回日本消化器病学会中国支部例会（平成 30 年 12 月 1 日 出雲）

イレウスによる入院を繰り返し、診断に難渋した高齢発症成人腸回転異常症の 1 例

下坂拓矢、佐々木修一、熊野健太郎、田本明弘、佐藤尚喜、濱副隆一、孝田雅彦、坂口琢紀、八島一夫、磯本一

肝硬変および肝細胞癌におけるサルコペニアの臨床的意義

的野智光、孝田雅彦、永原天和、杉原誉明、磯本一

第 49 回日本消化器がん検診学会中国四国地方会（平成 30 年 12 月 8 日 鳥取）

B 型肝炎ウイルス関連初発肝細胞癌の臨床的背景の因子の検討

的野智光、三好謙一、永原天和、杉原誉明、八島一夫、磯本一、孝田雅彦

消化器音波研究会（平成 31 年 1 月 15 日 米子）

超音波エラストグラフィーの臨床応用

孝田雅彦

第 34 回日本静脈経腸栄養学会（平成 31 年 2 月 14-15 日）

栄養士地域連携における効率的な退院時栄養情報提供についての検討

白岩幸水恵、仲石康子、松本さつみ

2. 研究会 その他

「看護の日」イベントでの講演（平成 30 年 5 月 12 日 金持テラスひの）

在宅看取りの体験をもとに

野坂由貴子

在宅介護を始める前に

近藤千富美

日野町ぽかぽか教室（平成 30 年 5 月 25 日 下黒坂、平成 30 年 10 月 22 日 舟場）

認知症サポーター養成講座

朝野純子

高尾カフェ講演会（平成 30 年 5 月 17 日 日野町高尾カフェ）

地域医療；日野病院の役割

濱副隆一

米子医療センター附属看護学校特別講義（平成 31 年 6 月 3 日 米子医療センター附属看護学校）

これからの地域医療：人口動態と医療需要

濱副隆一

鳥取県立白鳳高校社会人講師（平成 30 年 6 月 8 日 白鳳高校）

看護師の職業紹介・在宅看取りの体験をもとに

野坂由貴子

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（平成 30 年 6 月放送）

日野病院だより「高齢医療の特徴について」

濱副隆一

米子医療センター附属看護学校特別講演（平成 30 年 6 月 18 日 米子医療センター附属看護学校）

医療制度改革とこれからの地域医療

濱副隆一

米子ロータリークラブ 第 3203 回例会（平成 30 年 7 月 13 日 ANAクラウンプラザホテル米子）

ロータリー財団委員長（就任後挨拶）

玉井嗣彦

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（平成 30 年 7 月放送）

日野病院だより「リハビリ運動」

西村恵、吉原尚子、中村弓子、小巖香織

TBS「名医のTHE太鼓判」（平成 30 年 8 月 13 日放送）

「新事実！目に良い食材”酢納豆”」についての解説担当

玉井嗣彦

黒田耕ガバナー補佐訪問米子RCクラブ協議会

（平成 30 年 8 月 24 日 ANAクラウンプラザホテル米子）

ロータリー財団委員会（委員会報告）

玉井嗣彦

まちなかカフェ根雨講演会（平成 30 年 8 月 27 日 日野町まちなかカフェ）

日野病院のこれまでの歩みとこれからやるべきこと

濱副隆一

介護職員初任者研修に係る講義（平成 30 年 8 月 28-29 日 日野高校）

老化の理解：高齢者に多い病気と生活上の留意点

バイタルサイン測定・麻痺患者の移乗・食事介助・口腔ケア・感染対策

池田清香

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（平成 30 年 8 月放送）

日野病院だより：「看護の宅配便」

池田清香、山川千秋、久光優希、松本摩耶、松本美紀

T-HOC ひのセミナー研修（在宅医療・看護体験コース集合研修 ナイトセミナー）

（平成 30 年 9 月 7-8 日 日野町リバーサイド）

山間地の訪問看護の実際

濱田辰美

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（平成 30 年 9 月放送）

日野病院だより：「院内処方について」

井上和興、川上靖、木戸脇久美

江府町女性会福祉活動（平成 30 年 10 月 12 日 江府）

認知症キャラバンメイトの活動 ―認知症サポーター養成講座―

影山光恵

日野高校講演（平成 30 年 11 月 22 日 日野高校）

産業社会と人間

石飛明日香

日野病院院内履修報告会（平成 30 年度 日野病院）

認知症対応力向上研修

山川千秋 朝野純子

ファーストレベル受講

松本真理子

看護診断研究会

木村多亜子

緩和医療学会

安達節子

新人看護職員指導研修

金田明子

日野病院院内研究発表会（平成 30 年 10 月 12 日 日野病院）

継続看護におけるカンファレンスの取り組みと課題

岡本直子、小川香織、亀尾加奈子、竹永真由美

過疎地域の小規模病院における看護師負担軽減への取り組み—経管栄養に関わる業務改善—

山川千秋、生田絹子、吉川玉枝、長井淳子、長尾純子、安達節子、瀬藤拓海

伊藤颯哉、影山光恵、野坂由貴子

新人看護師教育に対してのプリセプターが感じる思い

平石愛里、生田磨美、野坂由貴子、木村多亜子

まちなかカフェ根雨 講演会（平成 30 年 10 月 22 日 まちなかカフェ根雨）

病を防ぐ生活習慣

濱副隆一

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（平成 30 年 10 月放送）

日野病院だより：「インフルエンザ予防接種」

山形睦美

米子ロータリークラブ 第 3215 回例会（平成 30 年 11 月 9 日 ANAクラウンプラザホテル米子）

ロータリー財団月間に寄せて（卓話）

玉井嗣彦

黒坂診療所健康講話（平成 30 年 11 月 13 日 日野町公民館）

健康を維持する生活習慣 第 1 話

濱副隆一

日野町職員研修会（平成 30 年 11 月 20 日 日野町庁舎）

日野地区の医療をどう守るか！ これまで&これから

濱副隆一

退院調整看護師支援フォローアップ研修（平成 30 年 11 月 24 日 鳥取看護協会）

患者・家族と医療者の認識のずれ ～退院後すぐに再入院された患者の退院調整を行って～

近藤千富美

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（平成 30 年 11 月放送）

日野病院だより：「食事提供の取り組み」

白岩幸水恵

黒坂診療所健康講話（平成 30 年 12 月 11 日 日野町公民館）

健康を維持する生活習慣 第 2 話

濱副隆一

日野町議会と日野病院との意見交換会（平成 30 年 12 月 17 日 日野町庁舎）

地域医療を守る ～日野病院の取り組みと課題

濱副隆一

伯耆町保健委員会（平成 30 年 12 月 20 日 伯耆町溝口分庁舎）

地域医療の充実を求めて；米子医療センターと日野病院の立場から

濱副隆一

第 15 回 鳥取県西部自治体病院看護研究発表会（平成 30 年 12 月 1 日 西伯病院）

経管栄養専用ワゴン購入・懸濁ボトルの導入と栄養形態の変更

山川千秋、生田絹子、吉川玉枝、長井淳子、長尾純子、安達節子、瀬藤拓海

伊藤颯哉、影山光恵、野坂由貴子

新人看護師教育に対してプリセプターが感じる思い

平石愛里、生田磨美、野坂由貴子、木村多亜子

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（平成 30 年 12 月放送）

日野病院だより：「訪問看護」

池田清香

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（平成 31 年 1 月放送）

日野病院だより：「ピロリ菌」について

下坂拓矢

鳥取県日野森林組合安全大会（平成 31 年 2 月 8 日 日野森林組合）

血管の老化と細胞の老化を防ぐ生活習慣

濱副隆一

高尾カフェ健康講話（平成 31 年 2 月 14 日 日野町高尾カフェ）

インフルエンザの感染予防対策

濱副隆一

日野病院院内講演会（平成 31 年 2 月 22 日 日野病院）

鳥取県西部地域の医療情勢；人口動態と医療需要
濱副隆一

日野病院看護宅配便（平成 31 年 2 月 26 日 ）

インフルエンザから身を守るには！
濱副隆一

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（平成 31 年 2 月放送）

日野病院だより：「血糖値スパイク」
井上碧

中海テレビ放送（チャンネルひの） 週刊ひのニュース（平成 31 年 3 月放送）

日野病院だより：「骨粗鬆症とその関連骨折」
藤田章啓

鳥取県看護協会講演（平成 31 年 3 月 9 日 鳥取看護協会）

看護師確保対策の取り組みについて
池田清香

4、新聞記事等

ご近所のお医者さん

(毎日新聞鳥取版)

玉井 嗣彦 名誉病院長

管理者の一人として勤務している日野病院の広報誌「せせらぎ」の新春号で、どのような職場であれ、共同生活を行う上で機構上、上下の関係は避けて通れないので、部下統括の秘訣として、上司は常に部下の存在を認める「承認」のメッセージの伝え方に配慮する必要がある旨をせんえつながら述べました。

その後、配布先の読者より、参考にしたいたとの反響がありましたので、再び本紙上で話題に採り上げました。

自己主張が強く、感情表現がうまい「プロモータータイプ」の人には、「この前の業績発表はとても素晴らしいかった。業界紙への報告も、君以外に適任者はいないと思うよ」など

ご近所のお医者さん

□ 481 □

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



と持ち上げて、仕事を任せるのが有効です。

自己主張は強いけれども、感情表現や気配りが下手な「コントローラータイプ」には、指図されるのを嫌がり、人を容易に信用しない人が多いので、性格を逆手にとらえて、「君は自分の仕事仲間をま

も助かっているよ。あて行いましたが、すべりがとう」など、目ごての人をきっちり分類できる訳ではありません。複数に当てはまったり、状況によっては変化したりする部下もいるので要注意です。

自己主張が弱かったり抑えていたりし、感情表現も下手な「アナライザータイプ」の人には、抽象的な褒め言葉、金銭、健康、睡眠、性欲、食べ物、子供の前の業績発表であの孫の繁栄などいろいろ

職場でのメッセージ

とめるのがうまいね。今後頼んだぞ」などとメッセージを送れば、信頼してもらえたのだと感じ、十分に力を発揮します。

図は、非常に分かりやあるが、欲しても欲しなくてよかったよ」なても決して満たされなとど、何がどのようにい渴望なる欲望は、自優れていたのかを具体的に盛り返むことが欠かせません。

この四つのタイプの「ネギー」の金言を、上司は立場上無視できないものと思われま

ど、気配りができる「サポータータイプ」には、科大学の畑村義雄教授が現役時代に述べてお互い楽しい人生を送りたいものです。

世界は超高齢社会を迎えつつあり、それに伴い記憶障害や見当識障害(時や場所がわからなくなる)を中心とする「認知症」患者は増加の一途をたどっています。先に本欄でも触れましたが、我が国では65歳以上の7人に1人に認知症を認め、本症患者は2012年時点で約462万人と言われています。2025年には約700万人に達すると厚生労働省は試算しています。

眼科では白内障、緑内障、加齢黄斑変性などの加齢性眼疾患を有する患者さんに多くみられますが、65歳以上の眼科受診患者では、16・2%が認知症を有するとも言われています。

認知症を伴う神経変性疾患にはアルツハイマー病、レビー小体型

ご近所のお医者さん

□
491
□

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



認知症と眼治療

認知症、パーキンソン病、大脳皮質基底核変性症などがあります。これらの神経変性疾患による視覚機能の障害は、視空間認知障害、幻視、錯視、視覚性疲労、色覚障害、視野狭窄などさまざまありますが、これらの視覚機能障害を眼治療で治すことはできません。

うつ状態の改善が大きい患者さんほど認知機能の改善が良好であるとの報告も最近散見されます。我々もしばしば体験しています。したがって白内障手術治療が抑うつ状態を改善させ、最終的に認知機能を向上させたと推測されます。

これらの結果から、加齢性眼疾患の進行に

他の診療科が連携し、重度に障害された患者は視覚に関連した抑うつ状態になっており、神経変性によるものでない「偽認知症」を発症している可能性も考えられます。

白内障、緑内障、加齢黄斑変性などの治療によって高齢者のADL・QOLが改善すると、患者のみならずその介護者のQOLも向上することが多いので、高齢社会における認知症患者の眼治療は、社会的、経済的に重要な役割を担っています。

64歳以上の眼科受診患者の約20%に抑うつ傾向がみられますが、この種の患者は眼科のみならず他科の受診に積極的でない実情もあります。そこで眼科と

しかし、日常眼科診療において、軽度の認知症を伴う白内障患者に手術を行い、術後視力が改善すると、患者の日常生活能力(ADL)や生活の質(QOL)が著しく向上することを経験しています。同時にみられた抑

と、患者のみならずその

現在多くの学校で実施されている視力の測定方法は、通常「教室での見え方」を基準にしたものであり、1・0が見えればA、0・7が見えればB、0・3が見えればC、0・3が見えなければDと判定しています。

視力障害の原因は主に屈折異常ですが、それ以外の眼疾患やストレス障害などによる心因性のももの指摘されておられ、A以外の児童生徒は、眼科専門医のみでなく、精神科医などへの受診が勧奨されています。屈折異常には、近視をはじめ遠視、乱視がありますが、近視の多くは学童期に眼軸長が過度に伸びることによる軸性近視(学校近視)で、眼鏡などによって正常視力まで矯正可能な単純近視が多いが、まれに病的近

ご近所のお医者さん

496

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



屈折異常を考える

視に進行することがあります。病的近視の多くは、先進諸国における失明原因の上位にあり、日本においては視覚障害者の原因疾患の5位となっています。先に本欄でも触れましたが、両親とも近視の児童は、両親いずれも近視でない児童に比べ、近視になるリスクは8倍高く、片親のみが近視の児童は3倍高いことが明らかになっています。従って、小児期の近視進行は、素質のないし遺伝の影響が強いのですが、染色体レベルまで踏み込んだゲノム研究が未完成の今日、環境要因として近

業(近くを長時間見る)に近く、眼鏡などで矯正する必要があります。現在、世界各地で近視進行抑制の研究として、0・01%の低濃度で、調節麻痺薬アトロピン点眼▽累進焦点眼鏡▽多焦点コンタクトレンズ(CLI)▽睡眠時にCLを装着するオルソケラトロジーなどが行われていますが、効果や定期検査が必要で

が著明で安全性も確かな治療法はまだ確立されていません。スマートフォンやゲーム機類の使用方法などを親子で相談し適切に使用すること、屋外の活動を活発に行うことなど普段からの習慣付けが大切かと思われる一方、黒板の字が見えにくくなったなら、眼鏡などで矯正する必要があります。近視は、近方のみならず遠方を見るときにも常に調節力を使うので眼精疲労になりやすくなり、眼鏡を使用した方が良い場合が多い。乱視の場合、正乱視はCと眼で矯正できるが、不正乱視の場合、角膜移植の対象となります。

先に本欄でも指摘したとおり、ブルーライトへの対応の遅れは、メタボリックシンドローム、不眠症などの社会問題につながることで十分予想されます。最近、日本医師会の健康情報だよりも、浴びすぎに対する注意と関心が呼び掛けられていますので、再度その対策を中心に、話題に取り上げました。ブルーライトは、460ナノ前後の波長を有する自然界にある青色可視光の一部です。紫外線と同じように太陽から発せられ、日没後は少なくなるので、日の出とともに起きて夜は眠る、というヒトの体内時計(サーカディアンリズム)の調整にまで強く関係していることが近年指摘されています。

ご近所のお医者さん

□ 501 □

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



ところが、ブルーライトまでスマホなどを目にしてしまうと考えると、近頃使った発光ダイオード(LED)照明、機器や液晶画面、スマートフォンなど電子機器の普及に伴い、身近な場所でもブルーライトをたくさん浴びるようになっています。元々は浴びることのなかった夕方や夜の時間帯で、可視光線が目に入るようになってきました。以前から紫外線などのエネルギーの高い波長は網膜に障害を起すので紫外線防止の方策がいろいろとられてきましたが、可視光線

ブルーライトに関心を

であるブルーライトで障害毒性を發揮するのは光障害は起きないという考え方が今まで支配的に対策は何もとられてきませんでした。網膜中央の黄斑部(マacula)に多く存在する黄斑色素(ルテイン)が、過剰なブルーライトを吸収し、視力や色覚をつかさどる錐体に光障害が及ばないように、生体控えることや就寝直前のサンングラスの役目をブルーライトです。

先に本欄で取り上げた「はやり目」の代表である「流行性角結膜炎」は、夏季をピークとする季節変動のみられる疾患でしたが、地球温暖化の影響か、今年は夏季を問わず発症をみているので、緊急の課題として、再度話題に取り上げました。

本症は通常、アデノウイルス8型(ときに4型、7型、19型、37型)の感染により発症し、我が国では年間約90万〜130万人が罹患すると考えられています。かつて話題にしたアデノウイルス3型が主原因の「咽頭結膜熱(プール熱)」は子供に多いものです。しかし本症の場合、年齢は関係しません。また本症は、プール熱が5日〜1週間程度と潜伏期間が短いのに対し

ご近所のお医者さん

□ 506 □

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



流行性角結膜炎対策

て、1〜2週間と若干く問題はありませんが、経過中、上皮性角膜炎や角膜上皮のひらなみられるものでは、眼痛、異物感に加えて羞明がいつまでもみられ、ビタミンB2、還元グルタチオン、抗生物質、角膜保護剤などの各種薬剤の点眼は、耳前リンパ節の腫脹が特に特徴で、ないし内服で寛解をみずから、鑑別診断上有ります。しかし経過中、角膜炎にいわゆる「ほし」

ル点眼薬のない今日、本症は接触感染によって伝播するので、診断確定後は1〜2週間程度、患者さん自身をそれぞれの現場から、治療しながら眼科医師の診断書を得て、隔離する必要があります。

手洗い励行が感染防止の基本ですが、目をさわった後は石鹸を使

用な所見となります。発症しますと1週間が経過すると、充血、流涙、水様性の眼脂、異物感など目が開けられないほどのひどい症状がでます。これらの症状が1週間程度続いた後、自然に生物質点眼で対応します。その他、角膜保護剤の点眼投与で対処しますが、抗アデノウイルス感染対策にご協力を

が生じた場合には、消去するまでに1〜2年かかることがあります。現在のところ、炎症を抑えるためのステロイド点眼や細菌の混合で流水の下、十分に手洗いをしています。患者の触れた場所は、消毒用アルコールで完全に滅菌します。

私事にわたって恐縮ですが、私は平成元年(1989)年6月31日まで、高知医大(現・高知大)初代医学部教授として8年3カ月勤務し、7月1日より平成13(2001)年3月31日まで鳥取大学医学部教授に配置換えとなり、医学部附属病院長など併任しながら11年9カ月、母校鳥取大学で教職生活を送りました。

平成13年4月1日より鳥取大学名誉教授の肩書を得て現在、大学関連派遣病院の一つである日野病院に名誉病院長として赴任していますが、早くも18度目の平成最後の年の瀬を迎えました。

医学部の職場にあつては「和」を大切に、一門の統括者としては「和・信・仁・厳・勇」の精神で教育、診療、

ご近所のお医者さん

511

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



平成最後の年の瀬に

研究はまたた行政に、関係各位のご協力、ご協賛を得て頑張ってきました。

特に若い医学徒、医局員諸氏に対する接し方は、教育者としてはいつの時代も容易ではありませんが、「予は哲学を教えるのではなく、哲学することをお教える」という古代ギリ

は、君が国家にで、現在の日野病院で、日常の眼科診療、手術に、眼科専門医といえど、一人では、その地域、大学に置き換えても含養のある言葉ではないかと今でも確信しています。

各地域の大学関連派遣病院は、高知県でも同様に、常に地域とともにあり、地域のため、つは早く、米寿も遠く、

つづられます。地域のくなく私ですが、健康医療を支えることこそ長寿の維持、延命のためには「朝起きたとき、その日にしなければならぬ仕事がある」と、これは深層心理学者のユングの幸せの条件の一つですが、平成最後の年の瀬を迎えて、お陰様で恙なく元気で病院勤務を続けていますので、他事ながらご安心ください。

医学部6年の最終講義で、私は学生にケネディ元米大統領の「国としても微力を尽くし、家が君に何をやるかです。」

病院管理者の一人として勤務している日野病院の広報紙「せせらぎ」の新春号でも話題にしましたが、新年を迎えて、本欄でも「眼科の新しい潮流」を眼科専門医として取り上げました。

失明予防協会の、40歳以上を対象とした全国調査によりすると、熟年者の30人に1人は緑内障の可能性があることを指摘しています。老眼を自覚した時点において、眼圧、眼底、視野などの精密検査を受け、不幸にして発見されても、適切な処置を受ければ失明という悲劇を招かなくて済む段階まで医学は進歩していますので、自ら検診を受ける姿勢が大切です。

糖尿病網膜症のために失明する患者さんが増加しています。早期発見・早期治療の機会

ご近所のお医者さん

□ 516 □

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



を失っている人に多くみられますので、糖尿病と診断されたら、眼科との連携のもとに内科的治療を受け、必要な時には光凝固術や抗VEGF(血管内皮増殖因子)製剤の眼球内投与などの適切な処置を眼科で受けなければなりません。

抗VEGF製剤は、炎症性疾患の病態にもVEGFが関与することが示され、抗VEGF薬の局所投与が試みられています。成果を期待したいものです。

現在年間100万件を超える白内障手術が行われていますが、国内で行われていますが、眼内レンズ移植術の普及で、術後快適な視力が得られます。

一方、これらの疾患のみならず、眼部のさまざまな腫瘍性疾患、白内障術後のQOV・

眼科の新しい潮流

失明を防ぐには、糖尿病と診断されたら、眼科との連携のもとに内科的治療を受け、必要な時には光凝固術や抗VEGF(血管内皮増殖因子)製剤の眼球内投与などの適切な処置を眼科で受けなければなりません。

抗VEGF製剤は、炎症性疾患の病態にもVEGFが関与することが示され、抗VEGF薬の局所投与が試みられています。成果を期待したいものです。

現在年間100万件を超える白内障手術が行われていますが、国内で行われていますが、眼内レンズ移植術の普及で、術後快適な視力が得られます。

ペットの代表として飼育されている犬や猫は可愛い動物ですが、人見知りに行動する動物ですから、気分によって、時に愛情表現からかもしれないませんが、咬みついたり、ふいに引っ掻いたりします。猫の爪は細く非常に鋭利なため、引っ掻かれても組織の挫滅が少なく、縫合なしでも自然に傷は閉じやすく抗生物質の塗布程度で通常ことなきを得ます。しかし、咬まれた場合、以前本欄でも報告したように、通常29%から50%に創傷感染がみられ、その原因菌の50%以上に、パストレラ・マルトシダという、猫の気道ないし消化管に常在するグラム陰性桿菌が検出され、本菌には一般に、ペニシリン系、第2、第3世代セファロスポリン、テ

ご近所のお医者さん

□
521
□

日野病院(日野町)

玉井嗣彦名誉病院長



犬・猫由来の感染症

トラサイクリンに加え、傷・掻傷以外に、傷口ち死亡は19例)が確認でクロラムフェニコールの投与が有効とされ、感染予防のためには、要注目です。犬・猫の口腔内に常在しているカプノサイトファーガ菌による吐き気、頭痛などを前駆症状として発症し、重症化した例では敗血症が最も多く、その約26%は亡くなるとされています。血液培養が陽性になるのに数日を傷が小さくても感染する場合があります。

傷・掻傷以外に、傷口ち死亡は19例)が確認でクロラムフェニコールの投与が有効とされ、感染予防のためには、要注目です。

犬・猫の口腔内に常在しているカプノサイトファーガ菌による吐き気、頭痛などを前駆症状として発症し、重症化した例では敗血症が最も多く、その約26%は亡くなるとされています。血液培養が陽性になるのに数日を傷が小さくても感染する場合があります。

人の臨床所見に依りて、早期に抗菌薬等による治療を開始することが重要となります。咬傷に対する抗菌薬としては、ペニシリン系、第2、第3世代セファロスポリン系、第2、第3世代セファロスポリン、テ

要することから、早期に診断が可能な検査方法で、万が一の時、医療機関に咬傷歴を伝える必要です。本症は、米国で1976年に最初に文献報告されましたが、その後2017年来までに世界中で約500人の患者さんが報告されています。本邦では1993年から2017年未までに、計93例(うすね。

日野病院病院長コラム

(広報ひの)

日野病院
病院長コラム

第17回

くしゃみ、鼻水、鼻づまり、 目のかゆみ…今が旬の病気です

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



見た目以上にづらい花粉症
今もどんどん増加しています

上記の症状は何の病気に
よるものでしょうか？

風邪？症状はよく似てい
ますが、花粉症です。風邪
はウイルスによる感染症
花粉症はアレルギー疾患で
す。スギによる花粉症が50
年前に発見され、その後ど
んどん増加しています。

花粉症の原因はスギだけ
でなく、ヒノキ、ブタクサ、
イネ科などがあり、花粉の
飛散の時期が異なるため、
発症時期も2月から5月に
発症する患者さんと8月か
ら10月に発症する患者さん
がいます。

日本人ではスギ花粉症が
70%と圧倒的に多いよう
です。私も花粉症ですが、花
粉の飛散の多い年にだけ発
症します。花粉症状は仕事

や学業に支障をきたし、見
た目以上にづらいものです。

花粉に悩まされない

快適な生活を送るためには

今は、良い薬があり、十
分に対応すればかなりの改
善が見込めます。まずは花
粉から遠ざかること、つま
り花粉の飛散の多い日には
外出を控える、マスクをす
る、服についている花粉を払
い落として家に入るなど生
活面での注意が必要です。

花粉症の程度は個人差が
大きいので一度病院での診察
を受け、重症度に合った治療
を受けることが大切です。抗
アレルギー剤の内服、点眼薬、
点鼻薬など症状に合わせて
処方してもらって下さい。

最近、スギ花粉症に対す
る新たな治療法として、舌
下免疫療法が行われるよう
になりました。これはワク
チンを薄い濃度から少しづ
つ濃くして舌下に投与しま
す。体を慣らしていこうとい
う治療法です。副作用の充
分な観察が必要のため、専
門医のみが治療を行います。
花粉症は予防と治療を計画
的に行えば、快適な生活を
取り戻すことができます。

日野病院
病院長コラム

第18回 肺炎球菌ワクチンを受けましょう

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

あまくみると危険。今や、命にかかわる病気です

日本人の3大死因をご存じですか？第一位 がん、第二位 心臓病、第三位は？

以前は脳血管疾患でしたが、今は肺炎です。最近、高齢者の肺炎が急速に増加しています。2016年には11万4千人の方が肺炎で亡くなりました。65歳以上の市中肺炎（一般家庭で生活している方に起こる肺炎）の30%が肺炎球菌によるもので、最も多い原因菌です。

肺炎球菌は病原性が強く、肺炎だけではなく、髄膜炎、中耳炎、副鼻腔炎も起こし、多くの患者さんが

亡くなっています。インフルエンザにかかった後、肺炎球菌性肺炎になる方が25%もいるといわれています。

免疫力の低下する65歳以上は特に注意。

ワクチン接種で予防を

特に、免疫力が低下した患者さんは高危険群です。65歳を過ぎると健康そうに見える方もすでに免疫力は低下してきています。つまり、65歳以上の方はすべて肺炎球菌性肺炎になりやすいということなのです。

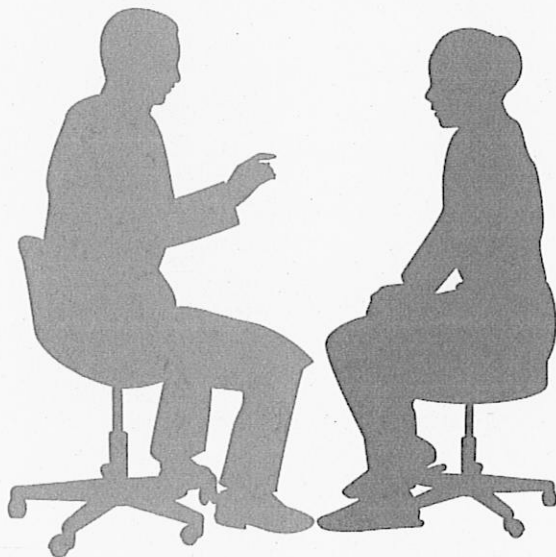
これを予防するのが肺炎球菌ワクチンです。そのほかにもワクチンを受けるべき方は慢性の心臓病、呼吸器疾患、糖尿病、腎不全、肝硬変のある方、脾臓を摘出した方、免疫抑制剤を投与される予定の方です。もちろん、100%予防できるわけではありませんが、重症化も防ぐことができ、



インフルエンザワクチンと両方打てば、死亡率を81%減少できたというデータもあります。

毎年接種する必要なし。費用も助成される機会に接種を

つまり、5人中4人を助けることができたことになります。「ワクチンは副作用が…」と思っている方もあるかもしれませんが。しかし、注射部位が少し腫れたり赤くなる程度でインフルエンザワクチンとほとんど変わりません。



アレルギーの方以外は心配ありません。毎年打つインフルエンザワクチンとは異なり、一回接種すると5年たっても抗体は80%残っており、5年以上あけることができます。日野町はワクチン接種の費用助成を行っています。対象の方には町から連絡の通知が届いていると思います。ぜひ、この機会にワクチンを受けましょう。

転ばぬ先の杖、攻撃は最大の防御なり、予防に勝る治療はありません。

日野病院
病院長コラム

第19回 血糖値再考

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



知らないうちに
血糖を上げていませんか

皆さんは自分の血糖値を知っていますか？

「私は検診で90だったから大丈夫だ」「私は病院で138だったから心配だわ」などなど。しかし、本当の血糖値は食事との関係を見ながらチェックする必要があります。どのような食事をしていても血糖が70から140に収まっているのが正常です。

しかし、糖の処理能力が落ちると食事内容によって食後の血糖は変わってきます。コーラやジュースのようにすぐに吸収されるものを飲むと血糖は急激に上がります。水分をとっているだけのつもりがどんどん血糖を上げる結果になります。これがペットボ

トル症候群です。

糖尿病患者にとって

手間のかかる血糖のコントロールは必須

糖尿病の患者さんにとって血糖を測定することは大変重要です。食事の前後に一日に何回も血糖を測定することによって、コントロールの状況を診断する必要があります。

特に、インスリンを注射している患者さんはインスリンや内服薬が効きすぎて低血糖になる危険性もあるので、自己血糖測定は欠かすことができません。自己血糖測定は指先にちよつと針を刺して血糖を測定できますが、それでも少し痛いので、何度も測定する必要があるので大変面倒です。

日野病院でも導入予定

日常生活で気軽に血糖測定できる優れモノ

最近、二の腕に小さなシールを張るだけで15分ごとに2週間連続して血糖を測定してくれる装置（Free style リブレ®）が開発されました。シールをつけたままで仕事もできますし、お風呂にもそのまま入

れる優れものです。

インスリン治療中の患者さんはもちろん、すべての糖尿病患者に一度は使用して日常生活での血糖値をチェックしてもらいたいと思います。糖尿病予備群の方にも自分の食事が血糖にどのような影響を与え、どのように修正すればいいのかを考える上で大変参考になると思います。当院でも近々導入予定ですのでご希望の方はご相談下さい。

高すぎず、低すぎず
血糖のパターンについて

では、実際にどのような血糖のパターンがあるのでしょうか。健康者は食事をとると血糖が上昇するとともにインスリンが素早く分泌されるため、血糖はそれほど上がらず、140以下に収まり、血糖の上昇が収まれば速やかにインスリンの分泌も減少するため、血糖が下がりすぎることもしません。

糖の処理能力が低下し始めた初期の患者さんでは、血糖が上昇してもインスリンがすぐには分泌されず、高血糖になつてから慌ててインスリンを出すためにインスリンが出て過ぎてしまい低血糖が起こつ

てきます。つまり、食後早期の高血糖と後期の低血糖となります。

さらにインスリンの分泌が悪くなると、食後どんどん血糖が上昇し、2時間以後も高血糖が続くことになります。また、血糖は正常値に戻らず、空腹時でも高血糖になります。こうなると完全な糖尿病のため、血糖降下剤やインスリン注射が必要となります。

血糖値を知ることが
生活習慣、糖尿病予防の
一つの指標に

肥満は全身の臓器でのインスリンの働きを低下させます。過食、飲酒、加齢はインスリンを産生する細胞を弱らせてインスリンの分泌を減少させます。余分な炭水化物の摂取を減らし、運動することによってインスリンの必要量を減らし、インスリン産生細胞を休ませることが長期的に糖尿病を防ぐ上で重要です。

自分の行っている食事療法や運動が本当に役に立っているのか知る上で、一日血糖の変化を知ることが大変有益な情報となります。ぜひ一度調べてみませんか。

日野病院
病院長コラム

第20回 熱中症 “今年は特別暑い！”

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



豪雨の後は
「災害」のような酷暑。
今一度、熱中症に注意を

今年の7月は大雨に見舞われ、全国で200人以上の方が亡くなられました。幸い日野町では犠牲者はなく、一時的な断水だけでした。しかし、鉄道は今も回復せず（7月下旬の時点）、困っている方も多いかと思えます。

大雨の後は猛暑がやって来ました。全国では40度を超えた地区も複数個所見られ、鳥取県でも38度と、高熱を出しているのと変わらない気温となっています。そこで一番心配なのは、熱中症です。昨年8月の町報にも熱中症について書きましたが、再度注意を促した

いと思います。
猛暑の中での農作業、
本当にしないといけません
か？自分の体を第一に

熱中症はなんと言っても予防が重要です。時々、30度を超えるかんかん照りの中、畑や田んぼで農作業をしておられるお年寄りを見かけます。本当にその時間にしないといけないのでしょうか。

時間を朝早くにすると、夕方気温が下がってからすると、工夫できないものではないか。自分の体を過信するのはよくありません。若いころはできたことであつても今はできないことの方が多くはあります。自分の体を第一に考えて、無理な負担をかけることです。

水分の摂取と休息は
こまめに

第二はこまめな水分摂取です。「のどが渴いたら飲む」では遅すぎます。のどが渴く前に飲む。汗が多いときはスポーツドリンクを半分に薄めたぐらいの飲料が高齢者にはいいと思います。水分はいつでも飲める

ように携帯しましょう。ペットボトルに水やお茶を入れて凍らせておけば、溶けた水を飲むことができますし、ペットボトルを首筋やおでこに当てて体を冷やすこともできます。「家はすぐ近くだから」「飲みに行けばいい」と思っている人の多くは、のどがからからになるまで水分をとらずに手遅れになってしまいます。人間というのは面倒くさがり屋なのです。第三は時間おきに日陰で休むことです。くたびれる前に頻回に休憩を取って下さい。

これまでの考えでは太刀打ちできない今の酷暑。室内でも熱中症、命の危険が

熱中症は外だけで起こるものではありません。最近入院してくる熱中症の患者さんの多くは室内で熱中症になっています。特に高齢者の患者さんです。「冷房が嫌いだ」「扇風機の風が当たるのが嫌いだ」など、室温がどんどん上がって熱中症になります。

冷房は弱くてもかまいませんし、扇風機は直接風を当てるのではなく、空気を

攪拌（かくはん）するために、上に向けて首振りで使用してもいいです。冷房と扇風機を組み合わせたより弱い冷房でも効果が上がります。

直射日光が部屋に入らないように簾（すだれ）や藁簾（よしず）をかけるのも効果的ですが、これだけでは今の酷暑は太刀打ちできません。部屋に熱がこもらないようにさまざまな工夫することが大切です。

それでも頭痛、吐き気、めまい、倦怠感が出てきたら、日野病院を受診してください。軽ければ外来で点滴をするだけで治ります。早ければ早いほど軽くなります。少し生活に注意してこの酷暑を乗り切りましょう。



日野病院
病院長コラム

第21回 “〇〇の秋、食べ過ぎに注意！

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



気力も体力も充実する秋。
食事だけ増えて、“肥満の秋”
“秋” になってませんか？

食欲の秋、スポーツの秋、
読書の秋、芸術の秋、行楽
の秋など秋はいろいろなこ
とが言われます。

つまり、これは体も心も
健康な季節と言うことで
しょう。暑い夏は食欲も落
ち、体を動かすのもおっく
うで、気力も体力も低下し
ています。秋になって涼し
くなると体も心も元気に
なって何かをしたくなる、
食欲も出てくることからこ
のように言うようになった
のだと思います。

しかし、十分に運動をし
てから食事が増えるなら
いいのですが、実際には、
運動はそこで食事量だ

けが増えていることがほと
んどのため、残念ながら「肥
満の秋」になってしまいま
す。

秋こそ、食習慣、生活習慣
を見直す良いチャンス

糖尿病の患者さんも夏に
血糖のコントロールが良く
なったにもかかわらず、秋
から冬に悪化することが多
く見られます。よく患者さ
んが太ってくる、運動を
しなかったからと弁解され
ます。

本当でしょうか。もっと
大きな原因は食べ過ぎでは
ありませんか。「果物が美味
しくてブドウを一房食べた」
「梨を2個食べた」「日ごろ
している運動はせいぜい30
分の散歩」。この散歩をしな
かったからといって、食べ
た量に比べたら、微々たる
ものです。こういう時期こ
そ自分の食習慣、生活習慣
を見直すチャンスです。

数値にするとよくわかる、
運動と消費カロリーの関係

皆さんは運動療法の単位
をご存じでしょうか。運動
強度の単位としてじっとし
ている（安静）状態が1メッ

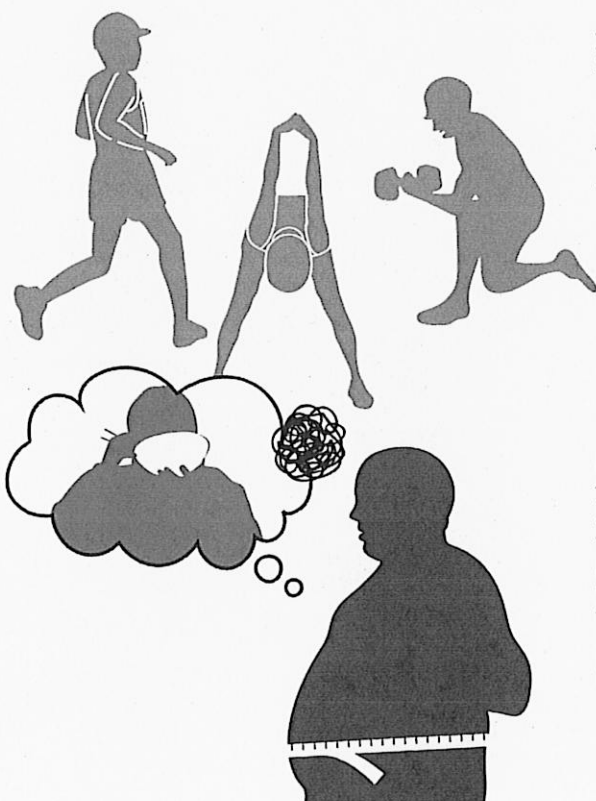
ツです。普通の歩行は安静
の3倍の強度になるので3
メツツです。3メツツの運
動を1時間すると3エクサ
サイズという単位になりま
す。

では、3エクササイズは
カロリーにすると何カロ
リーになるでしょうか。カ
ロリーはその人の体重に
よって変わります。1エク
ササイズは大まかに体重と
同じカロリーと考えて下さ
い。つまり、40 kgの人は40
カロリー、60 kgの人では60
カロリーとなります。散歩
を1時間しても3エクサ
サイズ、つまり60 kgの方で
180カロリーの消費にし
かなりません。

「食欲」と「運動」。バラ
スをとって有意義な秋を

食欲の秋で大きな梨を1
個食べると170カロリー、
一時間の散歩で使ったカロ
リーはすぐに戻ります。ブド
ウ巨峰を一房食べれば250
カロリーにもなります。
ショートケーキ1個食べれば
350カロリーです。

主な運動の強度は、速歩・
自転車は4メツツ、ジョギン
グは6メツツ、水泳・ランニ
ングは8メツツです。ショ
ートケーキ1個食べれば、1時
間のジョギングが必要です。
食欲の秋、スポーツの秋もバ
ランスを考えて太らないよう
に気をつけて下さい。



日野病院
病院長コラム

第22回 医療現場での選択と意思決定 その1

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

医療現場で日常茶飯事な
選択と決断

暑い夏が過ぎ、朝晩は寒いくらいになりました。この原稿を書いている今は、台風が西日本に上陸し、日野郡も大雨で避難警報が出ています。大きな被害がなく過ぎるのを祈るばかりです。

災害の場においても避難するか留まるかを決断するのは案外難しく、その人の性格や経験に左右され、それが場合によっては命にかかわることがあります。医療の現場では選択・決断を迫られることは日常茶飯事だと言っても過言ではありません。これだけ医療が進歩し、疾患ごとの診療ガイドラインが整備されても、いざ一人一人の患者に対して考えるとガイドラインも

当てにならないものです。

元々、ガイドラインは70歳あるいは75歳までの患者のデータから作成されており、80歳以上の患者向けではありません。海外のデータも多く採用されており、日本人に当てはまるかも疑問です。医師にとつてガイドラインを知っておくことは必要ですが固執すべきではありません。やはり、その患者さんの経過を見ながら、大局的に客観的に考えることが重要です。

専門分化高度化した医療
患者は意思決定できるのか

さて、最近患者さんの治療方針を決めるときに「インフォームド・コンセント」という手法が重要視されています。これは日本語では「説明と同意」と訳されています。つまり、医師が患者に医療情報を提供し、患者が内容や副作用などを理解した上で治療方針について合意して意思決定をするというものです。

しかし、実際にはいろんな治療法を説明し、どれを選びますかという「インフォームド・チョイス」になっていることが多いように思います。これには医師の責任逃れの一

面があります。いろんなデータを出されて選択しなさいと言われてもほとんど選択不能に近いと思います。

医師の私でさえ、専門分野を外れると理解して選択するのは難しいように感じます。それだけ医療は専門分化高度化しています。私が考える最も現状にあった手法は、医師は純粋に医学的見地から最も良いと考えられる方法、治療法を提示し説明します。

このとき、社会的要因や個人の希望は考慮しません。その説明を聞いて患者はそれを受け入れるか、または受け入れない場合はその理由をつまら自分の希望や家庭の事情などを述べます。受け入れられない理由が本当に調整できないものか、代替できないのか検討し、本当に無理なときはそれに代わる治療法と一緒に考えます。しかし、このように選択した治療法は医学的に最善のものよりは劣るものであることを患者は理解する必要があります。

患者が治療法を選択するまでさまざまな要因が存在

病気によって劣る程度はさまざまですが、後で後悔しな

いように十分検討する必要があります。もちろん医学的に最善の治療法が患者にとつて最良とは限りませんが、だからといって最初から最善の方法をあきらめるのはもったいないことです。最善の治療を受け入れられない理由の中には風聞による思い込みや経済的な問題、家族に対する遠慮など、解決方法のあるものが多く含まれています。

医師は科学的なデータで判断しますが、患者さんが医学データを客観的に理解することは必ずしも簡単ではありません。例えば、「この抗がん剤の副作用は5%の患者さんにのみ出ます」と言ったとき、「この抗がん剤は95%の患者さんには副作用はありません」と言ったときでは後者においてこの治療を受ける人が圧倒的に多くなります。

言葉の魔法で印象が変わってしまいます。内容は全く同じで表現が異なるだけなのに意志決定が異なってしまうのです。このことをフレーミング効果と言います。これはほんの一例で、次回は意志決定に影響するさまざまな要因について述べてみたいと思います。

日野病院
病院長コラム

第23回 医療現場での選択と意思決定 その2

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

意思決定に影響を与える
「現在バイアス」

先月は台風による大雨で日野町でも土砂崩れが一部に起こりました。被災された方にはお見舞い申し上げます。私の官舎近くの板井原川も多量の土砂が流れ込こんで美しかった風景がゴツゴツした石がいっぱいの殺風景なものになりました。早く元通りになつてほしいものです。

さて、今月は先月に続いて医療現場での意思決定に影響を与えるさまざまな因子について述べてみます。まず、最もよく見られるのが現在バイアスです。これは将来起こるであろう事象を過小評価し、今、目の前にあるものを優先すること

です。

例えば、肥満の患者さんは目の前にあるケーキを食べたいという気持ちを優先してしまい、将来起こるさまざまな疾患、糖尿病や心筋梗塞の発症は過小評価し目をつむるようになります。ダイエットをしようとしてもいつも先延ばしにする、よくあることです。

別の例としてはがんが発見されても、いま症状がないと将来起こる疼痛や命の危険を過小評価し、手術を躊躇するような場合です。現在バイアスを防ぐには自分が現在バイアスに陥っていないか立ち止まって考えることが必要です。

中には深刻な影響を及ぼすことも。非医学的な因子が影響していないか確認を

よく似たものに現状維持バイアスがあります。これは現状を変えたほうがいいのか場合でも現状を維持することを好む傾向のことです。これは日常でもよくあることです。例えば、医療の現場では深刻になることがしばしばです。現在行っている治療が効かなくなっている、あ

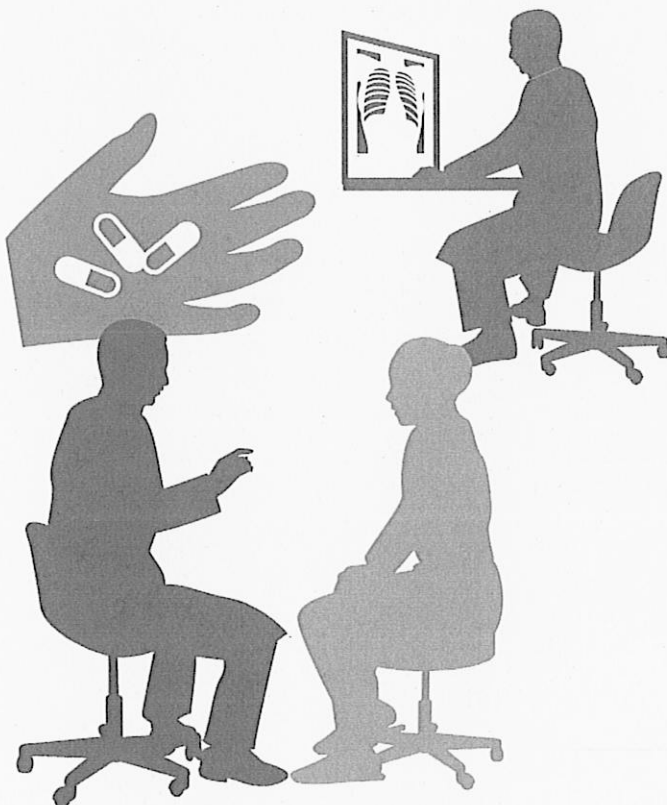
るいはより有効な新薬が出たにもかかわらず、これまでの治療法に固執するような場合です。これは患者だけでなく、医者にも見られます。むしろ、医者のほうが多いのかもしれない。

次にヒューリスティックスというものがあります。これは直感的思考法というもので、人が意思決定するとき、論理的に考えるのではなく、身近な情報や直感で決定することです。

例えば、医師が説明する治療法ではなく、知り合いから聞いた治療法を信じて

しまうことです。知人から民間療法が良いと聞いて飛びつくのはその典型です。時には医師がこのヒューリスティックスを利用するときもあります。私も「同じ薬を飲んでいますよ」というと、「じゃ飲みます」ということになります。

このように意思決定には純粹に医学的な情報とは違う因子が影響します。自身が意思決定の場に立つたとき、このような因子が影響していないか、ゆつくり考えてみることをおすすめします。



日野病院
病院長コラム

第24回 あなたの握力はいくらですか？

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

実は、握力が強い人の方が長生きする？意外と知らない握力のおはなし

あなたの握力がいくらかあるか知っていますか。

「うーん、最近測ったことないなあ」という方が多いかと思います。ぜひ一度測定して下さい。実は握力の強い人は弱い人に比べて長生きします。握力は体全体の筋肉量と関連します。つまり、握力の強い人は筋肉量が多いことになり、足腰も丈夫ということなのです。

昨年、日本肝臓学会がサルコペニアの診断基準を発表しました。サルコペニアとは以前にも町報

(2017年3月号)で述べたように筋肉が減少した状態のことをいいます。サルコペニアがないことは長生きのための重要な因子です。

筋肉量が基準値以下の人は注意が必要。バランスの良い食事と運動を

では、どれくらいの握力があればいいのでしょうか。男性は26kg以上、女性は18kg以上となっています。これ以上あればサルコペニアの心配はありません。これ以下の方は筋肉量を測定してもらって下さい。筋肉量はCTやMRI、体組成計で測定できますが、日野病院ではCTとMRIで測定しています。筋肉量が基準値以下となればサルコペニアと診断されます。握力と筋肉量一方だけが低下している時はサルコペニア前状態となります。

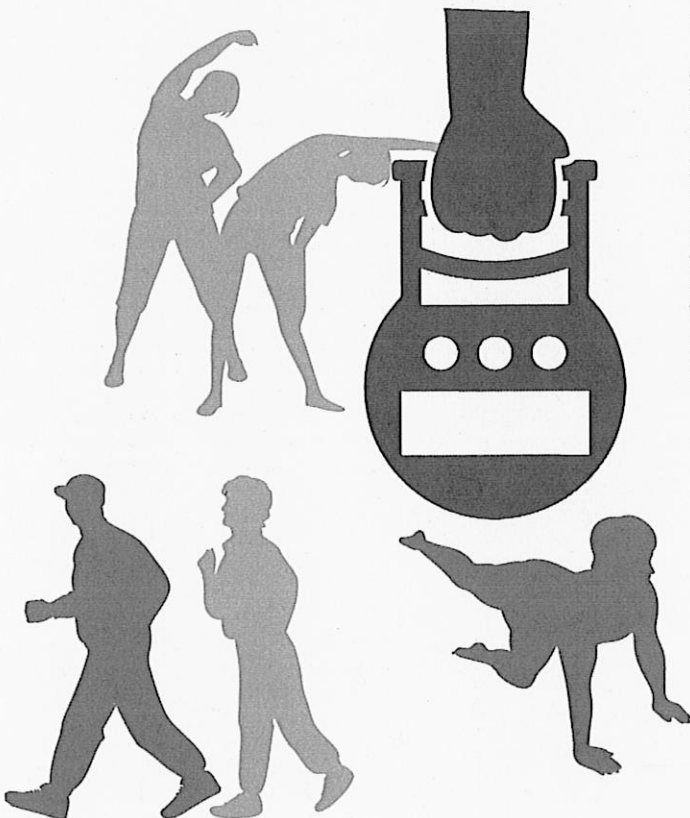
簡単な運動でもOK。サルコペニア予防で長生きを

それでは、サルコペニ

アや前状態と診断された方はどうすればいいでしょうか。筋肉をつけるためにはバランスの良いタンパク質の摂取と運動です。ただし、肝臓や腎臓の悪い患者さんはタンパク質を取り過ぎると原病が悪化しますので主治医と相談して下さい。

運動には有酸素運動とレジスタンス運動があります。筋肉をつけるにはレジスタンス運動がより有効です。レジスタンス運動は筋トレのイメージがあるかもしれませんが、高齢者でも簡単に自宅で行える運動があります。スクワット、腕立て伏せ、腰上げ運動など一度理学療法士さんに教わって下さい。

サルコペニアになっていない方も運動を行うことは予防になります。サルコペニアになってからでは回復は大変なのでその前から運動、食事療法をすることをおすすめします。握力を測って、一年後にその効果を見て下さい。



日野病院
病院長コラム

第25回

ポリファーマシー

～あなたは無駄な薬を飲んでいませんか～

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

新年からたくさん薬を飲んでいませんか？

新年明けましておめでとうございます。皆さん、良いお正月を迎えられたでしょうか。

今年の正月は曇りや雪の日が多かったです。体調はいかがでしたでしょうか。「膝が痛い」「腰が痛い」と鎮痛剤を飲み、「胃が悪くなるから、胃薬も飲んでおこう」と、どんな薬が増えていませんか。このように多数の薬を飲んでいることをポリファーマシーと言います。何種類飲んでいけばポリファーマシーと言うかははっきりしていません。

が、6種類以上は異論のないところでしょう。しかし、必要な薬は飲まないといけないので、必要とされる以上に薬を飲んでいる場合をポリファーマシーというべきでしょう。

飲み続けなければいけない薬と、そうでない薬

薬には3種類あります。病気の本態を治療する薬、例えば細菌性肺炎で細菌を殺す抗生剤です。この薬は病気が治れば終了です。次に、病態をコントロールする薬です。降圧剤や高脂血症の薬、抗不整脈薬などです。降圧剤で血圧が正常になっても薬をやめればまた血圧は上がってしまいます。したがって、これらの薬は勝手に中止することはできません。

最後は症状を和らげるための薬です。熱が出たときの解熱剤、痛いときの鎮痛剤、眠れないときの睡眠薬などです。これらの薬は症状が治まればやめても問題ありませんし、できるだけ控える方が望ましいものです。

「今は痛みが治まってい

るので鎮痛剤は控えてもいいかな？」と思われるから、主治医の先生に申し出て下さい。この種の薬でも一度にやめると症状を悪化させることがありますので、主治医と相談の上、適切なやめ方をしてください。

医師だって薬の量は減らしたいもの。やめるときは必ず主治医の判断を

時に、「先生に薬を減らしてほしいというのは失礼になるのでは」と考える患者さんもいますが、むしろ医師は薬を減らしたいと思っていますので、心配ありません。

ただ、前述のように病気の本態を治したり、コントロールしたりする薬をやめ

るためには十分に検討しないといけませんので、主治医と相談し、くれぐれも勝手にやめないようにしてください。

また、「医師はたくさん薬を出して儲けようとしている」と思っている患者さんがいますが、それも間違いです。今、医療機関のほとんどが院外処方なので薬代では儲けることはできませんし、むしろ、処方する薬が多いと処方料が減らされて損をすることになります。薬が多いと副作用もいろいろと増える可能性があり、医師もたくさん薬は出したくありません。

高齢者では薬が多いと飲み間違いが起こりやすくなります。朝昼夕の薬はよく余っていたり、飲みすぎて足らなくなったりすることがあります。できるだけ飲む回数が少なく、一回で飲むようにするのが望ましいと思います。

薬は必要な種類を確実に飲むことが大切です。薬に頼りすぎず、大事な薬はしっかり飲んで健康を保ちましょう。

日野病院
病院長コラム

第26回

あなたの肝臓は軟らかい？ ～ 肝 硬 度 測 定 の すゝめ～

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

あなたの肝臓、いつの間にか硬くなっているかも

あなたの肝臓はどんな状態ですか。焼き肉のレバーのようにきめの細かい軟らかい肝臓が正常です。どんな肝臓病でも悪くなると肝臓は硬くなります。肝臓に傷がつくとそこに皮膚のケロイドのように線維ができて硬くなっていきます。

皆さんもご存じのように肝臓を悪くする原因は肝炎ウイルス、アルコール、脂肪肝です。「自分には肝炎ウイルスはいないから」「休肝日をつくっているから」「ただの脂肪肝だから大丈夫」とい

うのは早計です。肝炎ウイルスのチェックはもちろん必要ですが、休肝日にはアルコール性肝障害を防ぐ効果はありませんし、脂肪肝は今後肝硬変になる最も多い原因です。

日野病院でも肝硬度測定が可能に。こんな方たちが受けてもらいたい

肝臓の硬さはこれまで測定することは困難でしたが、最近、超音波で簡単に負担なく測定できるようになりました。日野病院でも3月から測定が可能となります。4月からは人間ドックにも導入します。

下記のような方に肝硬度測定検査をおすすめします。B型、C型肝炎の患者さん、ほぼ毎日お酒を飲む方、糖尿病の患者さん、肥満の方（特に内臓肥満、おなかの出ている人）、脂肪肝といわれた方です。

ウイルス肝炎の患者さんは、年に一回は肝硬度測定を受けてもらいたいと思います。治療の効果も分かりますし、がんがどれくらい確率で発生するかも予測できます。

例えば、C型肝炎では肝硬度が15 kPa以上で肝硬変と診断されます。15 kPaの患者さんの肝臓がん発生率は5%（20人に一人）にもなります。25 kPa以上の患者さんでは3倍の14%にもなります。このように発がん率の高い患者さんはがんの早期発見のための検査を厳重に受けなければならぬことが分かります。

重大疾患につながることも。肝硬度測定的重要性

お酒を飲む方は、飲む量に関係なく、まず1度は肝硬度を測定してください。お酒による肝障害は個人差が非常に大きく、アルコールの代謝は遺伝の影響を強く受けます。また、お酒の飲み方、つまみの内容も肝障害に影響します。

次に、糖尿病の患者さんは肝障害、脂肪肝を伴っていることが非常に多いことが分かっています。肝臓がんの頻度は一般人では1万人に一人ですが、糖尿病の患者さんでは千人に一人と10倍になります。さらに、糖尿病で肝硬度の高

い方は、100人に一人と100倍になり、肝硬度を測定することは大変重要です。

肥満、脂肪肝の方はあまり病気である認識がないため、肝硬度を測定し、自分の肝臓を再評価して下さい。少しでも肝臓が硬ければ、早急に治療する必要があります。

一度、自分の肝臓の状態をチェックしてみませんか

肝臓は沈黙の臓器と呼ばれ、病気が進行するまで症状は出ません。正常な人が持っている肝臓の機能の40%ぐらいにまで低下して初めて症状が出ます。しかしそうなるまでではもう治療法はありません。

肝硬度を測定して、進行する前に肝臓病を発見し、適切に治療すれば決して肝臓病で命を落とすことはありません。ぜひ一度肝硬度を測定して、自分の肝臓の状態をチェックしてみして下さい。日野病院の主治医に相談するか、人間ドックを受けることをおすすめします。

日野病院
病院長コラム

第27回 「眠れぬ夜」で困っていませんか

日野病院 病院長 孝田 雅彦



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

実は不眠に悩まされている日本人。あなたは眠れていますか？

今年は暖冬で3月初めにもう春のような暖かさです。春眠暁を覚えず。皆さんは布団から出るのがもつたないくらいぐっすり気持ちいい睡眠をとっていますか。

実は、日本人の5人に1人は不眠に悩まされています。私の外来にも睡眠薬を希望する患者さんが多くいます。しかし、2018年度の診療報酬改正により不眠に対してベンゾジアゼピン系の睡眠薬を12ヶ月以上投与した場合、処方料は減額さ

れます。つまり、漫然と睡眠薬を出すなど言うことです。そこで不眠について少し考えてみたいと思います。

あなたの「眠れない」本当に不眠ですか？

まず、不眠と不眠症は異なります。不眠によって日中の生活に支障を来す場合を不眠症といいます。人によって適切な睡眠時間は異なりますが、65歳以上では6時間の睡眠で十分です。

時に朝4時に目が覚めて眠れないと訴える人がいます。よく聞くと9時には床について寝ており、実際は7時間も寝ています。これは不眠とはいきません。また、昼寝を何時間としても夜眠れないという人もいます。これも不眠とはいえないでしょう。

不眠と思ったらときは、まず実際に寝ている時間を調べて下さい。次に不眠の原因がないか考えてみて下さい。「夜間にトイレに何度も起きて眠れない」「足がむずむずして眠れない」「何か心配事がある

眠れない」「夫のいびきがうるさくて眠れない」など。原因がはっきりしているものはこれを解決しないと不眠は治りません。さらに、どのようなタイプの不眠かを調べて下さい。なかなか眠りに入れない（入眠障害）、途中で目が覚める（中途覚醒）、朝早く目が覚める（早朝覚醒）、ぐっすり眠れない（熟眠障害）などがあります。不眠のタイプによって対応は異なります。

良い睡眠は健康維持の第一歩。睡眠環境・生活状況を整えよう

不眠は重大な病気の初期症状の場合があります。睡眠時無呼吸症候群、喘息、慢性閉塞性肺疾患、心不全、うつ病、認知症などです。かかりつけの先生にこれらの疾患がないかまずチェックしてもらって下さい。

原因となるものがない原発性不眠症であれば睡眠環境、生活状況を改善しましょう。寝室は静かで、光が入らないようにカーテンを閉め暗くしまし

う。寝る前のコーヒー、飲酒、喫煙、食事は刺激になるため、1時間以上は空けるようにしましょう。テレビ、スマホ、運動も脳を覚醒させてしまいますので、1時間は控えて下さい。寝室へは眠くなってから行くようにして下さい。眠くないのに布団に入って眠れない眠れないと焦るのはかえってよくありません。昼寝は30分以内として長く寝ないようにしましょう。就寝前以外の適度な運動は体にほどよい疲労を与えて睡眠には良い影響を及ぼします。定期的に運動をしましょう。良い睡眠は健康維持の必須条件です。さて、次回は最近問題となっている睡眠時無呼吸症候群についてお話しします。



その他の新聞記事

看護師不足に悩む日野病院

来春、13年ぶり解消へ

充実した実習、新人教育奏功

少子高齢化の進む中山間地域をカバーする日野町野田、日野病院（孝田雅彦院長、99床）の看護師不足が来春、13年ぶりに解消する見通しになった。充実した看護学生実習や手厚い新人教育などが奏功し、新規採用予定の看護師は募集定員（5人）を上回る9人。近年では最高で、病院側は若者の定住条件に欠かせない住居環境整備の早期実現を町に働きかけている。（山根行雄）



日野病院のナースステーション。地道な人材教育が奏功し、来春には13年ぶりに看護師不足が解消される見通しになった

日野、江府、伯耆の3町一部事務組合で管理する同病院は、2006年度の診療報酬改定を契機に深刻な看護師不足に直面。改定に伴い大学病院など急性期病院が、新設の7対1の看護師配置基準（患者7人に対し看護師1人）にかじを切ったため、高度な医療機関で働きたいという看護学生の大病院志向が加速し、毎年のように募集定員に満たない厳しい状況に追い込まれた。

このため10対1基準の日野病院は、院内に開所した鳥取大地域医療総合教育研修センターが掲げる「学生が来て学ぶ病院」と連携。年間約400人の看護学生の实習を受け入れる一方、看護局を中心に院内挙げて新人教育に注力する体制を

整えた。

地道な取り組みは県内外の看護師養成教育機関から徐々に評価され、来年度の新規採用募集には県内の看護学校卒業予定者ら10人が応募。今秋の中途採用者4人を合わせ、来春には看護師不足解消につながる90人

規模（うち正・准看護師73人）の看護局体制が実現する見通しになった。

新規採用が定員を上回ったことについて、生田哲二副院長は「米子市内の一部急性期病院の看護師が飽和状態になっていることも一因」と分析。「看護助手不足は続いており、今後とも人材教育などに力を入れ、安定的な確保につなげたい」と話している。

地域包括ケアシステムを構築し、復活させた小児科など21診療科（外来）や2診療所を持つ日野病院は、入院患者増を背景に17年度決算で過去最高の約1億3千万円の黒字を計上した。

5、広報誌 せせらぎ

題字 孝田雅彦 病院長

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089

管理者退任あいさつ



前日野病院組合管理者
景山 享弘

二月二十三日の任期満了をもって管理者の職を辞することとなりました。平成十八年二月二十四日付就任から三期十二年間、日野病院の経営に携わることが出来たこと有り難く思っています。浜副院長、櫃田院長、そして孝田現院長と三名の院長の病院運営にご一緒させていただいて、中山間地の地域の大切さと難しさを知ることができ、共に歩ませていただいたことに感謝の念でいっぱいであります。

さて就任当時は、厚生連病院から一部事務組合の公立病院への移行も落ち付いていましたが、病院の移転新築の大事業の後でもあり、経営上赤字が続き構成

三町には赤字補てんをお願いしていました。しかし病院の運営努力によって平成十九年度決算から黒字の体質にかわり現在に至っています。いまや県下の自治体病院のなかでも、安定した地域に貢献する施設として認知いただけるようになっていきます。構成三町のご理解と協力、歴代院長を先頭にして職員各位のたゆまぬ努力のお陰です。最近では鳥取大学医学部との連携強化も進み、良い関係ができております。このことは地域住民にとり、安心・安全な暮らしが示されたこととなります。

このように住民から信頼される病院経営に参画できたことを誇りにもち、退任できたことに感謝いたします。ありがとうございます。

管理者就任あいさつ



日野病院組合管理者
塔田 淳一

この度景山享弘前管理者（前日野町長）の後任として、二月二十四日付で就任しました。よろしく願いいたします。

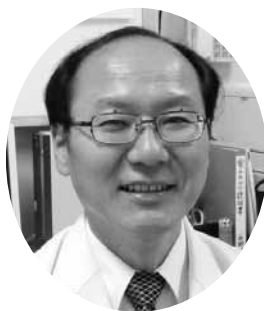
日野病院組合は、日野町、江府町、伯耆町で構成組織され、病院事業、在宅介護支援事業、診療所事業を実施し、この地域で暮らしていく住民のみなさんにとって掛け替えのない存在であると考えます。

中でも、高齢化率の高い中山間地の中核病院として地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスをを行うこと、自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努めることを基本理念に事業を展開

する日野病院は、CT、MRIなどの診療機器や無菌手術の可能な手術室を備え、22診療科、一般病床99床を抱えるなどにより幅広い医療の提供が実施されています。さらに平成二十六年からは、鳥取大学と連携して地域医療に従事する医師を含めた医療従事者養成への取り組みが展開されており、病院の役割も更に高くなってきました。

今後に向け、人口の減少に伴う患者数の減や、職員の雇用・確保など課題もありますが、健全経営に努め、地域住民に信頼され愛される日野病院組合として事業の展開を進めて参りますので、各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

日野病院飛躍の新年度を迎えて



日野病院病院長
孝田 雅彦

今年の桜は厳冬から急に暖かくなつたためか一気に咲いてあつという間に散つてしまい、桜をじっくり観賞する時間がありません。その後は花粉症に悩まされつつ、それも峠を越したようです。

さて、今年度は日野病院にとって人事面で大きく変わりました。2月下旬にて管理者が景山享弘前町長から新しく塔田淳一町長に変わりました。景山前管理者には十二年にわたり日野病院のため、日野郡住民のために力を尽くしていただきました。この場を借りて深くお礼申し上げます。今後は一步距離を置いて日野病院を見守っていただき、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

さて、塔田新管理者には職員一同歓迎申し上げます。日野病院の良さ、問題点を知っていただき新しい目からご意見、ご指導をお願いいたします。

医師の異動は2名の先生の転出がありました。5名の先生が新しく日野病院に勤務されることになりました。前々日野病院長の濱副隆一先生、長年日南病院で小児科をされておられた竹茂幸人先生、安来医師会病院から来られた佐々木修一先生、1年半ぶりに日野病院に戻ってきていただいた藤田章啓先生、最も若手の下坂拓也先生です。さらに常勤ではありませんが鳥取大学医学部地域医療学教室から2名の先生（李瑛先生、紙本美菜子先生）が週3日勤務してい

ただけることとなりました。また、看護師は新人4名、鳥取大学からの派遣1名、検査技師1名、事務職員2名と多くの新人職員を迎え、日野病院がさらに充実した病院になることと喜んでおります。特に小児科は毎日の診療となり、子供を持つ住民の皆さんには安心していただけるのではないのでしょうか。今後は若手とベテランがうまく補い合つて、明るい活気のある病院にしていきたいと思っています。次に、平成29年度の日野病院病院長賞は、研修医の教育・指導に多大な功績のあつた熊野健太郎診療局長と、日野病院の忙しい薬剤部を切り盛りしながら多くの学会発表もされてきた山本直子副医療技術局長に授与しました。両名とも少ない人員の中、日野病院を支えていただき地域医療に大きな貢献をされました。

さらに今年度は4名の職員が局長賞を受賞されました（大塚健一主任理学療法士、長尾加奈子主任看護師、安達節子看護師、矢田貝亮一係長）。詳細は省きますが、日野病院のために地域のために粉骨碎身努めていただいた若手、ベテランの方々です。新人の皆さんがこのような先輩を手本にして、病院に地域にそして医療に貢献されることを期待しています。

今年度が新しい日野病院のスタートの年となることを望んでいます。地域の皆様にも充実した日野病院をさらに応援していただければうれしく思います。

近視進行と環境要因

—今や眼科領域を超える最大のテーマ—

日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦



最近、近視人口は世界的に年々増加して、2050年までに世界人口の半数にあたる50億人が近視に、10人に1人にあたる10億人が失明のリスクを抱える強度近視になると、オーストラリアのホールデン氏らの研究グループが算定しています。

近視は遺伝因子と環境因子により発達・進行すると考えられていますので、小児期の近視進行は、素質ないし遺伝の影響が強いのですが、染色体レベルまで踏み込んだゲノム研究が未完成の今日、近視人口の世界的な急増の背景には、小児の生育環境の変化があると同氏は指摘しています。特に、屋外活動の減少と、電子機器の多用など近距離を見つめる作業の増加といったライフスタイルの変化による影響は、今後とどまることがないので、連載中の毎日新聞「ご近所のお医者さん」（2017年6月20日）でも取り上げましたが、再度話題にしました。

小児の屋外活動時間と身体活動時間は相間することが報告されており、屋外活動時間の近視進行抑制効果は、運動による可能性があります。一方、屋外活動時間は身体活動とは独立して近視と関連しているという報告や、屋外活動と近視との関係は太陽光線が重要であるとの報告もあり、身体活動以外の要素も近視抑制に関与している可能性が示唆されています。

睡眠の質と睡眠時間に関しては、睡眠障害や睡眠時間の不足が近視人口の増加に関連するという報告もありますが、因果関係はまだ解明されていません。しかし、夜間の光環境も変わってきており、睡眠時間の減少や質の低下など概日リズムの変調が関与している可能性は否定できないと思われます。食事に関しては、近視進行を抑制するサプリメントに関する報告もあります。

紫外線で血清ビタミンD濃度が上昇することが知られていますが、ビタミンDと近視との関連性が近年いくつか報告されるにおよび、最近発売されているサプリメントの中には含有しているものが少なくありません。椎茸、干瓢、干し大根などの食材にもビタミンDは含まれていますので、効果は今後の検討課題です。しかし、食するものに関しては、副作用の有無の検討は、サプリメント、薬剤、食材を問わず必須なので、慎重な対応が望まれます。

近視の予防、強度近視への進展の防止対策は、今や眼科領域を超える最大のテーマですが、関係者のみでは解決できません。広く国民のご理解とご協力を求めたいものです。

スマートフォンが子供たちの間でも普及が進んでいる今日、日本眼科医会のホームページからダウンロードした近視予防に関する啓発ポスターの一部を本欄に掲載しました。広くご活用いただければ幸いです。

ちかみとおみきんしめ
近くばかり見ていると、遠くが見えにくい近視の目になりやすいので
ちゅうい
注意しましょう。

公益社団法人 日本眼科医会



すまいる互版

<連絡先>【日野病院組合*在宅介護支援事業所】

☆訪問看護ステーション

0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723

すまいるニューフェイス♪ご紹介

新メンバーも加わり、さらにパワーアップ！
みな様の暮らしを全力でサポートいたします!!



在宅介護支援事業所の所長を務めさせていただきます。医療と福祉の連携と共に、住み慣れた地域でできる限り過ごせますように、出かける看護を地域の皆様にお届けし、共に歩む看護を目指します。よろしく願い致します。

***看護師* 池田 清香**



訪問看護ステーション



4月より鳥大病院から派遣職員として着任しました。自然豊かな日野の地に癒されながら日々たくさんのことを学ばせて頂いております。訪問看護師として地域の皆様に笑顔と安心をお届けできるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

***看護師* 瀬尾 勇仁**



平成30年4月より在宅介護支援事業所次長を務めさせていただいております、佐々木修一と申します。地域の方がご自宅で安心して過ごしていただけるような地域医療、在宅医療の提供を目標に頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

***医師* 佐々木 修一**

居宅介護支援

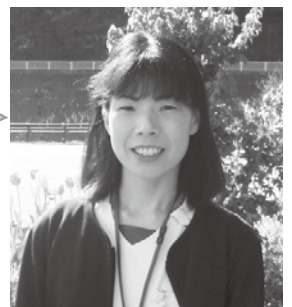


育児休暇より復職しました。
ご利用者の「住み慣れた家・地域で暮らしていきたい」という想いを大切にし、安心して暮らせるようお手伝いさせていただきたいと思っています。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

***ケアマネジャー* 桑原 理沙**

3月から訪問看護ステーションで勤務させていただいております。個人の尊厳を大切に、ご家族の理解、献身的な介護のもと、自宅で生活される場としての視点から見て傾聴し考え、微力ながら在宅療養の身近な支援者のひとりとして携われたらと思っています。

***看護師* 松本 友恵**



◇ 訪問看護利用者満足度調査についてのご報告 ◇

平成29年12月25日～平成30年1月15日に調査を行いました。
訪問看護を利用されていた39名中、27名の方からご回答をいただきました。
お忙しい中、調査へのご協力をいただき誠にありがとうございました。

～訪問看護についてのご意見を紹介いたします～

☆本人の希望通り、自宅で家族に看取られ、安らかに永眠することができました。

入院しても、「家で死にたい、家が良い。」と、本人が言いますので、希望通り連れては帰しましたが、だんだん弱ってくるのを感じると、私自身このまま家でみてあげてよいのか不安でした。でも、訪問看護の方が自宅に来て下さる事で不安が軽減し、頼れる存在になりました。地域医療に支えられ、本人の希望が叶ったことに感謝致します。

☆病院退院後から、訪問看護を利用しました。お蔭さまで、安心して生活ができ、色々なアドバイスから、専門的な知識を学び、心強く感じこれからの生活に自信ができました。24時間連絡可能な体制は、介護者としてはとても安心で心強いです。

☆訪問看護を利用して、独居の私にはすべての生活に生きる力(力)をいただき若がえった気が致します。お陰様で終わりの人生はとても楽しいです。

【大豆の栄養パワーで健康アップ!】

今回は、“大豆”を組み合わせることで、手軽にたんぱく質を増やせる簡単料理を紹介します。

【大豆の栄養効果】

●大豆が「畑の肉」と呼ばれるのは？ ⇒ 大豆が肉に匹敵する量のたんぱく質を含んでいるからです。たんぱく質は人間の筋肉や内臓などの体の組織を作る成分で生きていくために欠かせない栄養素です。



また、大豆にはたんぱく質のほかに脂質、食物繊維、糖質などがバランスよく含まれています。

その他、血圧やコレステロールを下げる働きのある大豆イソフラボンや整腸作用のある大豆オリゴ糖などの大豆特有の成分が含まれています。

☆黒豆のお寿司☆

～黒豆を水につけなくても、簡単に作れます～

＜材料＞ 4人分
米・・・300g
水・・・450g
黒豆・・・65g
すし酢・・・65cc
錦糸卵・・・10g
絹さや・・・5g

＜作り方＞

- ①米をといでざるに上げ、水切りをする。
- ②黒豆をフライパンでから炒りし、皮が割れたら、火を止める。
- ③炊飯器に米と水を入れ、②の黒豆も入れて炊く。
- ④ご飯が炊けたら10分位蒸らす。仕上げにすし酢を全体に回しかけて、混ぜるときれいなピンク色に変わる。
- ⑤錦糸卵と茹でた絹さやをのせて、出来上がり。

好きな食材をのせて
アレンジしてみて
ください♪



栄養価（1人分）：エネルギー 375kcal、たんぱく質 11.3g

☆大豆サラダ☆

～大豆の水煮を使用すると簡単に作れます～

＜材料＞ 4人分
大豆水煮・・・80g
きゅうり・・・80g
人参・・・60g
ゆで卵・・・80g
マヨネーズ・・・10g
レタス・・・20g
塩・こしょう・少々

＜作り方＞

- ①きゅうりは、1cmの角切りにする。
- ②人参は、1cmの角切りにしてゆでて冷ます。
- ③ゆで卵とレタスは、粗く刻む。
- ④ボールに①②③と大豆水煮を入れて混ぜ、マヨネーズで和える。
(好みにより塩・こしょうを入れる)



栄養価（1人分）：エネルギー 146kcal、たんぱく質 7.0g

～良質のたんぱく質を含む大豆を毎日の食事に取り入れて、健康的に過ごしましょう～

★日野病院 栄養管理室★

小児科診察日のお知らせ

～毎日（月曜日～金曜日）診察しています～

平成30年4月から、小児科の外来診察を毎日（月曜日から金曜日まで）行っています。

— 小児科外来診察表 —

区分	月	火	水	木	金
午前	竹茂幸人	竹茂幸人	竹茂幸人	総合診療科医師	大学医師
午後	大学医師	竹茂幸人	竹茂幸人	竹茂幸人	大学医師

○小児科では予防接種、乳幼児健診も行います。
（予約が必要ですので、お電話等でお問い合わせください。）

電話 0859-72-0351

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの取り組みについて



鳥取大学医学部
地域医療学講座
李 瑛

みなさん、こんにちは。今春より日野病院で勤務させてもらうことになりました李 瑛（り よん）と申します。患者さんからは、「先生、日本語が上手だが～」とよく言われますが、生まれも育ちも日本ですので、安心してお話をさせていただけたらと思います(笑)

私は出身が和歌山県ですが、祖父母が倉吉在住であったこともあり、鳥取大学医学部に入学し、在学中は学生活動の一環で、江府町や伯耆町の地区にも何度もお邪魔させて頂いていました。卒業後は縁もゆかりもない沖縄県の病院で研修・就職をし、沖縄で6年間勤務を終え、久しぶりに鳥取県に戻ってまいりました。久しぶりに聞く鳥取の方言に懐かしさを感じながら、道々に咲く桜の美しさや日野川の清流の音の心地よさに感動をしております。

お世話になった鳥取への恩返しが少しでもできればなあ、と感じながらも、まだまだ未熟ですので、多くのことを皆さんに教えてもらいながら頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくおねがいします。



鳥取大学医学部
地域医療学講座
紙本 美菜子

みなさん初めまして。地域医療学講座の紙本といいます。私はもともと大山町（旧名和町）の海辺の出身です。平成20年自治医科大学卒業後、鳥取県立中央病院で初期研修を終えた後、日南町国保日南病院、大山町国保名和診療所、鳥取大学医学部附属病院、南部町国保西伯病院と、おもに鳥取県西部で10年ほど働いてきました。経験の浅い若手医師の頃から、赴任した地域住民の方々や病院スタッフのみなさんから、優しい言葉、厳しい言葉、本当の思い…などいろいろな言葉をかけていただき、医師として育ててもらったんだという感謝の思いがあります。日野病院は鳥取県西部地域で唯一訪れたことのない公立病院となります。診療の際には、病気のことでなく「この患者さんは、どうすれば心が平らになるのか」を気にかけるようにしています。私事としましては、家に帰れば2人の娘の子育てで溝口の鬼となったり、はたまた野球場ではつつましやかに監督夫人を演じたり…といったこれも本気の副業が待っています。

これから総合診療科の一員として、日野川流域の住民のみなさんの健康について、また自分のように地域で育てていただく医学生教育について学び考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

この病(病)気

知っておきたいこんなこと

このコーナーでは、当院医師がみなさんに知ってもらいたい病気についての様々な情報についてお知らせします。

第5回

禁煙のすすめ

日野病院診療局長 熊 野 健太郎

タバコについて

タバコを吸う方、吸わない方もみなさんタバコが害のあるものであることはご存じだと思いますが、具体的に何が悪いのと疑問に思われている方も多くとおもいますので、タバコの害について簡単に述べたいと思います。

ニコチン、タール、一酸化炭素をタバコ三悪ととらえるのが一般的とされていますが簡単にそれぞれの悪さを以下に示します。

- ① 一酸化炭素はたばこを吸う人の組織の酸素欠乏を起こし、全身に多くの障害をもたらします。特に心臓・血管の病変、皮膚、骨、胎児の発育などに関わりが深い。
- ② タールと一口に言われていますが、4000種類以上の化学物質の総称であり、個々の化学物質は、ベンゾピレン、ニトロアミンなどの発癌性物質や、ヒ素、カドミウムなどの有害物質など、摂取してはならないものばかり。
- ③ ニコチンは脳に作用して依存性をつくりだす。

また、皆さんはタバコと言えば肺がんを想像されると思いますが、肺がんはもとより、喉頭がん、咽頭・口腔がん、食道がんへの影響も極めて大きく、膀胱がん、膵臓がん、肝臓がん、胃がん、大腸がんにも関与しています。

また呼吸器系の病気としては肺がん以外にも、肺気腫、喘息、間質性肺炎、急性好酸球性肺炎といった病気のみならず、手術をうけた際に、術後に傷がなおりにくく、感染を起こしやすいことが知られています。

上記に述べたことは、他の人の吸っているたばこの煙を吸う、いわゆる受動喫煙でもおこることがわかっています。

禁煙について

まずは自分の禁煙する目的をはっきりさせましょう。自分の健康を守る為にはもちろんのこと、家族や周りの人の健康の為（換気扇の下で吸う、ベランダ・喫煙所等の屋外で吸うでも、他の人へのたばこの害は防げません。）

お金の節約の為でもいいと思います。まずは、目的をしっかりとってまずは、禁煙する意志を固めましょう。

現在は、禁煙の為の治療が保険で受けられる時代です。禁煙はつらいものですから、一人で悩まずに医学の力を借りるのもいい方法だと思います。

現在は、「加熱式タバコ」「電子タバコ」と言われる火を使わないタイプの新型タバコがでていますが、残念ながら各国の研究で、有害物質は完全に除去されていないことが証明されています。

結局はタバコの害からのがれるには禁煙しかないのです。

タバコを吸っている方には厳しい内容を書いたかもしれませんが、一人でも多くの方が、禁煙して下さることを願ったものでありご容赦ください。

新任医師紹介



名誉病院長(外科医師)

濱副 隆一

私は、平成16年から平成18年まで、日野病院長を務めさせて頂きました。日野病院を最後の勤務地と定めて赴任したはずでしたが、諸般の事情で、米子医療センターに異動することになり、12年が経ちました。このたび、米子医療センターを定年退職(3年延長)するに当たり、まず思い浮かんだのは、日野病院に戻って外科医として貢献したいという思いでした。管理・運営の仕事が長かった分、臨床力を取り戻すには少し時間が必要ですが、孝田病院長と佐藤副院長の御配慮で、リハビリに努めているところです。どうぞよろしくお願ひします。



内科医長

佐々木 修一

4月より内科に赴任しました佐々木修一と申します。出身は境港市です。鳥取大学を卒業し、孝田院長と同門の第二内科に入局しました。その後、医師としてほとんどの期間を安来市内の病院で勤務してきました。外来・入院患者さんの診療、消化管検査、腹部超音波なども担当させて頂いたきます。治療だけではなく予防医学(健康診断など)にも関わってききましたので、今までの経験を活かし、微力ながら地域の皆様のお役に立てるように頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。



整形外科医師

藤田 章啓

整形外科の藤田章啓です。1年半の間、大学病院で勉強させて頂き、日野病院に戻ってまいりました。前回の赴任時より少しでも成長した姿をみなさんに見て頂き、今まで以上に地域医療に貢献できるよう、頑張りたいと思います。よろしく御願ひ致します。



内科医師

下坂 拓矢

院に勤務していました。この度、日野病院内科に勤務させて頂くこととなり、この地域の医療に携われることをうれしく思っております。まだまだ未熟者ではございますが、皆様のご健康のために少しでもお役に立てるよう、精一杯努力致しますので、どうぞよろしくお願ひします。



小児科医師

竹茂 幸人

当時赤ん坊だったお子さんが今ではお母さんになり、我が子を連れて受診されまです。時の流れが身にしみます。今しばらく故郷に恩返しができれば幸せです。

(6ページに関連記事)

初めまして。今年度より日野病院へ赴任して参りました、内科の下坂拓矢と申します。出身は鳥取県境港市で、高校時代と大学時代を米子で過ごし、昨年度は鳥取県立中央病院に勤務させて頂くことになりました。

新規採用職員紹介



看護師
松本 摩耶

患者様が安心して入院生活を送ることができ、在宅へ復帰することができるよう支援していきたいです。よろしくお願いします。



看護師
松本 美紀

この春から看護師として入職させて頂く事となりました。日野町で生まれ育ち、地域の方々に恩返しをしたいと思っています。まだまだ未熟者ですが感謝の気持ちや笑顔を忘れず、精一杯頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。



看護師
伊藤 颯哉

地域の方々が安心して看護を受けられるように、正確な知識や技術を身に付けていきたいです。一步一步しっかりと自分が目指す看護師になれるように精進していきたいと思っています。



看護師
久光 優希

春から看護師として働かせて頂くことになりました。今まで培ってきた物を発揮し、感謝の気持ちを忘れず関わり恩返ししていきたいと思っています。若さを武器に頑張っていきます。至らないこともたくさんありますが、よろしくお願いします。



事務職員
遠藤 和幸

この度、日野病院組合職員として採用されました遠藤和幸と申します。地元の方々との交流を大切にしながら、業務にあたりたいと思います。よろしくお願いします。



臨床検査技師
井上 碧

4月から臨床検査技師として入職しました井上碧です。地域の皆様に安心して検査を受けていただくため、正しい知識や技術を1日でも早く習得できるよう努力してまいりたいと思います。よろしくお願いします。

連絡先

日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351



切り取り線

〈編集後記〉

息子が4月から小学生になりました。毎日楽しそうに通っていますが、早起きが苦手です。私にはどちらかと言うと早起きが得意な方です。さて、息子が朝に弱いのは誰に似たのでしょうか？

(小)

日野病院 外来診療案内

最新版 H.30.5～

午前 午後 休診

診療科		受付	月	火	水	木	金
内科	一 診	午前	笠原 尚 (循環器内科)	孝田雅彦	細田 讓 (第1・3週) 深谷健二※1 (第2・4週)	北浦 剛	今村武史 (大学医師)
		午後			深谷健二※1 (第2・4週)	北浦 剛	
	二 診	午前	孝田雅彦 (兼肝臓内科)		坂口琢紀 (大学)	岸 真文※1	佐々木修一
		午後			坂口琢紀 (大学)		佐々木修一
	三 診	午前	李 瑛 (総合診療科・初診)	下坂拓矢	熊野健太郎 (兼禁煙外来)	熊野健太郎	下坂拓矢
		午後					
総合診療科		午前	朴 大昊	谷口晋一 (第1・3週) 濱田紀宏 (第2・4・5週)	井上和興	紙本美菜子	
		午後	朴 大昊	谷口晋一 (第1・3週) 濱田紀宏 (第2・4・5週)			
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	濱副隆一	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	藤田章啓	藤田章啓	山家健作 (大学医師)	藤田章啓	藤田章啓
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦	稲田耕大 (大学医師)	玉井嗣彦	春木智子 (大学医師)
小児科		午前	竹茂幸人	竹茂幸人	竹茂幸人	総合診療科医師	大学医師
		午後	大学医師	竹茂幸人	竹茂幸人	竹茂幸人	大学医師

専門診療科 (大学医師他)	午前	肝臓内科 孝田雅彦	皮膚科 大学医師	禁煙外来 熊野健太郎※2	脳神経内科 岸 真文※1	
		循環器内科 笠原 尚	女性診療科 秦 幸吉	消化器内科 坂口琢紀	泌尿器科 引田克弥	
				血液内科 細田 譲 (第1・3週)	耳鼻科 竹内裕美	
				糖尿病外来 深谷健二※1 (第2・4週)		
	午後		心臓外科 西村元延 (第1・3週)	消化器内科 坂口琢紀		心療内科 山梨豪彦
			ペースメーカー 西村元延 (偶数月第3週)	糖尿病外来 深谷健二※1 (第2・4週)		
			血管外科 藤原義和(第2週) 中村嘉伸(第4週)			

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

- 自動再来受付機による受付 (時間予約を除く) ●午前＝7時30分～10時30分
●午後＝正午～15時 (心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科)
●午後＝正午～16時 (内科(月曜日～木曜日のみ)・小児科)
診療開始時間 ●午前＝9時～ ●午後＝14時～
休 診 日 ●土曜日・日曜日・祝日 ●8月14日・15日 ●12月29日～1月3日
電話による予約日・予約時間の受付 ●14時～16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

新患登録・新規予約 <代 表> 72-0351
予約日(時間)変更 <内 科> 72-2721(常勤医師のみ)
<外 科> 72-2719
<整形外科> 72-2720

- ※1 糖尿病外来・脳神経内科は完全予約制です。
受診希望の方は、内科を受診して医師にご相談ください。
- ※2 禁煙外来(水曜日)の初診は予約が必要です。
2回目からは内科受診となります。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から10時30分まで) (H.30.5月～)		月	火	水	木	金
診療科目	一診	笠原	孝田	血液(第1・3週)・糖尿病(第2・4週)	北浦	今村
	二診	孝田		坂口(大学)	(脳内)	佐々木
	三診	李	下坂	熊野(兼禁煙外来)	熊野	下坂
総合診療科		朴	谷口・濱田	井上	紙本	
外 科		(大学)	佐藤	濱副	(大学)	佐藤
整形外科		藤田	藤田	山家(大学)	藤田	藤田
眼科		玉井	玉井	稲田(大学)	玉井	春木(大学)
小児科		竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科	(大学)
その他		肝臓内科 循環器内科	皮膚科 女性診療科	禁煙外来 消化器内科 血液内科(第1・3週) 糖尿病外来(第2・4週)	脳神経内科 泌尿器科 耳鼻科	
午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)		月	火	水	木	金
診療科目	総合診療科	総合診療科	消化器内科	北浦	佐々木	
	小児科	(大学)	竹茂	竹茂	竹茂	(大学)
その他(大学)		心臓外科(第1・3週)※ ペースメーカー(偶数月第3週)※ 血管外科(第2・4週)※	消化器内科 糖尿病外来(第2・4週)		心療内科※	

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。
(切り取って財布等に入れご利用ください)



日野病院組合だより

せせらぎ

題字 孝田雅彦 病院長

No. 63
平成30年 9月発行



日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ <http://www.hinohp.com/> FAX0859-72-0089

空から日野病院を**見**てみよう!

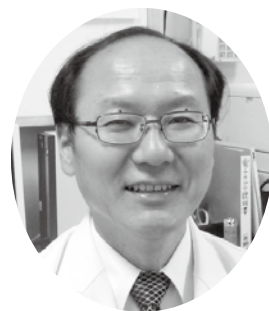


ホームページで動画を見るとができます
QRコードからアクセスしてください⇒



ドローン撮影：藤井政至先生

ご挨拶



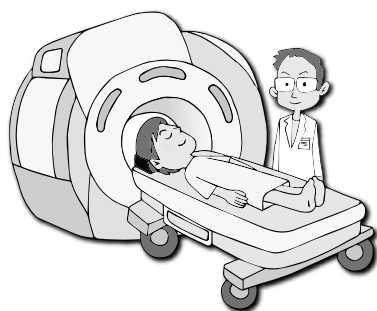
日野病院病院長
孝田 雅彦

今年の夏は7月の大雨、洪水、その後の酷暑、多くの颱風と自然の驚異にさらされました。このせせらぎが皆さんのお手元に届く頃は過ぎやすい気候になっていることを期待しています。さて、昨年度の病院の決算は最近にない黒字となり、これも患者さんのおかげと職員一同喜んでいます。自治体病院の目的は少しでも多くの利潤を上げることではなく、住民、患者さんの役に立つことが最優先です。しかし、黒字であれば、さらなる住民サービスに投資することも可能となります。今後も医療の質の向上と健全経営の維持に努めていきたいと思っています。

前回のせせらぎで紹介しましたように小児科診療が毎日となり、病児、病後児保育も始まり、子供を持つ皆さんには安心してこの地域に暮らしていただけるものと確信しています。多くの若いご夫婦が住み、子供を育て、活気のある地域にしていただきたく、そのお手伝いができれば病院としてこんなに嬉しいことはありません。病院周辺の人口がどんどん減っていくのは寂しい限りです。若者が定住できるように医療福祉の面から貢献したいと思っています。

次に今後日野病院が力を入れていきたいと思っている人間ドックについて述べさせていただきます。近年の医療機器の進歩は病気を正確に診断するだけではなく、発症する前段階をつかまえることができるようになってきました。例えば、今回当院に導入した24時間血糖測定器リブレは糖尿病になる前の段階を診断できます。正常だと思っている人が糖尿病予備群であることが分かります。初期の段階で発見できれば治療も容易にできます。リブレを用いた糖尿病ドックを始めますので、ぜひ受けてみて下さい。（詳細につきましては、9ページに記載しております。）

その他にも肝臓のMRI検査は5～10mmの小さな前がん病変をはっきりと描出することができ、肝硬変の患者さんの診療に使われています。頸動脈エコーはわずかな動脈硬化を検出できます。胃力メラの特殊光画像は胃がんや食道がんの前がん病変を検出できます。超音波検査では肝臓の硬さを測定することでわずかな肝線維化を検出できます。日野病院でもこれらを診療に、人間ドックに使用しています。病気になる前に病気の芽を摘んでおけば安心して暮らすことができます。日野病院では今後このような機器を用いた人間ドックを充実させていきますので、ぜひご利用下さい。



浴びすぎに気をつけたいブルーライト

日野病院名誉病院長 玉 井 嗣 彦



ブルーライトは、460nm（ナノメートル）前後の波長を有する自然界にある青色可視光の一部です。紫外線と同じように太陽から発せられ、日没後は少なくなるので、日の出とともに起きて夜は眠る、というヒトの体内時計（サーカディアンリズム）の調整にまで強く関係していることが指摘されています。

専門的になって恐縮ですが、ブルーライトに反応するメラノプシン含有ガングリオン光受容体が視床下部視交叉上核を介して生体リズムをコントロールしているので、ブルーライトを使った発光ダイオード（LED）照明器具や液晶画面、スマートフォンなど電子機器の普及に伴い、身近な場所でブルーライトをたくさん浴びるようになりました。

元々は浴びることのなかった夕方や夜の時間帯にも、ブルーライトを浴びることで、脳が休養モードにならず体内時計が乱れ、寝つきが悪い、夜に目が覚める、寝不足など睡眠に関するトラブルが起こっています。

目に入るブルーライト量は目からの距離の2乗に反比例するため、LED照明に近づけば近づくほど大量のブルーライトが目から入るので、疲れ目の原因とも言われています。

ブルーライトによるサーカディアンリズムへの影響については、夜遅くまでのコンピューターの仕事を控えることや、就寝直前までスマートフォンなどを目に近づけて用いることをまず控えることが大切で、逆に昼間はしっかりと可視光線が目に入るようにした方がよいとされています。

以前から紫外線などのエネルギーの高い波長は網膜に障害を起こすので、紫外線防止の方策がいろいろとられてきましたが、可視光線であるブルーライトでは光障害は起きないという考え方が今まで支配的で、対策は何もとられてきませんでした。

網膜中央の黄斑部に多く存在する黄斑色素（ルテイン）が、過剰なブルーライトを吸収し、錐体に光傷害が及ぶことがないように、生体のサングラスの役目をしていると考えられていたからです。

しかし、上述のごとくブルーライトを近づいて長時間浴びたり、高齢者であったり、抗酸化力が落ち酸化ストレス制御が弱い目の状態、例えば老化色素（リボフスチン）などが大量に黄斑部に蓄積している状態では、ブルーライトを吸収して細胞障害毒性を発揮するので、拙速に無害とはいえず、視覚レベルでの障害を防止するためには、間接照明にしたり、電子機器を使う時にブルーライトをカットするフィルムやソフトウェア、眼鏡を使うなどの方法が普及しつつあります。

かつて「街の灯りがとてもきれいねヨコハマ ブルーライト・ヨコハマ」という歌がはやった時代がありましたが、青色LEDによるスマートフォンやパソコンの画面に加え、白熱電球の買い替えとしてLED電球が普及している今日、ブルーライトが夜の街以外にも氾濫するという風景は、以前にも連載中の毎日新聞「ご近所のお医者さん」（2013年5月21日）でも取り上げましたが、最近ではより一層珍しくなくなっています。

ブルーライトによるこのようなサーカディアンリズムと視覚レベルへの乱れは、メタボリックシンドローム、不眠症などの大きな社会問題につながるということが十分予想されます。

睡眠や目の疲れで気になる症状がある時は、かかりつけ医や眼科を受診しましょう。浴びすぎに気をつけたいブルーライトです。

平成29年度決算のご報告

去る8月31日に開催された日野病院組合議会において平成29年度の決算が認定されました。その内容を報告します。

○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

病院収益ですが、外来患者数は減少しましたが、入院患者数は増加しました。診療単価は、外来・入院ともに増加しました。医業収益・医業外収益がともに増加したため、収益全体で増収となりました。また、在宅介護支援事業は、訪問リハビリは増加しましたが、訪問看護・居宅支援が減少したため減収となりました。診療所は、患者数が減少しましたが、診療単価が増加したため増収となりました。一方費用ですが、給与費、材料費等の増により増加となりました。決算額は、131,793千円の黒字決算となりました。

日野病院組合事業決算概要

○病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

（単位：千円）

区 分		28年度	29年度	増 減	備 考
収 益	医業収益	1,324,096	1,376,929	52,833	入院収益、外来収益、公衆衛生活動収益等
	介護サービス収益	72,381	70,285	△2,096	訪問看護、訪問リハビリ収益等
	医業外収益	404,606	415,530	10,924	負担金交付金、補助金、長期前受金戻入等
	収益合計	1,801,083	1,862,744	61,661	
費 用	医業・介護費用	1,666,210	1,693,543	27,333	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	医業外費用	38,340	37,408	△932	企業債利息、消費税等
	費用合計	1,704,550	1,730,951	26,401	
決 算 額		96,533	131,793	35,260	

資金不足比率 ※	該当なし	該当なし		((流動負債等－控除引当金)－流動資産) / 営業収益×100
資金不足負担金発生までの額	498,378	618,974	120,596	マイナスとなった場合にのみ負担金(追加分)が発生
年度末退職給与引当金残高	278,422	303,365	24,943	引当額67,904千円 退職金支払額42,961千円（7名）

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項（平成19年法律第94号）の規定による。

○患者数（利用者）診療単価、及び稼働率等

1. 病院事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）			病床利用率（％）		
	28年度	29年度	増減	28年度	29年度	増減	28年度	29年度	増減
(1) 入院診療	29,222	29,532	310	30,435	31,210	775	80.9	81.7	0.8
(2) 外来診療	37,005	35,919	△ 1,086	8,995	9,904	909			

2. 在宅介護支援事業

項目	利用者数（人）			1人1日当たり単価（円）		
	28年度	29年度	増減	28年度	29年度	増減
(1) 訪問看護等	5,869	5,994	125	12,333	11,726	△ 607

3. 診療所事業

項目	患者数（人）			1人1日当たり診療単価（円）		
	28年度	29年度	増減	28年度	29年度	増減
(1) 黒坂診療所	512	462	△ 50	3,921	5,246	1,325
(2) 二部診療所	41	37	△ 4	4,774	5,235	461

○ 部門別各種統計（抜粋）（単位：件または人）

1. 病院事業

手術件数	28年度	29年度	差引
外科	59	68	9
整形外科	95	165	70
眼科	99	90	△ 9

内視鏡検査	28年度	29年度	差引
胃カメラ	713	735	22
大腸ファイバー	120	139	19
嚥下カメラ	6	1	△ 5
気管支鏡	5	11	6
胃ろう造設術	22	13	△ 9
膀胱鏡	33	21	△ 12

超音波診断検査	28年度	29年度	差引
腹部エコー	898	939	41
心甲乳エコー	104	220	116

薬局状況	28年度	29年度	差引
服薬指導(人数)	359	406	47
服薬指導(件数)	596	716	120
処方箋枚数	9,189	9,750	561
薬剤数	28,446	28,019	△ 427
注射箋枚数	13,618	13,620	2

栄養管理室状況	28年度	29年度	差引
入院時延べ食数	73,387	73,484	97
外来透析食数	975	867	△ 108
栄養指導	524	548	24

検査室状況	28年度	29年度	差引
血液検査	22,708	23,324	616
尿検査	4,758	4,557	△ 201
心電図	1,673	1,728	55
呼吸機能	447	368	△ 79
眼底カメラ	279	288	9
脳波	12	27	15
血圧脈波	268	197	△ 71

放射線室状況	28年度	29年度	差引
一般撮影	6,650	6,739	89
骨塩定量	578	787	209
マンモ撮影	13	11	△ 2
C T 検査	1,858	2,001	143
M R I 検査	802	1,166	364

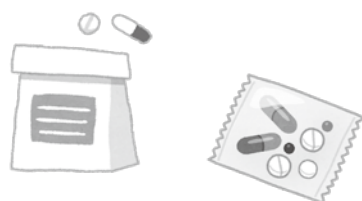
人工透析状況	28年度	29年度	差引
実人員	164	179	15
延べ人員	1,995	2,121	126

理学療法状況	28年度	29年度	差引
運動器Ⅰ	10,454	9,469	△ 985
呼吸器Ⅰ	3,261	3,836	575
脳血管Ⅱ	4,329	4,847	518
退院時(前)指導	431	442	11
消炎鎮痛	533	520	△ 13
地域包括ケア病床分	13,365	13,479	114

作業療法状況	28年度	29年度	差引
運動器Ⅰ	2,821	1,862	△ 959
呼吸器Ⅰ	1,226	1,276	50
脳血管Ⅱ	1,752	1,984	232
地域包括ケア病床分	2,774	1,765	△ 1,009

言語聴覚療法状況	28年度	29年度	差引
脳血管Ⅱ	2,876	2,639	△ 237
摂食機能療法	2,611	3,235	624
地域包括ケア病床分	108	107	△ 1

検診実施状況	28年度	29年度	差引
人間ドック	212	220	8
脳ドック	61	65	4
生活習慣病健診	123	134	11
婦人検診	75	51	△ 24
予防接種	1,767	1,760	△ 7
特定健診	9	11	2
事業所健診	33	39	6



2. 在宅介護支援事業

訪問看護状況	28年度	29年度	差引
実人員	593	503	△ 90
延べ人員	2,189	1,920	△ 269

訪問リハビリ	28年度	29年度	差引
実人員	696	777	81
延べ人員	3,680	4,074	394

居宅支援	28年度	29年度	差引
介護	1,242	1,075	△ 167
予防	603	609	6

まいる互版

<連絡先>

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723

☆訪問看護ステーション

0859-72-2706

『6ヶ月間ありがとうございました』



4月から派遣職員として訪問看護ステーションに勤務し、あっという間に半年が経ちました。私にとって、のどかな自然あふれる日野地域はとても心地がよく、毎日活き活きと仕事に励むことができました。

患者様の退院後も安心して安全な生活が送れ、その人らしく住み慣れた家での平穏な日常を支える日野病院。そこを基盤とした地域医療や訪問看護を経験し私自身看護師として大きな学びを得ることができました。退院から、在宅療養への移行が円滑になされるための病院との連携や多職種におけるサービス内容の調整や看護の質の向上についてなど、現状の課題に対して更に取り組んでいく必要性を実感しました。

この度、丁寧なご指導と心温かい配慮を頂きました関係者の皆さま、ご利用者、ご家族の皆さま心からお礼申し上げます。



訪問看護ステーション看護師
瀬尾 勇 仁

～おむつフitter研修に参加して～

◇主催：はいせつ総合研究所むつき庵

おむつフitterとは、排泄用具の情報館むつき庵が認定する資格で、排泄にまつわる不快を解決する専門職として注目されています。

研修では排泄という行為がいかにデリケートであるかということや、おむつの使用方法により生じる弊害について改めて学び直すことができました。

排泄に支援が必要な状態であっても、病状や排泄パターンだけではなく、生活環境、さらにその方の人生そのものを捉えていくことで、自分らしい生活を実現することができます。

不快感のない排泄のためには、十分な情報収集をした上で、多数の福祉用具や排泄用品をよりよく理解して、多くの職種で連携していくことが望めます。

今後も、今回の研修で得られた理念やさらに新しい情報収集を図りつつ、快適に生活していくための情報をご紹介しますと思います。

ケアマネージャー 緒形 崇子



数十種類の紙パンツやパッドのほか、多数の福祉用具が展示され、一人一人の要望に応じた支援が検討されるむつき庵。おむつフitter 2級を取得すれば各地でミニむつき庵の開設が認められる。

* ご報告 *

平成29年度 訪問リハビリ満足度アンケート調査結果について

- ・調査期間：平成30年3月～4月
- ・目的：利用者様の満足度把握と質の向上
- ・回答数：40枚 ・配布数：80枚
- ・アンケート結果では、訪問リハビリ回数、時間、内容、接遇など各設問に対し概ね高評価を頂きました。

自由記載としては、「心の健康に大変役立っています」「週1回で言語聴覚士のリハビリを受けています。「食」が一番大切なことです。」など温かいお言葉を頂きました。今後も、訪問リハビリサービスの質の向上に努めてまいります。貴重なご意見を多数いただきありがとうございました。

訪問リハビリスタッフ一同



この病(病)気

知っておきたいこんなこと

このコーナーでは、当院医師がみなさんに知ってもらいたい病気についての様々な情報についてお知らせします。

第6回

糖尿病について

内科医長 佐々木 修 一

・糖尿病とは

糖尿病とは、血液中のブドウ糖（血糖）が異常に増加し、高血糖の状態が続く病気です。

血糖を調節するインスリンというホルモンが不足したり、その働きが悪くなったりすることで血糖値が異常に高くなり、その結果いろいろな合併症が引き起こされます。

糖尿病は、インスリンが絶対的に欠乏する「1型糖尿病」と、インスリンの働きが悪くなるために血糖値が異常に高い状態になる「2型糖尿病」があります。

・糖尿病の原因

1型糖尿病の原因は、遺伝的な要素や、自己免疫（自分のインスリンを作る細胞を破壊してしまう）と言われていますが、現在のところ不明な点も多くあります。

2型糖尿病の原因は、過食や運動不足による肥満症やストレスなど生活習慣が大きく関係しています。

・糖尿病の症状

血糖値がかなり高い状態が長く続かないと目立った症状はあらわれません。進行すると、のどが渇き、多尿、疲れやすい、体重減少、動悸、息切れ、めまい、皮膚や粘膜の乾燥などがみられます。

・糖尿病を予防するには

肥 満 を 防 ぐ 適正体重を維持しましょう。

運 動 を 習 慣 に す る 運動により筋肉にブドウ糖が取り込まれ、エネルギーとして消費され血糖値が下がります。

ストレスを解消する 過度のストレスがかかると、血糖のコントロールが悪くなります。

過労・睡眠不足を避ける 体調を整えることも大切です。

・糖尿病の三大合併症

① 糖尿病性網膜症 眼底出血が起こり、進行すると失明することもあります。

② 糖尿病性腎症 腎臓に障害を起こし、進行すると人工透析が必要になることもあります。

③ 糖尿病性神経障害 下肢のしびれや神経痛が現れ、進行すると壊疽を起こします。

その他にも、動脈硬化による心筋梗塞や脳梗塞などにかかりやすくなります。

血糖値を調べたことがなければ、健康診断や血液検査を受けて血糖値を確認されてはいかがでしょうか。また、糖尿病の方は適切なコントロールを行い、様々な病気になるのを防ぎましょう。

また、当院では2週間の血糖値の変動をみる機器フリースタイルリブレを導入しました。ご自分の日頃の血糖値の変動をみて、健康維持の参考にされてみてはいかがでしょうか。（詳しくは9ページをご覧ください。）

日野病院の地域医療総合教育研修センターだより

・日野病院で臨床実習を行っています！

現在、日野病院では鳥大医学部の5年生・6年生が日野病院で実習を行っています。6年生は2人1組となって、1ヶ月間日野にどっぷりつかりながら、患者さんに少しでも健康になってもらおうと悩みながら勉強を行っています。



今年は3ヶ月間で6人の医学生が日野病院で実習を送ってくれました。彼らにも患者さんを担当してもらい、検査や治療方針を考えてもらったり、病状説明の面談なども担当してもらっています(もちろん、サポートとして僕たち総合診療科医師がバックにつきながらですが)。夕方には、その日に出た臨床的疑問を論文などで調べてきてもらいお互い発表する一まさに医者のような生活をしてもらいました。

こうした取り組みは医大でも珍しく、学生にとってはハードではありながらも、有意義な実習であったと感想をもらっています。病院スタッフや担当させていただいた患者さんには本当に感謝です。日野病院で得られた経験・知識を元により医療者に成長し、いつか日野病院に戻ってきてもらいたいな、と思っています。

鳥取大学医学部地域医療学講座
李 瑛

・日野町がん検診でがん予防について講話を行いました！

6月～7月に、日野町内で行われたがん検診会場でがん予防についての健康講話を行いました。タバコ、アルコール、運動、食事、感染症など日常身の回りにある様々なものの中で、がん予防に有効とされている生活習慣についてポイントをまとめてお話ししました。日野病院に実習に来ている医学部6年生にも趣向を凝らしてお話ししてもらい、検診を受けに来られた住民の方にも興味をもって聞いていただけたように感じます。特に食事のことやピロリ菌に関しては多くのご質問をいただき関心が高いと感じました。

以下にお話した7項目を挙げますので、ご質問のある方は日野病院総合診療科医師までお尋ねください。

①タバコの煙は避ける ②アルコールは控えめに ③なるべく身体を動かす ④適切な体重管理を ⑤野菜・果物を多めに、食塩・加工肉・動物性脂肪・熱い飲食物は少なめに ⑥機会があれば肝炎ウイルスやピロリ菌のチェックを ⑦若い世代にも検診をすすめましょう

鳥取大学医学部地域医療学講座
紙 本 美菜子



日野町公民館でのがん検診健康講座の風景

持続血糖測定器リブレを用いた糖尿病ドックのお知らせ

日本において糖尿病、糖尿病予備軍は2000万人に達し、今や糖尿病は人類最大の疾患となっています。糖尿病は血管を障害することによって、心筋梗塞、脳卒中、腎不全など多くの合併症の原因となります。初期の糖尿病では症状がないため発見することは簡単ではありません。

しかし、初期に発見できれば食事、運動によって治すことができます。これまで糖尿病は空腹時の血糖値によって診断されていましたが、これでは初期の糖尿病を見つけることはできません。この度、初期の糖尿病も発見できるように24時間2週間にわたって血糖を測定できるリブレを導入し糖尿病ドックを開始することにしました。

おすすめしたい方は

- ① 肥満の方
- ② 血縁に糖尿病患者がいる方
- ③ 糖尿病を健康診断で疑われている方
- ④ インスリン以外の糖尿病治療を受けている方

検査は、24時間血糖値を2週間にわたり計測できる持続血糖測定器Freestyleリブレを用います。リブレは、上腕にセンサーを貼り付けるだけで通常の生活、入浴や運動も可能です（図1）。ご自分の日頃の血糖値を把握し、食事内容や運動によって、どのように血糖値が変化するかを調べることができます。治療中の方は血糖コントロールの状況、低血糖の有無についても知ることができます。

糖尿病ドックの各コース

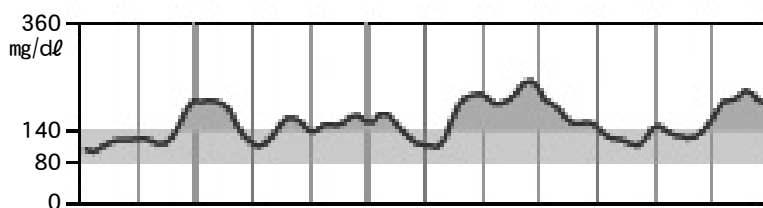
- ① 持続血糖計測リブレのみ
- ② 通常の人間ドックにリブレを追加するコース
- ③ 初期糖尿病発見コース（リブレに動脈硬化など）

その他、腹部超音波、血液検査、頸動脈エコーなどをオプションで追加できます。リブレは二の腕に貼り付けるだけで痛くありません。この機会にぜひ受けてみてください。

図1



一日の血糖変化



夕涼会を開催しました

去る、7月13日（金）当院において夕涼会を開催しました。院内外から129名と過去最高の方にご参加いただきました。演目としては、マリンバの軽快な演奏に併せバレリーナによる流麗な演舞と、定番になりつつある大下様親子による古典演芸披露などで楽しい一時を過ごしました。また病気のために会に参加できなかった患者様の元へはお姫様の慰問もあり、闘病生活を忘れるほどの満面の笑みが院内中にあふれていました。



地域の医療をどう守るか！

～濱副名誉病院長がまちなかカフェ根雨宿で講演～

8月27日（月曜日）、濱副名誉病院長が日野町根雨の「まちなかカフェ根雨宿」において、『地域の医療をどう守るか！～これまで&これから～』と題して、これまでの日野病院の経緯や高齢化や人口減少が進むこの地域における日野病院の役割、中山間地医療の問題点等について講演しました。

講演後、参加された地域の皆さんから「この地に病院があってありがたい」、「住民や行政一体となって病院を守っていかねければならない」など、あたたかいお言葉をいただきました。

日野病院では、地域の皆さんからのご要望を受け、医師が自治会等に伺い、講演や健康講座を行います。テーマや内容についてはご相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。



気持ちも熱く ねう祭り

7月21日に行われた、毎年恒例のねう祭りに、日野病院互助会として参加させていただきました。今年もそろいのはっぴをまとった踊り子連が、暑さにも負けず最後まで踊り切りました。

沿道ではたくさんの声援と拍手、また、ご祝儀をいただきましてありがとうございました。



病児・病後児保育 について

日野病院では日野町の委託を受けて、日野町病児・病後児保育事業に携わっています。先日、利用者第1号として来海恵子さん、有純ちゃん親子が利用されました。

そこで今回は、実際に利用してみての感想等を恵子さんに伺いました。

—— 今回、病児保育を利用されたきっかけは？

来海恵子さん（以下来海）：日野病院を受診した際に、竹茂先生からすすめていただいたのがきっかけです。

—— 実際に利用されていかがでしたか？

来海：見てくださる保育士さんが、普段通っているひのっこ保育所の保育士さんでしたので、子どもも安心して楽しく過ごせたようです。機会があれば、今後も利用したいと思います。

—— 何かお気づきの点などがあれば教えてください。

来海：利用の前日までに申し込みをすることになっているのですが、朝突然熱が出るということもあるので、そのあたりも対応していただけると助かります。また、利用時間（8時30分から17時まで）を出勤前から帰宅できる時間くらいまで延長していただけると利用しやすいですね。

<病児・病後児保育の 申込みおよび問い合わせ先>

日野町教育委員会事務局
(電話0859-72-2107)

ひのっこ保育所
(電話0859-72-0238)



連絡先



日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351

〈編集後記〉

長かった猛暑もようやく落ち着いて来ましたが皆様どうお過ごしでしょうか。

私は今年度から新人看護師として日野病院で働かせていただくことになり、はやくも半年が経とうとしていきます。少しずつ慣れてきたと同時に医療の難しさも臨床で実感しています。まだ至らないことも多いですが、日々精進し日野病院を利用される皆様の少しでもお力になればと思っております。今後一歩一歩成長していきますので、よろしく願います。
(久)

切り取り線

日野病院 外来診療案内

最新版 H.30.8～

午前 午後 休診

診療科		受付	月	火	水	木	金
内科	一 診	午前	笠原 尚 (循環器内科)	下坂拓矢	細田 譲 (第1・3週) 深谷健二※1 (第2・4週)	北浦 剛	下坂拓矢
		午後			深谷健二※1 (第2・4週)	北浦 剛	
	二 診	午前	孝田雅彦 (兼肝臓内科)	孝田雅彦	坂口琢紀 (大学)	岸 真文※1	田本明弘
		午後			坂口琢紀 (大学)		田本明弘
	三 診	午前	朴 大昊	谷口晋一(第1・3週) 濱田紀宏(第2・4・5週)	李 瑛(第2・4週) 紙本美菜子(第1・3・5週)	井上和興	今村武史 (大学医師)
		午後	朴 大昊	谷口晋一(第1・3週) 濱田紀宏(第2・4・5週)			
	総合診療科	午前	李 瑛 (初診)	李 瑛 (初診)	井上和興 (初診)	紙本美菜子 (初診)	
		午後					
	外科	午前	大学医師	佐藤尚喜	濱副隆一	大学医師	佐藤尚喜
	整形外科	午前	藤田章啓	藤田章啓	山家健作 (大学医師)	藤田章啓	藤田章啓
眼科	小児科	午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦	稲田耕大 (大学医師)	玉井嗣彦	春木智子 (大学医師)
		午後	竹茂幸人	竹茂幸人	竹茂幸人	総合診療科にて対応	大学医師
消化器検査		午前	下坂拓矢	佐々木修一	坂口琢紀 (大学医師)	下坂拓矢	田本明弘
		午後	下坂拓矢		下坂拓矢		田本明弘

専門診療科 (大学医師他)	午前	肝臓内科 孝田雅彦	皮膚科 大学医師	消化器内科 坂口琢紀	脳神経内科 岸 真文※1	
		循環器内科 笠原 尚	女性診療科 秦 幸吉	血液内科 細田 譲 (第1・3週)	泌尿器科 引田克弥	
				糖尿病外来 深谷健二※1 (第2・4週)	耳鼻科 竹内裕美	
	午後		心臓外科 西村元延 (第1・3週)	消化器内科 坂口琢紀		心療内科 山梨豪彦
			ペースメーカー 西村元延 (偶数月第3週)	糖尿病外来 深谷健二※1 (第2・4週)		
			血管外科 藤原義和(第2週) 中村嘉伸(第4週)			

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

- 自動再来受付機による受付 (時間予約を除く)
- 午前＝7時30分～10時30分
 - 午後＝正午～15時 (心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科)
 - 午後＝正午～16時 (内科・小児科)
- 検査開始時間
- 午前＝8時30分～
- 診療開始時間
- 午前＝9時～ ● 午後＝14時～
- 休 診 日
- 土曜日・日曜日・祝日 ● 8月14日・15日 ● 12月29日～1月3日
- 電話による予約日・予約時間の受付
- 14時～16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

新患登録・新規予約 <代 表> 72-0351
 予約日(時間)変更 <内 科> 72-2721(常勤医師のみ)
 <外 科> 72-2719
 <整形外科> 72-2720

※1 糖尿病外来・脳神経内科は完全予約制です。
 受診希望の方は、内科を受診して医師にご相談ください。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から10時30分まで) (H.30.8月～)		月	火	水	木	金
診療科目	一診	笠原	下坂	血液(第1・3週)・糖尿病(第2・4週)	北浦	下坂
	二診	孝田	孝田	坂口(大学)	(脳内)	田本
	三診	朴	谷口・濱田	李・紙本	井上	今村(大学)
総合診療科	李(初診)	李(初診)	井上(初診)	紙本(初診)		
外 科	(大学)	佐藤	濱副	(大学)	佐藤	
整形外科	藤田	藤田	山家(大学)	藤田	藤田	
眼 科	玉井	玉井	稲田(大学)	玉井	春木(大学)	
小児科	竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科	(大学)	
その他(大学)	肝臓内科 循環器内科	皮膚科 女性診療科	消化器内科 血液内科(第1・3週) 糖尿病外来(第2・4週)	泌尿器科 耳鼻科		
午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)		月	火	水	木	金
診療科目	内 科	朴	谷口・濱田	消化器内科	北浦	田本
	小児科	(大学)	竹茂	竹茂	竹茂	(大学)
その他(大学)		心臓外科(第1・3週)※ ペースメーカー(偶数月第3週)※ 血管外科(第2・4週)※		消化器内科 糖尿病外来(第2・4週)		心療内科※

切り取り線



全国的に医師や看護師等の人材確保が難しくなっている昨今において、人材の確保が進んだことは大変喜ばしく、関係各位に深く感謝を申し上げます。次第です。

新年明けましておめでとうございます。昨年、酷暑や台風など大きな災害に見舞われましたが、新年は穏やかでよい一年となりますようお願いしております。

この一年を振り返りますと、四月から小児科の診療体制を充実させることができたこと、患者中心の医療推進や良質な医療の実践などを評価項目とした日本医療機能評価機構による認定の更新、さらには電子カルテの更新など、より質の高い医療提供に向けた取り組みを進めることができました。また来年度に向け新卒の看護師も九名採用することができました。



日野病院組合管理者
塔田 淳一

新年のごあいさつ

平成二十九年度決算では、過去最高の黒字を計上し、健全経営が続いています。

日野病院は、MRIなどの高度医療機器、無菌手術が可能な手術室、人工透析などの設備を有した中山間地域の中核病院として、病院経営を行っております。

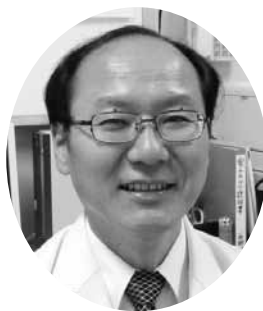
新見市など県外からもお越しいただくなど、多くの人にご利用いただいております。

今後も、構成町の日野町、江府町、伯耆町、そして鳥取大学医学部をはじめ圏域の医療機関との連携を強化し、質の高い地域医療を提供していきたいと思っております。

医療の基本である「早期発見・早期治療」に加え、キャッチフレーズである「出かける医療・近づく医療」のもと、地域住民から愛され信頼される病院にして参りますので、治療はもとより、健診や人間ドックなど当院をかりつけ病院としてご利用いただきますようお願い申し上げます。

年頭のご挨拶

〽新年明けましておめでとうございます〽



日野病院病院長
孝田 雅彦

今年は亥年です。日野に来てから二回ほどイノシシを見ました。テレビで見るとなんとなく滑稽で可愛く見えますが、実物は思ったよりも大きく迫力があり、野生動物そのものでした。車にぶつかって来ないように祈るのみでした。しかし、患者さんから頂いた猪の肉は臭みもなく、すき焼きや鍋に入れてとても美味しくいただきました。都市では味わえない田舎の良さでしょう。

さて、昨年は日野病院も大きく変わりました。4月から小児科の診療が毎日となりました。日野郡に住む若いお父さんお母さんも安心ではないでしょうか。親の最大の願いは子供が元気に育ってくれることです。これが、昨年日野病院がおこなった最大の地域貢献です。また、12月からは外国人医師のイ・ヨンイ（李英伊）先生が内科医師として努めてくれています。イ先生は韓国出身で新聞社の編集長を務められた後、韓国の医学部を卒業し家庭医として勤めておられました。さらに、日本の医師国家試験に合格され鳥取大学の研修医として地域医療研修のため日野病院に来られました。日野病院を気に入っていただき、職員として12月より働いていただいています。日本語も堪能で、優しい先生です。患者さんにも喜んでもらっています。今後、日本の医療

を学びながら、医師としてのキャリアを積んでもらうとともに、我々も韓国の医療の良いところを教えてもらって日野病院が国際的な病院になればいいなと思っています。日野病院には鳥取大学地域医療総合研修教育センターが設置され、地域医療の拠点病院として実績を上げていますが、さらに国際的な発展ができればと期待しています。

昨年はスタッフの確保を大きな目標として掲げました。内科では長年働いていただいた熊野健太郎先生がご開業により退職されましたが、佐々木先生、イ先生が加わり、増員となりました。また、看護師も4月には新卒の新人が9名加わります。放射線技師も1月から1名増員となりました。このようにスタッフはかなり充実してきました。今年はこの新人たちを含めて人材育成を日野病院の一番の目標として、診療内容もさらに充実させたいと考えています。

次に昨年から随時追加している新しい人間ドックを紹介します。昨年は脳ドックにvsRADという認知症早期発見のための検査を加えました。頭部MRIをとるだけでアルツハイマー病の初期病変を見つけ、予防に取り組むことができます。また、初期糖尿病発見のため、リブレ（24時間2週間血糖測定）を導入いたしました。さらに、肝エラストグラフィを2月頃より人間ドックに導入します。これは肝臓の硬さを測定し、肝臓病の進行度、肝臓がんのできるリスクを予測するものです。特に糖尿病や肥満のある患者さんはぜひ測定し、肝臓病の進み具合を知って予防の一步にして下さい。これらはいずれも初期の疾患を発見するための最新医療です。ご家族そろって日野病院の人間ドックを受けてみませんか。この一年健康で良い年にして下さい。

新春放談

—眼科のあたらしい潮流—

日野病院名誉病院長 玉井 嗣彦



いまほど健康に関心が集まっている時代はないと思われますが「目に見える人間は、見えるという幸福を知らずにいる」というフランスの経済学者ジイドの言葉どおり、目に関しては無関心な人が多すぎるようです。おそらく、生命にかかわるケースが少ないからでありましょう。しかし、「もし失明したら」ということを想像しますと、“見えることの幸福”がわかるのではないのでしょうか。

失明予防協会の40歳以上を対象とした全国調査によりますと、熟年者の30人に1人は緑内障の可能性あることを指摘しています。老視を自覚した時点において、眼圧、眼底、視野などの精密検査を受け、不幸にして発見されても、適切な処置を受ければ失明という悲劇を招かなくてもすむ段階まで医学は進歩していますので、自ら検診を受ける姿勢が大切です。

糖尿病網膜症のために失明する患者が増加しています。早期発見・早期治療の機会を失っている人に多くみられますので、糖尿病と診断されたら、眼科医との連携のもとに内科的治療を受け、必要なときには光凝固術や抗血管内皮増殖因子（vascular endothelial growth factor:VEGF）製剤の眼球内投与などの適切な処置を眼科で受けなければなりません。

抗VEGF製剤は、上部疾患での視力に關与する網膜黄斑部の浮腫の改善のみならず、これまで治療困難であったさまざまな眼底疾患、すなわち滲出型加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症、近視性脈絡膜新生血管などの疾患に用いられ、良好な治療成績を上げています。

血管新生に関する研究とVEGFの発見は、今年も眼科のあたらしい潮流として、その姿を変えることはありませんが、未熟児網膜症に対する適応時期・薬物の種類と投与量などはまだ確立されておらず、緊急の課題となっています。

一方、これらの疾患のみならず、眼部のさまざまな腫瘍性疾患、炎症性疾患の病態にもVEGFが關与することが示され、抗VEGF薬の局所投与が試みられています。成果を期待したいものです。

高齢化社会を反映して、白内障患者も増加しています。眼内レンズ移植術の普及により、術後快適な矯正視力が得られますので、積極的に人生を生きようとする人々に歓迎されています。健やかな老後を目指して、40歳からの目の健康に気をつけていただきたいものです。

「健康長寿を目指して一納豆食の効用」は過去にも本紙上で、網膜血管閉塞症の自験例を対象に報告しましたが、昨年8月13日（日）にテレビ放送された「名医の太鼓判」（TBS系列、全国放送）の中では、ネバネバを気にする人に配慮して、食べ方としては今回納豆に酢を加えた「酢納豆」の効用を当院でのインタビューをかねて報告しました。酢には血液をサラサラにして血行を促進させる効果があるので、血栓の予防・改善にはまさに最適です。納豆に入れる醤油も少なく済むので、減塩が望め高血圧の人にも最適でした。

放送直後より、全国各地から治療方法に関する問い合わせがあり、その返事に大童ですが、現在治療中で効果が不十分な患者さんには、全ての診療科で通じる問題ですが、いま受けている治療を否定するようなコメントや第3者を紹介するような行為は専門医といえども、かかりつけ医からのご要望がない限り、容易でないと痛感しています。

版友いる

【日野病院組合*在宅介護支援事業所】

＜連絡先＞

☆訪問看護ステーション

0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所

0859-72-2723

謹賀
新年



本年もたくさんすまいる

お届けします♪

どうぞよろしく願います

スタッフ一同



在宅介護支援事業所次長

佐々木 修一

あけましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては恙無く
新たな年をお迎えのこととお慶
び申し上げます。三十年続いた
平成も残り約四ヶ月となり、新
たな時代の幕開けの一年となり
ます。新しい元号とともに期待
の一年となることを願っており
ます。

日野病院組合在宅介護支援事
業所は、ご自宅で過ごしておら
れる方のお力になれるよう、よ
り一層職員一丸となつて本年
も頑張つてまいります。

小生も日野病院に勤務させて
いただき、はや九ヶ月が過ぎま
した。まだまだ、わからないこ
とが多々あり、皆様にご迷惑を
おかけすることもあるかと存じ
ますが、お役に立てるよう努力
して参りますので、どうぞよろ
しく願います。

まだまだ、これから寒い日が
続きますが、どうぞ体調管理を
心掛けて下さい。何か困ったこ
と心配なことなどございました
ら、当事業所スタッフまでお気
軽にご相談ください。

～新年のご挨拶～

在宅介護支援事業所 ～地域の皆様に笑顔と安心を～

訪問看護ステーション

看護部門

私たちは、訪問看護を利用される方の
思いに寄り添いながら、住み慣れた地域
やご家庭で安心して、その方らしく日常
生活を送られるよう看護ケア（体調観
察、内服管理、保清、特別な医療処置、
ターミナルケア、介護相談）を提供します。

24時間対応体制も整えており、ご希望
の方にはご利用いただいております。

どうぞ、お気軽にご相談ください。



リハビリ部門



安全で安心した生活を送る
ために、リハビリ専門職がおうちへ
訪問させていただき、一人一人の生
活にあったリハビリを提供させてい
たいただきます。

些細なことでもどうぞご相談
ください。

居宅介護支援事業所

ケアマネジャー4人が専従で
常勤しております。基礎資格
は、看護師、介護福祉士、社会
福祉士です。日野病院に併設さ
れているため、医療依存度が高
い利用者様には主治医等と迅速
に連携を図り、安心して在宅生
活が送れるように支援させてい
たいただきます。



緒形

毛利

藤原

桑原

新しい仲間のご紹介♪

9月から日野病院組合訪問
看護ステーションで勤務させ
ていただいています看護師の
加藤淳子です。在宅で過ごさ
れている患者様のお宅へお邪
魔させて頂き健康チェックや
ケアをさせて頂いておりま
す。その中で、患者様や家族
の方に「来てくれて、ありが
とう。安心できたワ。」と言
つて下さる事が一番の喜びで
す。しかし、患者様には色ん
な病状の方がいらつしやいま
す。そんな時は、「大丈夫で
すよ。」とお声を掛け。つ
らい時にはただ寄り添い、沈
黙の時間を共有することです
し、でも苦痛を取り除ける事
が出来ると嬉しいですね。でも、
つらい時ばかりではありません
。楽しい時や嬉しい事がある
れば、共に喜びたいと思つて
います。最近では、よく見
けるコンビニのキャッチコピ
ーは「開いて良かった」で
すが、訪問看護は「看護師さ
んと繋がって良かった」と
言ってもらえるよう努力して
いきます。これからも宜しく
お願い致します。



訪問看護師

加藤 淳子

栄養ニュース☆【野菜の成分と期待される効果！】

NO.18

健康のために必須不可欠な“野菜”。毎日食べている！と思っても、実は全ての年代で「野菜不足」の傾向にあることをご存知ですか？

厚生労働省は、**1日野菜350g以上**（成人）食べることを**目標**にしています。しかし、国民健康・栄養調査の結果によると、野菜を食べている感覚はあるのに実際の摂取量は、276.5gと不足しています。野菜を食べているつもりでも、多くのひとは「野菜不足」であることが判明しています。野菜不足の原因は生野菜への偏り！？生野菜は「かさ」が多いことから満足感を得やすいのですが、思っている以上に量が少なく、野菜不足になりやすいようです。

今回は、「**野菜の成分と効果**」について話したいと思います。

1※抗酸化作用をもつ野菜

●カロテン

★抗酸化作用

- ・コレステロールを下げる
にんじん、ほうれん草など

●ビタミンC

★抗酸化作用

- ・コラーゲンの生成を促進する
- ・メラニン色素の生成を抑える
- ・免疫力を高める

ブロッコリー、ピーマン、パプリカなど

●リコピン

★抗酸化作用

- ・美白効果
- ・HDLコレステロールを増やす
トマトなど

●ビタミンE

★抗酸化作用

- ・老化を防ぐ
かぼちゃ、アボカドなど



2 食物繊維を多く含む野菜

- ・腸内環境を改善する
- ・コレステロールの吸収を抑える
- ・糖質の吸収をゆっくりにする
オクラ、ごぼう、ブロッコリーなど



3 カルシウムを多く含む野菜

- ・骨や歯の形成
- ・骨を丈夫にする
- ・血液凝固
小松菜、水菜、大根(葉)など



一口メモ

野菜の※抗酸化作用とは？

体への負担やよくない生活習慣によって、体内には活性酸素が発生します。過剰な活性酸素は、血管や細胞などを傷つけます。野菜の抗酸化作用は、この活性酸素を消去する働きがあり、生活習慣病の予防などに役立ちます。

紫外線

食生活

ストレス

★★★★嗜好調査結果のご報告★★★★

入院中の患者様の意見収集や要望を把握し、食事サービスの向上に役立てるため、平成30年9月21日の昼食時に嗜好調査を行いました。

【調査日の献立】 かに玉、ひじき炒め(茄子の煮物)、もやしのかか和え、春雨とキクラゲのスープ

【回収率】 89.6% (43名/48名中)

【結果】 食べた量については、「全部食べた」が72.1%、「3分の2位食べた」が25.6%で大半の患者様が形態・量・嗜好などを個人対応することで、残さずに食べられていました。美味しさの評価は、どのおかずも86.0%以上で「美味しい」との回答をいただきました。特に、かに玉は色合いや味付けも良く食べやすいと好評でした。今後もきめ細かい対応で患者様に喜んでいただける食事を提供していきたいと思っております。



鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの 取り組みについて

日野町の根雨地区にて健康講話に行いました。

週に1回「百歳体操」を公民館で行っている60代～90代の皆様方に「健康寿命」についてのお話をさせていただきました。皆さんいろいろと既に実践されている方々ばかりで、改めてお話できることはなにかあるかな、と考えながらのぞませていただきました。

様々な研究で示されている健康寿命に効果的な項目をお伝えすることに加え、最近、注目されているSDH(social determinants of health)；健康の社会的決定要因についての研究に言及しながら、このように「百歳体操」に皆で集まること、そのものが健康寿命を長らくする要因になる、といったお話をさせていただきました。



健康講話終了後には、健康長寿のために皆さんが実践されていることをお伺いしたり、日頃抱いている病院への疑問を話していただくなど、少人数だったこともあり、終始和やかに会を楽しむことができました。このような機会をいただいた根雨1区の皆様、ありがとうございました！

鳥取大学医学部地域医療学講座
李 瑛

テーマ「ぼかぼか教室 終末期の備えについて」

先日、10月10日に地区のぼかぼか教室に参加してきました。テーマは「終末期の備え」です。多くの人がNNK（ネンネンコロリ）よりはPPK（ピンピンコロリ）を望まれますが、実際PPKで死ぬ人の割合は限られています。病気などで「食べられなくなったら？」「歩けなくなったら？」「心臓や呼吸が止まったら？」、どこで過ごし、どのようなケアを受けたい/受けたくないのか？などについてグループで話し合ってもらいました。高齢の方ほど『わかりません、医者におまかせ』という意見が多く、70-80歳代では家族の介護や看取りの経験談をもとにしっかりと意思をもっておられ、なかにはすでに終活ノートを書いたり、若い世代に話をしている方もいました。男性の方からは、『いきなり込み入った話をどうやって家族に伝えたらいいかわからない』と戸惑いの声、また中年層からは『まだそんなことは考えたくない』という拒否反応もあり、なるほどなあと思いました。

考えはその時々で常に揺れ動き、変わっていくものですから何度でも修正は可能です。意思決定ができなくなる前に今の自分の考えを「人に伝える」「記録しておく」ことが大切です。今年もあっという間に年の瀬。あえて“縁起でもないこと”に向き合ってみませんか？

鳥取大学医学部地域医療学講座
紙 本 美菜子



平成31年度 看護師育成奨学金・薬剤師育成奨学金 奨学生募集!!

日野病院組合では、平成31年度の看護師育成奨学金並びに薬剤師育成奨学金の貸付けを希望される方を募集します。

将来、日野病院組合に就職した場合には奨学金の返還を免除する規定もあります。

関心のある方は、まずはお気軽にお問い合わせください。

○ 応募・問合せ先：〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332

日野病院組合事務局総務課

TEL 0859-72-0351 FAX 0859-72-0089

区 分	看護師育成奨学金	薬剤師育成奨学金
資 格	看護を履修する学校等に在籍（応募時点では、入学見込で可）する者。ただし、高等学校及びその高等学校の専攻科において看護師を養成する課程を設ける学校等に在学する者にあつては、その学校等の専攻科に在籍する者に限る。	大学の最終学年（応募時点では最終前学年）に在籍し、次回の薬剤師国家試験を受験する予定の者、または、大学を卒業後、次回の薬剤師国家試験を受験する予定の者。
	資格取得後、日野病院組合に勤務する意思を有すること。	
募 集 期 間	2月1日（金）～2月28日（木）まで	2月1日（金）～3月29日（金）まで
貸 与 額	月額50,000円以内（無利子）	月額100,000円以内（無利子）
貸 与 期 間	貸付けを受けた月から卒業する月まで	4月～翌年3月（1年間を限度とする）
奨学金 の返還	期 間	貸付けを受けた期間の2倍の期間
	金 額	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の半分の金額ずつを返還
返還の免除		貸付けを受けた金額の返還義務期間に日野病院組合に勤務した場合には、その勤務した期間について返還を免除します。 ※この奨学金の貸与が日野病院組合への採用を約束するものではありません。

日野病院組合職員の給与等の状況（平成30年4月1日現在）

●職員の平均給料月額、平均年齢及び職員数（30年度当初予算）

区 分	一般行政職	現 業 職	医 療 職	医療技術職	看 護 職
平均給料月額	276,977円	271,950円	473,413円	264,195円	296,297円
平均給与月額	320,259円	303,265円	1,096,022円	299,969円	355,917円
平 均 年 齢	42.7歳	54.7歳	45.2歳	39.5歳	45.0歳
職 員 数	13人	3人	6人	27人	53人

平均給料月額：職員の基本給の平均

平均給与月額：給料月額と毎月支払われる諸手当の合計したものの平均（期末勤勉手当は除く）



内科医師
イ ヨン イ

12月1日から働かせていただいているイヨンイと申します。3月末、鳥取の海と自然に魅かれて韓国から来日し、鳥取大学病院で8カ月の研修を修了しました。生まれも育ちもソウルです。来日する直前は家庭医学科専門医として鳥取県の友好都市である江原道（カンウォンド）で働いていました。2002年頃、東京で4年間滞在したことがあり、2016年、日本医師免許を取得しました。日本語はまだまだですが、気軽に声をかけていただくと嬉しいです。

きれいに咲いてね、チューリップ

11月7日、チューリップの球根植えを行いました。今年もひのっこ保育所の年長さんにお手伝いいただき、病院正面のロータリーを中心に約150個の球根を植えました。「球根の間隔が狭くなりすぎないように」等、上手な植え方を教わった園児たちは、握りこぶしで間隔を測りながら、みんなで元気に植えてくれました。



改善 患者様の声（改善点）



このコーナーでは、患者様からいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからお気付きの点がございましたらご意見を寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています）また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎予約している意味がない。毎回1時間以上待つ。

ご意見をいただきありがとうございます。平成29年2月から実施している「予約時間制度」は、予約時間内に診察を約束するものではありません。（患者さんの診察状況により、診察時間が前後する場合があります。）この制度は、以前のように順番を取るため早く受付をする必要がなく、予約時間にあわせて来院いただき、検査を済ませお待ちいただくことを可能とするための制度です。ただ、大幅に予約時間がずれる場合は、状況をお知らせすることが必要と考えますので、その際はインフォメーションシステム等によりお知らせしたいと思います。また、診察進行状況が不明の場合は、看護師にお尋ねください。ご理解とご協力をお願いします。

◎総合診療科と内科どちらを受診したらよいかよくわかりません。

このような症状の時は総合診療科、こんな症状のときは内科というふうに素人でもわかるように、何か目安となるようなものを表示してもらいたい。

総合診療科と内科について、症状による目安はありませんが、主に、初診のときや今までと違うところを診てほしいときは、総合診療科での受診をおすすめします。

また、小児科医が不在の日（木曜日午前）には総合診療科に対応いたします。

なお、何科を受診したら良いかわからない場合は、遠慮なく受付窓口までお問い合わせください。

◎診療費、入院など支払いをカード払いできるようにしていただければ喜びます。

現在、窓口会計でのカード払いができませんが、患者さんへの周知が不足しておりました。今後は、会計窓口、病棟デイルームに掲示し周知を図ってまいります。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

クリスマス会

12月14日（金）クリスマス会を開催しました。
 今年は、大下親子による演芸、日野町民ミュージカル出演者による歌と踊り、を企画し、大盛況でした。埴田日野町長のサンタさんに子供たちも喜んでいました。イベントを通じて、患者さんとふれあい、地域の方との交流の場がもてて、参加して下さった皆さんに感謝しています。これからもいろいろな企画を考えていきますので、今後ともよろしくをお願いします。



〈編集後記〉

新年あけましておめでとうございます。寒い毎日が続きますが体調の方は大丈夫でしょうか。私は4月から日野病院で看護師として勤務していますが、早いものでもう10カ月が経ちます。まだ分からないこともあります。看護を学び成長できる1年にしたいと思います。

（伊）

《委託業者紹介》—サンクリーン株式会社—

日野病院で働いていただいている委託業者さんを紹介するコーナーです。清掃委託業者「サンクリーン株式会社」の大島さんにコメントをいただきました。



サンクリーン（株）は、総合環境メンテナンス事業（清掃・保守管理）の実施を通じて、お客様の快適生活空間の実現に貢献する事を使命としています。

そして、幅広い知識と長年継承し続けた技術を生かし、あらゆる課題を一つの窓口で解決する、ワンストップ・サービスを提供する事を目指します。

サンクリーンではスタッフを募集しています！！

仕事内容：日野病院内での清掃活動全般（日常清掃）

雇用形態：パート社員

勤務時間：08：00～17：00
 12：00～13：00は休憩
 出勤日はシフトによる

給 与：時給 770～780円
 通勤手当 有（月額3000円の上限有り）

※まずは下記までお気軽にご連絡ください。

サンクリーン 本社 ビルメンテナンス事業部
 電 話 0859-32-5006

E-mail：oosima@sanclean.net

担 当 者：大島 成二（おおしま せいじ）

連絡先

日野病院

鳥取県日野郡日野町野田332番地
 T E L 0859-72-0351
 F A X 0859-72-0089

黒坂診療所

鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
 T E L 0859-74-0351
 F A X 0859-74-0351

二部診療所

西伯郡伯耆町二部1554番地4
 T E L 0859-62-0351
 F A X 0859-62-0351



切り取り線

日野病院 外来診療案内

最新版 H.31.1～

午前 午後 休診

診 療 科		受付	月	火	水	木	金
内 科	一 診	午前	笠原 尚 (循環器内科)	下坂拓矢	細田 讓 (第1・3週) 深谷健二※1 (第2・4週)	北浦 剛	下坂拓矢
		午後			深谷健二※1 (第2・4週)	北浦 剛	
	二 診	午前	孝田雅彦 (兼肝臓内科)	孝田雅彦	坂口琢紀 (大学)	岸 真文※1	田本明弘
		午後			坂口琢紀 (大学)		田本明弘
	三 診	午前	朴 大昊	谷口晋一(第1・3週) 濱田紀宏(第2・4・5週)	李 瑛(第2・4週) 紙本美菜子(第1・3・5週)	井上和興	今村武史 (大学医師)
		午後	朴 大昊	谷口晋一(第1・3週) 濱田紀宏(第2・4・5週)			
	総合診療科	午前	李 瑛 (初診)	李 瑛 (初診)	井上和興 (初診)	紙本美菜子 (初診)	
		午後					
外 科		午前	大学医師	佐藤尚喜	濱副隆一	大学医師	佐藤尚喜
整 形 外 科		午前	藤田章啓	藤田章啓	山家健作 (大学医師)	藤田章啓	藤田章啓
眼 科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦	稲田耕大 (大学医師)	玉井嗣彦	春木智子 (大学医師)
小 児 科		午前	竹茂幸人	竹茂幸人	竹茂幸人	総合診療科で対応	大学医師
		午後	大学医師	竹茂幸人	竹茂幸人	竹茂幸人	大学医師
消化器検査		午前	下坂拓矢	佐々木修一	坂口琢紀 (大学医師)	下坂拓矢	田本明弘
		午後	下坂拓矢		下坂拓矢		田本明弘

専門診療科 (大学医師他)	午前	肝臓内科 孝田雅彦	皮膚科 大学医師	消化器内科 坂口琢紀	脳神経内科 岸 真文※1	
		循環器内科 笠原 尚	女性診療科 秦 幸吉	血液内科 細田 譲 (第1・3週)	泌尿器科 引田克弥	
				糖尿病外来 深谷健二※1 (第2・4週)	耳鼻科 竹内裕美	
	午後		心臓外科 西村元延 (第1・3週)	消化器内科 坂口琢紀		心療内科 山梨豪彦
			ペースメーカー 西村元延 (偶数月第3週)	糖尿病外来 深谷健二※1 (第2・4週)		
			血管外科 藤原義和(第2週) 中村嘉伸(第4週)			

(注) 医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。(詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。)

- 自動再来受付機による受付 (時間予約を除く)
- 午前＝7時30分～10時30分
 - 午後＝正午～15時 (心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科)
 - 午後＝正午～16時 (内科・小児科)
- 検査開始時間
- 午前＝8時30分～
- 診療開始時間
- 午前＝9時～ ● 午後＝14時～
- 休 診 日
- 土曜日・日曜日・祝日 ● 8月14日・15日 ● 12月29日～1月3日
- 電話による予約日・予約時間の受付
- 14時～16時 (受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます)

新患登録・新規予約 <代 表> 72-0351
 予約日(時間)変更 <内 科> 72-2721(常勤医師のみ)
 <外 科> 72-2719
 <整形外科> 72-2720

※1 糖尿病外来・脳神経内科は完全予約制です。
 受診希望の方は、内科を受診して医師にご相談ください。

外来診療案内ポケット版

午前 (受付時間は、7時30分から10時30分まで) (H.31.1月～)		月	火	水	木	金
診療科目	一診	笠原	下坂	血液(第1・3週)・糖尿病(第2・4週)	北浦	下坂
	二診	孝田	孝田	坂口(大学)	(脳内)	田本
	三診	朴	谷口・濱田	李・紙本	井上	今村(大学)
総合診療科		李(初診)	李(初診)	井上(初診)	紙本(初診)	
外 科		(大学)	佐藤	濱副	(大学)	佐藤
整形外科		藤田	藤田	山家(大学)	藤田	藤田
眼科		玉井	玉井	稲田(大学)	玉井	春木(大学)
小児科		竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科	(大学)
その他(大学)		肝臓内科 循環器内科	皮膚科 女性診療科	消化器内科 血液内科(第1・3週) 糖尿病外来(第2・4週)	脳神経内科 泌尿器科 耳鼻科	
午後 (受付時間は、12時から16時までただし、※は15時まで)		月	火	水	木	金
診療科目	内 科	朴	谷口・濱田	消化器内科	北浦	田本
	小児科	(大学)	竹茂	竹茂	竹茂	(大学)
その他(大学)			心臓外科(第1・3週)※ ペースメーカー(偶数月第3週)※ 血管外科(第2・4週)※	消化器内科 糖尿病外来(第2・4週)		心療内科※

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町(日野町・江府町・伯耆町)の全戸に配布しています。

切り取り線

編集後記

日野病院は、平成 30 年 3 月に 3 度目の病院機能評価を受審し、7 月に認定（更新）を受けました。

病院機能評価の認定病院とは、公益財団法人日本医療機能評価機構が、全国の病院を対象に組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的、科学的・専門的な見地から評価を行い、一定の水準を満たしていると認めた病院が「認定」となります。

全国の約 3 割の病院が認定病院となっていますが、認定病院は、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院と言えます。

当院が受けた評価項目は全部で 87 項目あり、それぞれについて、秀でている場合は《S》、適切に行われている場合は《A》、一定の水準に達している場合は《B》、一定の水準に達しているとはいえない場合は《C》と評価されます。評価結果の中に一つでも《C》があれば認定にはなりません。

今回受審した項目は、5 年前に 2 度目の受審したときとほぼ同じ内容でしたが、前回と比べ《S》こそ 1 項目減りましたが、《A》が 20 項目増え、逆に《B》が 18 項目減ったことから、《S》と《A》が全体の 89%（前回は 67%）となりました。このことから、当院の医療機能がこの 5 年間でかなり向上していることが伺える結果となりました。

中でも、「学生実習等を適切に行っている」という項目については、《S》“秀でている”という評価を頂きました。

学生の実習受入については、平成 26 年 6 月、県内の自治体病院で唯一、鳥取大学のサテライトセンター「鳥取大学地域医療総合教育研修センター」を院内に誘致し、当初は 6 年生の医学生数名を受け入れていましたが、平成 29 年度からは、年間とおして 5 年生の医学生全員（約 100 名）を受け入れています。

また、鳥取大学の学生だけでなく、従来から卒後臨床研修医や看護学生、リハビリ学生も数多く受け入れており、平成 30 年度は 175 人（延べ 939 人）の実習生が当院で臨床実習に励みました。

さらに、資格を持ちながら長年勤務から遠ざかっている潜在看護師や、子育てのため一度退職し現在復帰を考えている方などを対象としたトレーニング実習も行っており、地域医療を担う医療者の養成、研修に力を注いでいるところが高く評価されたものだと思います。

日野病院が、今後もこの地域の医療を担っていくことはもとより、その地域医療の担い手となる医師を含めた医療従事者を養成することも当院の重要な役割であると考えています。

日野病院事務局長 頭本 保人

—— 発 行 ——

日野病院組合 日野病院広報委員会

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田 332 番地

Tel : 0859-72-0351 Fax : 0859-72-0089

URL : <http://www.hinohp.com/>